

IBM System x

IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager インストールおよびユーザーズ・ガイド

バージョン 5.0.1



IBM System x

IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager インストールおよびユーザーズ・ガイド

バージョン 5.0.1

お願い -

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、149ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

Edition Notice

This edition applies to the IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 and to all subsequent releases and modifications until otherwise indicated in new editions.

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典: IBM System x IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager Installation and User's Guide Version 5.0.1

- 発行: 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 担当: トランスレーション・サービス・センター
- © Copyright IBM Corporation 2014.

目次

ServeRAID-BR/IR または内蔵 RAID を持つ管	
理対象システムのサポート構成 1	16
ServeRAID バージョン 8x/7x/6x を持つ管理対	
象システムのサポート構成	16
電源モニターを持つ管理対象システムのサポー	
ト構成	17

第4章 IBM Hardware Management Pack およびその他のコンポーネントの

Pack およびその他のコンポーネントのイ
ンストール
インストール・プロセスの概要
IBM Hardware Management Pack のインストール
要件
IBM Hardware Management Pack $O1 > 1 > 1$. 22
IBM Hardware Management Pack のインストール
手順
IBM Hardware Management Pack 29
複数の管理サーバーへのインストール 30
IBM Power CIM Provider のインストール 31
IBM ライセンス・ツールのインストールおよびプレ
ミアム・フィーチャーのアクティブ化 32
IBM Hardware Management Pack バージョン 5.0.1
ヘのアップグレード
複数の管理サーバーのアップグレード32
バージョン 2.4 以前からのアップグレード33
IBM Hardware Management Pack バージョン 5.0.1
のアンインストール
IBM Hardware Management Pack の削除 33
IBM Power CIM Provider の削除
ソフトウェア・パッケージのアンインストール .35
旧バージョンへのダウングレード
IBM Hardware Management Pack $/ i - i = 25.0.1$
の再インストール
BladeCenter SNMP 設定の構成
Operations Manager 2007 での BladeCenter の検出 40
Operations Manager 2012 での BladeCenter の検出 43
検出された BladeCenter シャーシの削除 49
SNMP 用に有効化された IBM Flex System Chassis
の検出
「SNMPv1 エージェント用の有効化 (Enabled for
SNMPv1 Agent)」の選択 54
「SNMPv3 エージェント用の有効化 (Enabled for
SNMPv3 Agent)」の選択 56
Operations Manager 2007 での IBM Flex System
の検出
Operations Manager 2012 での IBM Flex System
の検出
検出された IBM Flex System シャーシの削除 59

第5章 IBM Hardware Management Pack での作業

Pack での作業61
Operations Manager コンソールによるモニター 61
Operations Manager によって管理される IBM システ
ムの追加
このタスクを開始する前のオプション・ステップ 71
リモート・コンピューター上のソフトウェア依
存関係を確認する方法
IBM システムを追加する手順
インベントリーの表示
システム、ハードウェア・コンポーネント、および
他のターゲットの正常性をモニター
アラートの表示
ハードウェア・エラーの検出および表示....87
「ヘルス エクスプローラー」を使用した問題の識別
および解決
ナレッジ・ページを使用して問題を解決90
プレミアム・フィーチャーの使用
BladeCenter x86/x64 ブレード・サーバーの電源を
リモートでオン/オフにする
オペレーティング・システムのリモート・シャ
ットダウン
サーバー名を使用したリモート電源オン 97
電源しきい値の設定
電源キャッピングの設定
予測障害アラート (PFA) ポリシーの設定 110
クライアント System X サーバーの電源データ
をグラフィックで表示
Flex System OOB-IB リフレクションの検出 113
Flex システムのリモート電源オン/オフの使用 115
IBM Flex System シャーシ Web コンソールの起
動
IBM Flex System シャーシ FSM の検出 123
IBM Flex System シャーシ FSM Web コンソー
ルの起動124

Operations	Ν	lan	age	er I	コン	シ	—)	レに	よ	る	ΕΞ	ニタ	_		129
IMM ディ	ス	力	171	J —											130
電源管理															133

付録 A. ベスト・プラクティス 135

ベスト・プラクティス:エラー原因の判別	135
ベスト・プラクティス: すべての BladeCenter を再	
検出	139
ベスト・プラクティス:名前変更後のサーバーを再	
検出	140

付録 B. トラブルシューティング . . . 141

IBM Power CIM Provider から返されたエラーのト	
ラブルシューティング	141
IBM Power CIM Provider のインストールのトラブ	
ルシューティング	141
インストールが正常に完了したことの検証...	142
失敗した IBM Power CIM Provider のインスト	
ールを修正する方法..............	142
Windows Server 2012 で、「ネットワーク デバイ	
スの保留の管理 (Network Devices Pending	
Management)」の IBM シャーシを削除する方法	144
Windows Server 2012 が稼働している SCOM コン	
ソールで IBM System Web コンソールを開くタス	
クが失敗したときの修正方法	145

付録 C. アクセシビリティー機能 ... 147

特記事項											149
商標											. 150
重要事項.	•	•	•	•	•	•	•		•	•	. 150
索引 .											153

×

1.	ソノトリエアのご使用条件
2.	「試用版」ページ
3.	「宛先フォルダー」ページ
4.	「SCVMM サーバー FODN 構成」ページ 27
5	「プログラム修復の進備完了 (Ready to Renair
5.	$\frac{1}{2} \sum_{i=1}^{n} \sum_{j=1}^{n} \sum_{i=1}^{n} \sum_{i=1}^{n} \sum_{i=1}^{n} \sum_{j=1}^$
_	$\operatorname{Program}(\mathcal{A}) = \mathcal{A} \cdot \cdot$
6.	アノオルト SNMP ホート
7.	SNMP を使用したアフートの有効化 38
8.	リモート・アラート受信側
9.	モニター対象アラート
10.	検出ウィザード
11.	検出方法
12	管理対象オブジェクトの選択 42
13	格出タイプ 43
14	「今晩プロパティ」ページ 44
14.	
15.	$\left[\begin{array}{c} \left[\left($
16.	
17.	検出警告の作成
18.	検出ウィザードの「完了」ページ 48
19.	「検出ルール」ページ
20.	デフォルト SNMP ポート
21.	デフォルト SNMP ポートの設定 51
22.	イベント受信側の選択
23.	イベント受信側の作成 52
24	「SNMP 受信側の作成 (Create SNMP
21.	$\mathbf{P}_{\text{aginiant}} \mid \vec{y} \neq \nabla \Box \vec{\beta} \cdot \vec{z}_{\text{w}} \wedge 7 \qquad 52$
	\mathbf{R} = (1)
25	「イベント受信側グローバル設定 (Event
25.	Recipient)」シーナロックホックス
25.	Recipient)」シーナロク・ホックス
25.	Recipient()」 シーチ コリマ ホリジス
25. 26.	「イベント受信側グローバル設定 (Event Recipient Global Settings)」ダイアログ・ボック ス. . Simple Network Management Protocol (SNMP) 55
25. 26. 27.	Recipient)」 シーナンロジーホックス 「イベント受信側グローバル設定 (Event Recipient Global Settings)」 ダイアログ・ボック ス
 25. 26. 27. 28. 	Recipient)」 シーナンロジーホックス 「イベント受信側グローバル設定 (Event Recipient Global Settings)」 ダイアログ・ボック ス
25. 26. 27. 28.	「イベント受信側グローバル設定 (Event Recipient Global Settings)」ダイアログ・ボック ス.
 25. 26. 27. 28. 29. 	Recipient()」 シーナ ロジー ホック ス
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 	Recipient)」 マーパレ設定 (Event Recipient Global Settings)」 ダイアログ・ボック ス
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 	Recipient)」 マープロジャックシス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 	Recipient)」 シーナロシーホウジス
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 	Recipient)」 シーナロシーホックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 	Recipient)」 ジャリ ロジャ ホリジス
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 	Recipient)」 ジャリロジャホリジス
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 	Recipient)」 ジャリ ロジャ ホリジス
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 	Recipient)」 ジャリンロジャホックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 	Recipient)」 ジャーン ロジャ ホックス
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 	Recipient)」 ジャリンロジャボッジス
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 	Recipient)」 ジャリンロジャホックス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 	Recipient)」 シャーシャンシンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 	Recipient)」 シャーシャンシンス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 	Recipient)」 シーナ ロシーホ シシス
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 	Recipient)」 シャクロジャボッジス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37 	Recipient)」 シャクロシャホックス・・・・・35 「イベント受信側グローバル設定 (Event Recipient Global Settings)」 ダイアログ・ボック ス
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 	Recipient)」 シャクロシャホックス・・・・・35 「イベント受信側グローバル設定 (Event Recipient Global Settings)」 ダイアログ・ボック ス・・・・・・・・・・・・53 Simple Network Management Protocol (SNMP) 55 セキュリティー・ポリシー設定・・・・・・・・56 SNMPv3 デバイス用の新規ユーザーを作成する ためのアカウント資格情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
 25. 26. 27. 28. 29. 30. 31. 32. 33. 34. 35. 36. 37. 38. 	Recipient()」 クイアログ・ボック

39.	コンテキスト・メニューを使用して「検出ウィ
	ザード を選択 (SP1)
40.	コンピューター/デバイス・マネージャーの概要 75
41.	検出方式 (自動/詳細)の選択
42.	検出方法
43.	「検出方法」とサンプル情報
44.	管理者アカウント
45.	管理対象オブジェクトの選択 80
46.	コンピューター/デバイス管理ウィザードの「概
	要」ページ
47.	エージェントの管理タスクの状態 82
48.	「アクティブなアラート」の例
49.	管理対象システムで発生したクリティカル・エ
	ラーの例
50.	システム・エラーを引き起こすハードウェア・
	コンポーネントの例
51.	システム・エラーを引き起こすハードウェア・
	コンポーネントの例
52.	エラー・イベントに関する記述があるナレッ
	ジ・ページの例
53.	別のページにリンクするナレッジ・ページの例 92
54.	アラート・プロパティーの例
55.	Operations Manager コンソール・プレミアム・
	フィーチャーが有効になっている例 94
56.	「このブレード上のオペレーティング・システ
	ムをシャットタリン (Shutdown Operating
	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況 95
57.	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況 95 当該ブレードにシャットダウン・タスクが送信
57.	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況 95 当該ブレードにシャットダウン・タスクが送信 されたことを示すタスク状況
57. 58.	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
57. 58. 59.	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
57. 58. 59.	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
57. 58. 59. 60.	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況 95 当該ブレードにシャットダウン・タスクが送信 されたことを示すタスク状況 96 タスク出力メッセージの例
57. 58. 59. 60. 61.	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
 57. 58. 59. 60. 61. 	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
 57. 58. 59. 60. 61. 62. 	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
57.58.59.60.61.62.	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
57.58.59.60.61.62.63.	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
57.58.59.60.61.62.63.	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況95 当該ブレードにシャットダウン・タスクが送信 されたことを示すタスク状況96 タスク出力メッセージの例97 「ブレード・サーバー電源オン (Blade Server Power On)」タスクの例98 電源オン・タスクのタスク出力状況99 プレミアム・フィーチャーが使用可能になって いないときのタスク出力99 「電源しきい値の設定/設定解除 (Set/Unset Power Threshold)」タスクの例100 「電源しきい値の設定/設定解除 (Set/Unset Power Threshold)」タスクのターゲットおよび タスク・パラメーター101
 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況
 57. 58. 59. 60. 61. 62. 63. 64. 65. 66. 67. 	ムをシャットタリン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況

68.	「電源キャッピングの設定 (Set Power	
	Capping)」タスクのターゲットおよびタスク・	
	パラメーター	106

- 「電源キャッピングの設定 (Set Power Capping)」タスクがターゲット・サーバーに送 信されたことを示すタスク状況
- 73. 「PFA ポリシー構成」ウィンドウ 111
- 76. IBM Flex System シャーシ計算ノードの確認 114
- 77. IBM ライセンス交付を受けたシステム・グル

- 82. ライセンスがインストールされていないため
- に電源オンが失敗したことを示すタスク状況 . 119 83. IBM Flex System シャーシ管理 Web コンソ

84.	IBM Flex System シャーシ管理 Web コンソ	
	ールを開く際の認証エラー	121
85.	CMM Web コンソールのロード	121
86.	CMM Web $\exists \mathcal{V}\mathcal{V}\mathcal{W}$	122
87.	CMM コンソール	122
88.	IBM Flex System シャーシ FSM の例	123
89.	シャーシのモジュールの更新	124
90.	SCOM コンソールからの FSM IP アドレスの	
	設定例	125
91.	「タスクの実行 - FSM IP アドレスの設定」	
	ウィンドウ	125
92.	FSM IP アドレスの指定変更例	126
93.	タスクが正常に完了したことを示す「FSM IP	
	アドレスの設定」のタスク状況	127
94.	SCOM コンソールからの FSM Web コンソー	
	ルの起動例	127
95.	FSM Web コンソールのログイン・ページ	128
96.	IMM Discover コンソール	130
97.	IMM ディスカバリー	131
98.	統合管理モジュール	132
99.	IMM 認証	133
100.	電源キャッピング管理	134
101.	クリティカル状態のシステムを選択するとき	
	の例	136
102.	クリティカル状態の電源モジュールの詳細ビ	
	<u>-</u>	137
103.	System x Windows Management Instrumentation	
	(WMI) イベント	138
104.	「状態変更イベント」タブ詳細情報の例	139
105.	名前変更後のサーバーを削除	140

表

- 9
- 3. サポートされる IBM Flex System シャーシ 9
- 4. IBM Systems Director エージェント 13
- 5. IBM Systems Director エージェントのサポート 6. ServeRAID-MR または MegaRAID の要件 15
- 7. ServeRAID-BR/IR または内蔵 RAID の要件 16

8.	ServeRAID-8x/7x/6x の要件	. 16
9.	Microsoft System Center Operations Manager	
	2007 に必要な IBM Hardware Management	
	Pack バージョン..........	. 20
10.	Microsoft System Center Operations Manager	
	2012 に必要な IBM Hardware Management	
	Pack バージョン..........	. 21
11.	SNMP 設定	. 37

viii IBM Hardware Management Pack for Operations Manager, Version 5.0.1 インストールおよびユーザーズ・ガイド

本書について

本書では、IBM[®] Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 を Microsoft System Center Operations Manager にインストールして、 その統合機能により、ご使用の環境にあるシステムを管理する方法について説明します。

規則および用語

太字の「注」、「重要」、または「注意」で始まっているパラグラフは、重要な情報を強調する特定の意味を持つ注意書きです。

注: これらの特記事項は重要なヒント、ガイダンス、またはアドバイスを提供します。

重要: これらの特記事項は、不都合なまたは困難な状態を避けるために役立つ情報 またはアドバイスを提供します。

重要: これらの特記事項では、プログラム、デバイス、またはデータへの考えられる損傷を示します。損傷が起こりうる指示または状態の前には警告通知が表示されます。

X IBM Hardware Management Pack for Operations Manager, Version 5.0.1 インストールおよびユーザーズ・ガイド

情報リソース

IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 に関する追加情報は、製品資料および WWW 上で入手することができます。

PDF ファイル

PDF 形式で提供されている資料を表示および印刷します。

Adobe Acrobat Reader のダウンロード

PDF ファイルを表示または印刷するには、Adobe Acrobat Reader が必要です。コピーを Adobe Reader Web サイトからダウンロードすることができます。

PDF ファイルの表示と印刷

IBM System x Integration Offerings for Microsoft Systems Management Solutions Web サイトにある PDF ファイルは、すべて個別に表示または印刷が可能です。資 料ごとの製品ページを見つけるには、用意されているリンクをクリックしてください。

World Wide Web リソース

以下の Web ページでは、IBM System x、IBM Flex System、BladeCenter サーバ ー、およびシステム管理ツールを理解したり、使用したり、トラブルシューティン グしたりするためのリソースが提供されています。

Microsoft Systems Management Solutions 用の IBM System x Integration Offerings

IBM System x Integration Offerings for Microsoft Systems Management Solutions

IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 用の最新のダウンロードがあります。

IBM Systems のサポート

IBM Systems のサポート

IBM Systems テクニカル・サポートを得られます。

IBM Systems Director: ダウンロード・ソフトウェア登録

IBM Systems Director: Downloads

IBM Systems Director などの IBM システム管理ソフトウェアをダウンロードします。

IBM Systems Management for System x

IBM systems management solutions for System x

この Web ページには、IBM システム管理の概説があります。

IBM ServerProven Web サイト

System x $\exists \& U$ xSeries ServerProven: IBM ServerProven Compatibility for hardware, applications, and middleware

BladeCenter ServerProven: IBM ServerProven Compatibility for BladeCenter products

IBM System x、xSeries サーバー、および IBM BladeCenter[®] とのハードウェア互換 性に関する情報を得られます。

Microsoft System Center Operations Manager

Technet: Systems Center Operations Manager

Microsoft System Center Operations Manager に関する情報が得られます。ここで は、操作上の問題を解決するために、IBM および Microsoft のアプリケーション と、オペレーティング・システムの知識を使用して、大規模な組織の全体でご使用 の IBM システムをモニターする方法について説明しています。

第 1 章 IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0

お客様は IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 を使用することで、IBM System x サーバー、ブレード、IBM BladeCenter シャーシ、計算ノード、および IBM Flex System[™] シャーシの正常性状 態を管理するための Microsoft System Center Operations Manager の拡張機能を利用 できるようになります。さらに、v5.0.1 には、IBM ハードウェア・サーバー製品の 信頼性/可用性/保守性 (RAS) の能力を強化するための新機能、Hardware Failure Management が組み込まれています。簡単に説明すると、この機能は、ハードウェア 障害が検出されたサーバーから、自動的に仮想マシンを他のサーバー・ホストにマ イグレーションします。

主要なフィーチャー

IBM Hardware Management Pack の主要なフィーチャーには以下のものがあります。

- SNMP プロトコルを使用して IBM BladeCenter シャーシ、IBM Flex System シ ャーシ、およびモジュールの正常性をモニターする優れたモニター・フィーチャ ー
- Windows が稼働する IBM System x サーバー、BladeCenter x86/x64 ブレード、 Flex System x86/x64 計算ノードのハードウェア・コンポーネントの正常性をモニ ターする拡張モニター・フィーチャー
- IBM ハードウェアを管理するためのソフトウェア・スタックの正常性をモニター する包括的なモニター・フィーチャー。
- ハードウェア・ヘルス・モニターを集約することによって全体的なシステム・ヘルスを簡単に判断できるようにするフィーチャー。
- ハードウェア障害が検出されたサーバー・ホストから、自動的に仮想マシンを他のサーバー・ホストにマイグレーション

プレミアム・フィーチャー

IBM Upward Integration for Microsoft System Center に、アクティベーション・ライ センスを必要とする、いくつかのプレミアム・フィーチャーがあります。

以下の追加機能は有料です。管理対象エンドポイントごとにアクティベーション・ ライセンスを購入する必要があります。アクティベーション・ライセンスの購入に ついては、IBM 担当員または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせくださ い。これらのフィーチャーには、以下の機能が用意されています。

- リフレクションを使用してアウト・オブ・バンド インバンド (OOB-IB) 通信を 確立し、取得したアウト・オブ・バンド情報 (SNMP を使用) およびインバンド 情報 (OS を使用) を同期します。
- Flex System シャーシ CMM Web コンソールを Operations Manager コンソール から起動します。
- Flex System Manager (FSM) デバイスを検出し、FSM コンソールを Operations Manager コンソールで起動します。
- SNMP v1 および v3 の両方を使用して、Flex System シャーシおよびシャーシ・ モジュールをモニターします。この機能を使用するには、4.0 ライセンス・ツー ルをインストールする必要があります。アクティベーションのバージョンは 255.0 です。
- Windows IMM Web コンソール・サーバーを Operations Manager コンソールから起動します。この機能を使用するには、4.0 ライセンス・ツールをインストールする必要があります。アクティベーションのバージョンは 255.0 です。
- IBM Director プラットフォーム・エージェント v6.2.1 以降がインストールされている、Windows 2008 および Windows 2008 R2 が稼働している uEFI およびIMM System x サーバーおよびブレードで、アクティブ電力管理およびモニターを使用します。システム全体の電力使用量をモニターして管理し、定義済みの消費量しきい値を電力消費量が超えたときにアラートを生成することができます。
- 電源モニター・アラートの消費しきい値をカスタマイズして設定します。
- 最大電力消費ワット数を管理する、電力キャッピングしきい値を設定して有効にします。
- System X 電源データ・グラフを調べることによって、クライアント System x シ ステムの電源データをモニターします。
- BladeCenter x86/x64 モジュールの正常性が、そのモジュールの影響を受ける BladeCenter x86/x64 ブレード・サーバーに反映されます。 BladeCenter および Bladeのハードウェア正常性の相関およびイベント伝搬により、Windows 「ヘルス エクスプローラー」ビューで BladeCenter 固有のハードウェア正常性状態をモニ ターできます。
- Hardware Management Software Configuration Advisor for IBM Systems (SW Configuration Advisor) プログラムを使用可能にします。このプログラムは、管理 対象の Microsoft Windows システムにおける IBM Hardware Management Pack のソフトウェア依存関係を分析するプログラムです。このプログラムは、 Operations Manager 管理サーバーから実行されます。 SW Configuration Advisor は、IBM Hardware Management Pack のソフトウェア依存関係があることを検出 すると、適切な構成を推奨します。

- Operations Manager コンソールを使用して、リモート側でブレード・サーバーの 電源オン/オフを行う機能。
- Integrated Management Module (IMM) を検出し、それをホストと相互に関係させ ます。
- 予測障害アラート (PFA) ポリシーを Brickman ベース・システムの IMM に設定 します。

注:上のリストにある機能は、個々のライセンス・フィーチャー・レベルに対して バージョン 5.0.1 に関する記述がない限り、ライセンス・フィーチャー・レベルが 3.0 以上であれば、すべて使用できます。

試用版ライセンス・サポート

試用版ライセンスは、この製品を初めてインストールする際に製品ライセンスがア クティブ化されていなければ、自動的にアクティブ化されます。試用版ライセンス がアクティブ化されるためには、事前にシステム時刻が正しいことを確認する必要 があります。試用版ライセンスがアクティブ化された後、試用期間は 90 日です。 この試用期間中は、プレミアム・フィーチャーが使用できます。

試用版ライセンスの有効期限が切れたあとは、製品ライセンスをアクティブにする 必要があります。さもないと、プレミアム・フィーチャーは使用不可になります。

製品ライセンスは IBM Upward Integration for MSSC v3.0 から取得することができます。

各管理対象サーバーのライセンス情報を表示するには、「モニター (Monitoring)」「IBM ハードウェア」「IBM ライセンス交付を受けたシステム・グ ループ (IBM Licensed System Group)」を選択します。各 IBM サーバーのライセ ンス情報が、「IBM HW 管理のライセンス交付を受けたシステム (IBM HW Management Licensed System)」列に表示されます。

4 IBM Hardware Management Pack for Operations Manager, Version 5.0.1 インストールおよびユーザーズ・ガイド

第2章 技術的な概要

このトピックでは技術的な概要を提供し、Microsoft System Center Operations Manager がどのように管理ターゲットの正常性をモニターし、ハードウェア障害管 理を実行し、管理パックを作成し、管理操作を行うのかについて説明します。

Microsoft System Center Operations Manager では、管理ターゲットとして、コンピ ューター・システム、オペレーティング・システム・インスタンス、アプリケーシ ョン、ネットワーク・アダプター、または管理ターゲット内のサブコンポーネント を使用できます。管理の範囲により、Operations Manager はシステム管理ソフトウ ェア・ツールに分類されます。 IBM Hardware Management Pack には、その IBM 管理ターゲットの管理における新機能が用意されています。

Windows システムが検出されると、Microsoft System Center Operations Manager 管 理サーバーから Microsoft System Center Operations Manager エージェントがスクリ プトとともにそのシステム上にプッシュされます。このスクリプトは IBM Hardware Management Pack 内にあり、正常性をモニターしたりイベントを収集した りするためのポリシーを提供します。

Microsoft System Center Operations Manager を使用すれば、ビジネス・ニーズに基 づいて全体的な正常性の集約を管理するためにカスタム・オブジェクト・グループ を作成できます。さまざまなグループに対してさまざまなモニター/集約規則を定義 できます。例えば、アプリケーション・ホスティング・プロバイダーは、クライア ントに関係するハードウェア、オペレーティング・システム、アプリケーション、 および他のオブジェクトがすべて含まれたクライアント別の全体的な正常性ビュー を持つことができます。また、このホスティング・プロバイダーはアプリケーショ ン別のビューを持つこともできますし、両方のビューを同時に使用することもでき ます。

Microsoft System Center Operations Manager は、報告されたすべてのイベントを追跡するための操作データベースを保守します。操作データベースのエキスパート分析により、履歴データの深くにある原因と結果の関係を明らかにし、非常に複雑な問題の根本原因を見つけ出すことができます。

例

例えば、Operations Manager は、ファン存在センサーを読み取ることで冷却ファン が使用可能かどうかを報告し、ファン・タコメーターを読み取ることでファンの動 作を報告します。 IBM Hardware Management Pack は、IBM 管理ターゲットをホ ストおよび集約するための関係を確立し、また管理ターゲット間の正常性依存関係 を確立します。 Operations Manager では、オブジェクトの全体的なビューを表示す るために正常性をロールアップおよびドリルダウンでき、問題をすみやかに特定す ることができます。

IBM Hardware Management Pack による IBM システムのサポート

IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 では、Microsoft System Center Operations Manager の拡張機能を使用して、 IBM Director コア・サービスまたはプラットフォーム・エージェントとともにイン ストールされた Flex System 管理モジュール、BladeCenter 管理モジュール、 System x、および x86/x64 Blade サーバーと通信し、以下の項目を検出してその正 常性をモニターできます。

- IBM BladeCenter シャーシおよびシャーシ・コンポーネント
- IBM Flex System Chassisおよびシャーシ・コンポーネント
- IBM System x システムおよび BladeCenter ブレード・サーバー・システム

IBM Hardware Management Pack は IBM Flex System Chassis や IBM BladeCenter シャーシ/コンポーネントと通信するだけでなく、個別の IBM System x、Flex シャ ーシ x86/x64 計算ノード、および BladeCenter x86/x64 ブレード・サーバーとも通 信するため、Microsoft System Center Operations Manager を使用して、すべての Flex シャーシ、BladeCenter シャーシ、および Windows ベースの IBM サーバーを 全体的にモニターできます。

IBM Hardware Management Pack は、LAN 経由で Simple Network Management Protocol を使用して管理モジュールにより Flex System と BladeCenter のシャーシ およびシャーシ・コンポーネントと通信します。

IBM Hardware Management Pack は、個別のサーバー (BladeCenter Blade サーバー など) と通信します。ただし、そのシステムでは、Windows オペレーティング・シ ステムが稼働していて、サポートされているバージョンの IBM Director コア・サー ビスまたはプラットフォーム・エージェントがインストールされていなければなり ません。

管理の概念

このトピックでは、管理の概念について説明します。ここで述べる「管理の概念」 は、Microsoft System Center Operations Manager によって管理されている BladeCenter に限られます。

個々の Windows サーバーは各様に扱われます。ターゲットが IBM System x また は BladeCenter x86/x64 ブレード・サーバーである場合、Microsoft System Center Operations Manager は管理対象のサーバーを選択した後、IBM Hardware Management Pack を持つ管理対象システム上に Operations Manager エージェントを プッシュします。 Operations Manager エージェントおよび IBM Hardware Management Pack は、IBM Director エージェントおよび他のハードウェア管理用ソ フトウェア (システム上、および Operations Manager サーバーに接続されているネ ットワーク全体) と通信します。

注: 上記の管理機能は、IBM BladeCenter シャーシ、IBM Flex System シャーシ、 IBM System x、および x86/x64 Blade サーバーでサポートされるほか、Windows オ ペレーティング・システムが稼働する計算ノードでもサポートされます。これらの 機能は System i[®]、System p、および System z システムではサポートされていませ ん。

第3章 サポートされている構成

このセクションには、このリリースの IBM Hardware Management Pack でサポート されている構成、システム、およびサーバーに関する詳細があります。

サポートされているシステム

このセクションのトピックでは、IBM Hardware Management Pack によってサポートされるシステムについて説明します。

サポートされるサーバー

IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 でサポートされるサーバーには以下のものがあります。

注: 「*」の付いたシステムに関しては、システムのファームウェアが最新になって いれば、有料の電力モニター・サポートを受けることができます。電源管理を行う には、システムで Windows 2008 または Windows 2008 R2 が稼働していて、IBM Director エージェント v6.2.1 以上が実行されていなければなりません。詳しくは、 17 ページの『電源モニターを持つ管理対象システムのサポート構成』を参照してく ださい。

特定のシステムと、Windows および他のハードウェア・コンポーネントとの互換性 については、xiページの『World Wide Web リソース』、およびそのシステムの各 ServerProven[®] ページを参照してください。

サーバー製品名	マシン・タイプ
IBM BladeCenter HS12	8014、8028
IBM BladeCenter HS21	8853
IBM BladeCenter HS22	7870*、1911
IBM BladeCenter HS22V	7871*
IBM BladeCenter HS23	7875*
IBM BladeCenterHS23E	8038*、8039*
IBM BladeCenter HX5	7872*
IBM BladeCenter LS21	7971
IBM BladeCenter LS22	7901
IBM BladeCenter LS41	7972
IBM BladeCenter LS42	7902
IBM Flex System x220 Compute Node	7906、2585
IBM Flex System x222 Compute Node	7916
IBM Flex System x240 Compute Node	8737
IBM Flex System x440 Compute Node	7917
IBM NeXtScale Node	5455

表1. サポートされるサーバー

表1. サポートされるサーバー (続き)

サーバー製品名	マシン・タイプ
IBM System x3100 M4	2582、2586
IBM System x3200 M2	4367、4368
IBM System x3200 M3	7327*、7328*
IBM System x3250 M2	4190、4191、4194
IBM System x3250 M3	4251*、4252*、4261
IBM System x3250 M4	2583, 2587
IBM System x3250 M5	5458
IBM System x3300 M4	7382
IBM System x3350	4192、4193
IBM System x3400 M2	7836*、7837*
IBM System x3400 M3	7378*、7379*
IBM System x3450	7948、7949、4197
IBM System x3455	7940、7941
IBM System x3500 M2	7839*
IBM System x3500 M3	4254、7944*
IBM System x3500 M4	7383*
IBM System x3530 M4	7160
IBM System x3550	7978
IBM System x3550 M2	7946*
IBM System x3550 M3	4254、7944*
IBM System x3550 M4	7914*
IBM System x3620 M3	7376*
IBM System x3630 M3	7377*
IBM System x3630 M4	7158*
IBM System x3650	7979
IBM System x3650 M2	7947*
IBM System x3650 M3	4255、7945*
IBM System x3650 M4	7915*
IBM System x3650 M4 BD	5466
IBM System x3650 M4 HD	5460
IBM System x3650 T	7980、8837
IBM System x3655	7985
IBM System x3690 X5	7147、7148*、7149*、7192
IBM System x3750 M4	8752
IBM System x3755	7163、8877
IBM System x3755 M3	7164
IBM System x3850 M2	7141、7144、7233、7234
IBM System x3850 X5	7143、7145*、7146*,7191
IBM System x3850 X6	3837
IBM System x3850 MAX5	7145*、7146*

サーバー製品名	マシン・タイプ
IBM System x3950 M2	7141、7144、7233、7234
IBM System x3950 X5	7143、7145*、7146*
IBM System x3950 MAX5	7145*、7146*
IBM System x iDataPlex® dx360 M2	6380*, 7323*, 7321*
IBM System x iDataPlex dx360 M3	6391
IBM System x iDataPlex Direct Water Cooled	7918*、7919*
dx360 M4	
IBM System x iDataPlex dx360 M4	7912*、7913*

サポートされる IBM BladeCenter シャーシ

次の表は、IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 によってサポートされる IBM BladeCenter シャーシをリストしたものです。

表2. サポートされる IBM BladeCenter シャーシ

マシン名	マシン・タイプ
IBM BladeCenter	7967
IBM BladeCenterE	8677
IBM BladeCenterH	8852, 7989
IBM BladeCenterS	8886, 7779
IBM BladeCenterT	8720, 8730
IBM BladeCenter HT	8740, 8750

サポートされる IBM Flex System シャーシ

下の表には、IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 によってサポートされている IBM Flex System シャーシ の情報があります。

表 3. サポートされる IBM Flex System シャーシ

マシン名	マシン・タイプ
IBM Flex System Chassis	7893, 8721, 8724

管理サーバーのサポート構成

システムが管理サーバーとして IBM Hardware Management Pack によってサポート されるかどうかを判別するには、このセクションのトピックを参照してください。

管理サーバー要件

管理サーバーは、Systems Center Operations Manager の管理サーバー要件を満たしていて、サポートされるハードウェア構成にある場合、サポートされます。このセクションのトピックでは、管理サーバー要件について詳しく説明します。

管理サーバーの Microsoft System Center Operations Manager のサポート・バージョン

管理サーバーにおいて、以下のバージョンの Microsoft System Center Operations Manager がサポートされています。

- Microsoft System Center Operations Manager 2012
- Microsoft System Center Operations Manager 2012 R2
- Microsoft System Center Operations Manager 2012 SP1
- Microsoft System Center Operations Manager 2007
- Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2

Hardware Failure Management の前提条件

Microsoft System Center Operations Manager (SCOM) および System Center Virtual Machine Manager (SCVMM) がインストールされていること。

管理対象ノード (IBM ハードウェア・サーバー) がクラスターに配置され、 SCVMM および SCOM によって管理されていること。

IBM ハードウェア・サーバーの Integrated Management Module の設定 (IP アドレス、CIM、SLP、ユーザー・アカウントなど) が正しいこと。

管理サーバーのサポート対象オペレーティング・システム

下のリストは、管理サーバーのためにサポートされているオペレーティング・シス テムと、追加情報へのリンクを示しています。

- Microsoft System Center Operations Manager 2012: System Requirements: System Center 2012 - Operations Manager
- Microsoft System Center Operations Manager 2012 R2: System Requirements: System Center 2012 R2 Operations Manager
- Microsoft System Center Operations Manager 2012 SP1: System Requirements: System Center 2012 SP1 - Operations Manager
- Microsoft System Center Operations Manager 2007 SP1: 「Operations Manager 2007 SP1 Supported Configurations for the supported operating systems」の表で、行「Management server」または「Root management server」を調べてください。
- Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2: 「Operations Manager 2007 R2 Supported Configurations for the supported operating systems」で、行 「Management server」または「Root management server」を調べてください。

注: Operations Manager 2007 SP1 は Windows Server 2008 および Windows Server 2008 SP1/R2 でサポートされていますが、一連のホット・フィックスを適用する必要があります。

詳しくは、以下の資料を参照してください。

- Windows Server Windows Server 2008 ベースのコンピューター上で動作中の Microsoft System Center Operations Manager Service Pack 1 および System Center Essentials 2007 Service Pack 1 のサポート
- System Center Operations Manager 2007 Service Pack 1 の更新プログラムの説 明

管理サーバーの追加の構成要件

同じ管理グループ内の Operations Manager 管理サーバーのすべてに、同じバージョ ンの IBM Hardware Management Pack がインストールされている必要があります。 異なるバージョンの管理パックの混在も、別のバージョンの IBM Hardware Management Pack もサポートされていません。

- IBM BladeCenter を管理する管理サーバーでは、以下の 2 つのバージョンの IBM Hardware Management Pack パッケージのいずれかがインストールされ、 Operations Manager にインポートされている必要があります。
 - IBM.HardwareMgmtPack.BladeCenter.mp
 - IBM.HardwareMgmtPack.BladeCenter.v2.mp
- IBM Flex System シャーシを管理する管理サーバーでは、以下の 2 つのバージョンの IBM Hardware Management Pack パッケージのいずれかがインストールされ、Operations Manager にインポートされている必要があります。
 - IBM.HardwareMgmtPack.FlexSystem.mp
 - IBM.HardwareMgmtPack.FlexSystem.v2.mp

管理サーバーのサポート構成

このセクションのトピックでは、サポートされている管理サーバーのハードウェア 構成について説明します。

管理サーバーのサポート・ハードウェア構成について詳しくは、7ページの『サポ ートされているシステム』および各 ServerProven ページを参照して、オペレーティ ング・システムおよびアドオン・ハードウェアの互換性を確認してください。

管理対象システムのサポート構成

正しく構成されている管理対象システムは、以下の要件を満たしています。

正しく構成されている管理対象システム:

- サポートされている構成を持つ管理サーバーによって、Operations Manager 管理 グループで管理されている。
- サポートされているサーバーにインストールされている。詳しくは、7ページの 『サポートされているシステム』を参照してください。
- サポートされているバージョンの Windows オペレーティング・システムが稼働 している。
- ハードウェア管理に必要なソフトウェアが稼働している。

管理対象システムのサポート・オペレーティング・システム

下のリストは、管理対象システムのためにサポートされているオペレーティング・システムと、追加情報へのリンクを示しています。

Microsoft System Center Operations Manager 2012:

System Requirements: System Center 2012 - Operations Manager

Microsoft System Center Operations Manager 2012 R2: System Requirements: System Center 2012 R2 Operations Manager

- Microsoft System Center Operations Manager 2012 SP1: System Requirements: System Center 2012 SP1 - Operations Manager
- Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2:

「Operations Manager 2007 R2 Supported Configurations」で、行「Agent」または「Root management server」を参照

Microsoft System Center Operations Manager 2007 SP1

「Operations Manager 2007 SP1 Supported Configurations」で、行「Agent」 を参照

管理対象システムのハードウェア管理ソフトウェア

このセクションのトピックでは、管理対象システムのハードウェア管理ソフトウェ アについて説明します。

IBM Systems Director エージェントのサポート・バージョン

管理対象 Windows システムでは、サポートされているバージョンの IBM Systems Director エージェントがインストールされていて実行されていなければなりません。

下の表は、IBM Systems Director エージェント・バージョンの包括的なリストで、 そのバージョンが管理対象 Windows システムにおいてサポートされているかどう かを示しています。

	IBM Hardware Management Pack for Microsoft System	
IBM Systems Director エー ジェントのバージョン	Center Operations Manager v5.0 によるサポート	備考
6.3, 6.3.1, 6.3.2, 6.3.3	サポート	プラットフォーム・エージェ ントおよび共通エージェント がサポートされます。
6.2.0, 6.2.1	サポート	プラットフォーム・エージェ ントおよび共通エージェント がサポートされます。
6.1.1, 6.1.2	サポート	プラットフォーム・エージェ ントおよび共通エージェント がサポートされます。
5.20, 5.20.1, 5.20.2, 5.20.3x	サポート	IBM Director コア・サービス (レベル 1 エージェントとも 呼ばれる) またはレベル 2 エ ージェント

表 4. IBM Systems Director エージェント

IBM Systems Director エージェントのサポート構成

下の表には、IBM Systems Director エージェントのバージョンごとにサポートされ ているハードウェアおよびソフトウェアに関する情報があります。

表 5. IBM Systems Director エージェントのサポート構成

IBM Systems Director エー ジェントのバ ージョン	サポートされるハードウェアおよびソフトウェア
6.3, 6.3.1, 6.3.2, 6.3.3	サポートされている最新の IBM システム、製品、およびオペレーティン グ・システムについては、「IBM Systems Director」の「resources」を参照 してください。当該情報を見つけるには、「 Product documentation 」を選 択して、「IBM Systems Director v6.3.x」を参照します。
6.2.0, 6.2.1	サポートされている BladeCenter Blade サーバーおよび System x サーバー については、『サポートされている IBM システムおよび製品 (v6.2.x)』を 参照してください。サポートされている Windows のバージョンについて は、『サポートされているオペレーティング・システム (v6.2.x)』を参照し てください。

表 5. IBM Systems Director エージェントのサポート構成 (続き)

IBM Systems	
Director I-	
ジェントのバ	
ージョン	サポートされるハードウェアおよびソフトウェア
6.1.2	サポートされている BladeCenter Blade サーバーおよび System x サーバー については、『サポートされている IBM システムおよび製品 (v6.1.x)』を 参照してください。サポートされている Windows のバージョンについて は、『IBM Systems Director 6.1.2 でサポートされるオペレーティング・シ ステム』を参照してください。
5.20.x	サポートされている BladeCenter Blade サーバー、System x サーバー、 xSeries サーバー、eServer [™] サーバー、および NetFinity サーバーについて は、『サポートされるハードウェア (IBM Director V5.20)』を参照してくだ さい。サポートされている Windows のバージョンについては、『IBM Director 5.20 によってサポートされるオペレーティング・システム』を参 照してください。

BMC または IPMI を持つ管理対象システムの、サポートされている 構成

ベースボード管理コントローラー (BMC) または Intelligent Platform Management Interface (IPMI) を持つ管理対象 Windows システムでは、サポート対象バージョン の IPMI ドライバー・スタックがインストールされていて実行されていなければな りません。

Windows Server 2000 または Windows Server 2003 の場合は、OSA IPMI デバイ ス・ドライバーと IBM Mapping Layer for OSA IPMI ドライバーの両方が必要で す。 Windows 用の OSA IPMI デバイス・ドライバーは「OSA IPMI デバイス・ド ライバーのサポートおよびダウンロード」から入手できます。

Windows Server 2008 またはそれ以降のバージョンであれば、Microsoft IPMI ドラ イバーが必要です。 BMCまたは IPMI を持つ IBM サーバーでは、Microsoft IPMI ドライバーは自動的にインストールされます。 IBM Mapping Layer for OSA IPMI ドライバーを Microsoft IPMI ドライバー・スタックとともにインストールする必要 はありません。

Windows Server 2003 R2 の場合は、IPMI ドライバーがインストールされていて実 行されていなければなりません。 Microsoft IPMI ドライバーはデフォルトではイン ストールされません。

- Windows 用の IBM Mapping Layer for OSA IPMI は、以下の場所から入手できます。
 - IBM Mapping Layer for OSA IPMI v1.18 on Microsoft Windows IA32 IBM BladeCenter and System x
 - IBM Mapping Layer for OSA IPMI v1.18 on Microsoft Windows Server 2003 x64 - IBM BladeCenter and System x

ベースボード管理コントローラーまたは Intelligent Platform Management Interface の最新ファームウェアを入手して管理対象システムに適用するには、「IBM Systems のサポート」を参照してください。

リモート管理アダプター II を持つ管理対象システムのサポート構成

リモート管理アダプター (RSA) II を持つ管理対象 Windows システムでは、RSA-II デーモンがインストールされていて実行されていなければなりません。

Windows 用の RSA-II デーモンは以下の場所から入手できます。

- IBM Remote Supervisor Adapter II Daemon v5.46 for Microsoft Windows IA32 IBM System x
- IBM Remote Supervisor Adapter II Daemon v5.44 for Microsoft Windows Server 2003/2008 (x64) IBM System x

ベースボード管理コントローラー (BMC) があり、さらに RSA-II がインストール されているシステムでは、サポートされている Intelligent Platform Management Interface (IPMI) ドライバー・スタックがインストールされていて実行されていれ ば、RSA-II デーモンはオプションです。ただし、RSA-II デーモンをインストール すれば、IPMI ドライバー・スタックおよびBMCによって提供される機能に、イン バンド・システム管理機能が追加されます。

IBM Systems Director エージェント 6.x では、BMC がなく、RSA-II のみを持つシ ステムはサポートされません。このようなシステムには、IBM Systems Director エ ージェント 5.20.3x を RSA-II デーモンとともに使用してください。

RSA-II の最新ファームウェアを入手して管理対象システムに適用してください。 RSA-II の最新ファームウェアを見つけるには、「IBM Systems のサポート」を参照 してください。

ServeRAID-MR または MegaRAID を持つ管理対象システムのサポ ート構成

このトピックでは、ServeRAID-MR または MegaRAID を持つ管理対象システムの サポート構成について説明します。

次の表は、ServeRAID-MR または MegaRAID を持つシステムの要件をリストした ものです。コントローラーの最新ファームウェアとデバイス・ドライバーを入手し て、管理対象システムに適用します。 ServeRAID-MR または MegaRAID コントロ ーラーの最新ファームウェアとデバイス・ドライバーを見つけるには、「IBM Systems のサポート」を参照してください。

IBM Systems Director エー ジェント 必要な追加ソフトウェア 追加のソフトウェアは不要です。 IBM Power[®] CIM Provider はプラットフ 6.3, 6.3.1, 6.3.2, 6.3.3 ォーム・エージェントの一部です。 追加のソフトウェアは不要です。 IBM Power CIM Provider はプラットフ 6.2.0, 6.2.1 オーム・エージェントの一部です。 追加のソフトウェアは不要です。 IBM Power CIM Provider はプラットフ 6.1.2 オーム・エージェントの一部です。 5.20.x LSI Mega RAID Provider for Windows を「IBM Director 5.2 ダウンロー ド」からダウンロードしてインストールします。

表 6. ServeRAID-MR または MegaRAID の要件

ServeRAID-BR/IR または内蔵 RAID を持つ管理対象システムのサポ ート構成

このトピックでは、ServeRAID-BR/IR または内蔵 RAID を持つ管理対象システムの サポート構成について説明します。

次の表は、ServeRAID-BR/IR または内蔵 RAID を持つシステムの要件をリストした ものです。コントローラーの最新ファームウェアとデバイス・ドライバーを入手し て、管理対象システムに適用します。 ServeRAID-BR/IR または内蔵コントローラー の最新ファームウェアとデバイス・ドライバーを見つけるには、「IBM Systems の サポート」を参照してください。

IBM Systems Director エー ジェントのバ ージョン	必要な追加ソフトウェア
6.3, 6.3.1, 6.3.2, 6.3.3	追加のソフトウェアは不要です。 IBM Power CIM Provider はプラットフ ォーム・エージェントの一部です。
6.2.0, 6.2.1	追加のソフトウェアは不要です。 IBM Power CIM Provider はプラットフ ォーム・エージェントの一部です。
6.1.2	追加のソフトウェアは不要です。 IBM Power CIM Provider はプラットフ ォーム・エージェントの一部です。
5.20.x	LSI Mega RAID Provider for Windows を「IBM Director 5.2 ダウンロード」からダウンロードしてインストールします。

表7. ServeRAID-BR/IR または内蔵 RAID の要件

ServeRAID バージョン 8x/7x/6x を持つ管理対象システムのサポー ト構成

このトピックでは、ServeRAID バージョン 8x/7x/6x を持つ管理対象システムのサポ ート構成について説明します。ServeRAID-8x/7x/6x コントローラーの最新ファーム ウェアおよびデバイス・ドライバーを入手して適用するには、IBM Systems のサポ ートを参照してください

次の表は、コントローラー・バージョン 8x、7x、および 6x の ServeRAID を持つ システムの要件をリストしたものです。

IBM Systems Director エー	
ジェントのバ	
ージョン	必要な追加ソフトウェア
6.3, 6.3.1,	追加のソフトウェアは不要です。 IBM Power CIM Provider はプラットフ
6.3.2, 6.3.3	ォーム・エージェントの一部です。
6.2.0, 6.2.1	追加のソフトウェアは不要です。 IBM Power CIM Provider はプラットフ
	ォーム・エージェントの一部です。
6.1.2	サポートされていません。
5.20.x	ServeRAID Manager 9.0 - Windows L1 エージェントまたは ServeRAID
	Manager 9.0 - Windows L2 エージェントを「IBM Director 5.2 ダウンロー
	ド」からダウンロードしてインストールします。

表 8. ServeRAID-8x/7x/6x の要件

電源モニターを持つ管理対象システムのサポート構成

このトピックでは、電源モニターを持つ管理対象システムのサポート構成について 説明します。

IBM Power CIM Provider には、以下のソフトウェア要件とハードウェア要件があります。

- ・ Windows Server 2008、Windows Server 2008 SP1/R2、Windows Server 2008 SP1/R2 Service Pack 1、または Windows Server 2012
- 物理ハードウェアには最新バージョンの IMM および uEFI が必要です。追加セットアップ情報については、14ページの『BMC または IPMI を持つ管理対象システムの、サポートされている構成』を参照してください。
- IMM は電源モニター/キャッピングをサポートしています。
- IBM Systems Director エージェント 6.2.1 以降

18 IBM Hardware Management Pack for Operations Manager, Version 5.0.1 インストールおよびユーザーズ・ガイド

第 4 章 IBM Hardware Management Pack およびその他のコン ポーネントのインストール

このセクションのトピックでは、IBM Hardware Management Pack およびその他の コンポーネントのインストール、アップグレード、アンインストール、および再イ ンストールについて説明します。

IBM Hardware Management Pack は、Operations Managerでの IBM システムの管理 を拡張し、また IBM ハードウェア・サーバー製品の RAS 機能も拡張します。 IBM Hardware Management Pack は、IBM BladeCenter シャーシおよびシャーシ・ コンポーネントの正常性を検出し、モニターします。さらに、IMM を検出し、それ らをホストと相互に関係させることもできます。

インストール・プロセスの概要

インストール・プロセスは、まずサポートされているバージョンの Microsoft System Center Operations Manager 2007 または 2012 を管理サーバーにインストー ルすることから始まります。

Microsoft System Center Operations Manager 2012 をインストールするには、 「*Deploying System Center 2012 - Operations Manager*」の指示に従ってください: Deploying System Center 2012 - Operations Manager

Virtual Machine Manager をインストールするには、「Deploying System Center 2012 - Virtual Machine Manager」の指示に従ってください: Deploying System Center 2012 - Virtual Machine Manager

Microsoft System Center Operations Manager および Virtual Machine Manager をイ ンストール後、IBM Hardware Management Pack を管理サーバーにインストールす ることができます。

Operations Manager の検出ウィザードを使用して、 IBM System x サーバーまたは (Operations Manager が管理する対象の) IBM BladeCenter Blade サーバーで稼働す る Windows システムを追加します。

IBM Hardware Management Pack をインストールすると、以下の Microsoft System Center Operations Manager 機能が IBM System x および BladeCenter x86 システム 用に拡張されます。

「ヘルス・エクスプローラー (Health explorer)」ビュー:

IBM BladeCenter シャーシとコンポーネント、およびコンポーネント・レベ ルでの個々のサーバーのヘルス状態を、可用性、構成、パフォーマンス、お よびセキュリティーの階層ビューに示します。

「ダイアグラム (Diagram)」ビュー:

IBM シャーシ、IBM System x、BladeCenter、および計算ノード x86/x64 の 内部組織ビューを表示します。

「イベント (Events)」ビュー:

IBM シャーシと、IBM System x および System x x86/x64 システムの特定 ターゲットまたは集合ターゲットで発生するイベントを取り込みます。

「アクティブ・アラート (Active alerts)」ビュー: IBM シャーシと、IBMSystem x および IBM BladeCenter x86/x64 システム の特定ターゲットまたは集合ターゲットに関するすべてのアラート通知をリ ストします。

IBM Hardware Management Pack のインストール要件

このトピックでは、IBM Hardware Management Pack のインストール要件について 説明します。

IBM Hardware Management Pack は、Microsoft System Center Operations Manager 管理サーバーとして稼働している IBM システムにインストールしてください。サ ーバーは、Operations Manager 管理グループ内のルート管理サーバー、または管理 グループ内の非ルート管理サーバーとすることができます。詳細な要件について は、10ページの『管理サーバーのサポート構成』を参照してください。

IBM Hardware Management Pack が Microsoft System Center Operations Manager 2007 を備えたサーバーにインストールされている場合、最初に Microsoft .NET Framework 4.0 をインストールする必要があります。

IBM Hardware Management Pack をインストールするシステムに対する管理特権が 必要です。また、管理パックをインポートする Operations Manager の管理グループ に対する管理特権も必要です。

下の表に、Microsoft System Center Operations Manager 2007 および 2012 に必要な IBM Hardware Management Pack のバージョンがリストされています。 IBM Hardware Management Pack は、記載されている最小バージョンか、それ以降のサポ ート対象バージョンでなければなりません。

表 9. Microsoft System Center Operations Manager 2007 に必要な IBM Hardware Management Pack バージョン

管理パック名	管理パック ID	管理パック・ バージョン
ヘルス・ライ ブラリー	System.Health.Library	6.0.5000.0
システム・ラ イブラリー	System.Library	6.0.5000.0
パフォーマン ス・ライブラ リー	System.Performance.Library	6.0.5000.0
SNMP ライブ ラリー	System.Snmp.Library	6.0.6278.0
データウェア ハウス・ライ ブラリー	Microsoft.SystemCenter.Datawarehouse.Library	6.0.6278.0

表 9. Microsoft System Center Operations Manager 2007 に必要な IBM Hardware Management Pack バージョン (続き)

毎曲 パニットタ	<u>海田 Man み ma</u>	管理パック・
官理ハック石	官理ハック ID	<u> </u>
System Center	Microsoft.SystemCenter.Library	6.0.5000.0
コア・ライブ		
ラリー		
ネットワー	Microsoft.SystemCenter.NetworkDevice.Libary	6.0.6278.0
ク・デバイ		
ス・ライブラ		
リー		
Windows ⊐	Microsoft.Windows.Library	6.0.5000.0
ア・ライブラ		
リー		

表 10. Microsoft System Center Operations Manager 2012 に必要な IBM Hardware Management Pack バージョン

管理パック名	管理パック ID	管理パック・ バージョン
ヘルス・ライ ブラリー	System.Health.Library	6.0.5000.0
システム・ラ イブラリー	System.Library	6.0.5000.0
パフォーマン ス・ライブラ リー	System.Performance.Library	6.0.5000.0
SNMP ライブ ラリー	System.Snmp.Library	6.0.6278.0
データウェア ハウス・ライ ブラリー	Microsoft.SystemCenter.Datawarehouse.Library	6.0.6278.0
System Center コア・ライブ ラリー	Microsoft.SystemCenter.Library	6.0.5000.0
ネットワー ク・デバイ ス・ライブラ リー	System.NetworkManagement.Library	7.0.8107.0
Windows コ ア・ライブラ リー	Microsoft.Windows.Library	6.0.5000.0

IBM Hardware Management Pack のインストール

Microsoft System Center Operations Manager 2007 では、IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 をルート管理サーバーま たは非ルート管理サーバーのいずれかにインストールできます。ルート管理サーバ ーは、Operations Manager をインストールする最初の管理サーバーです。

Microsoft System Center Operations Manager 2012 の場合、管理サーバー (非ルート 管理サーバー) に IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 をインストールできます。

IBM Hardware Management Pack のインストールには、以下の情報が役立ちます。

- インストール・プロセスを開始するには、管理グループのルート管理サーバーに
 関して十分なレベルの特権と知識が必要です。
- IBM Hardware Management Pack のインストール・パッケージは 1 つだけで、 Windows 32 ビットおよび 64 ビット・オペレーティング・システムの両方に対応しています。インストールを開始するには、以下の指示に従って正しいインストール・パッケージを見つけて起動し、次にユーザーズ・ガイドの指示に従ってインストール・プロセスを実行してください。
- 旧バージョンの IBM Hardware Management Pack が管理サーバーにインストール されている場合、または管理パックが既に Operations Manager にインポートされ ている場合は、32ページの『IBM Hardware Management Pack バージョン 5.0.1 へのアップグレード』を参照してください。

注: IBM Hardware Management Pack のインストールまたはアンインストール は、IBM Upward Integration for Microsoft System Center Integrated Installer を使 用して実行することもできます。このアクションの実行方法について詳しくは、 「IBM Upward Integration for Microsoft System Center Integrated Installer ユーザ ーズ・ガイド」を参照してください。

IBM Hardware Management Pack のインストール手順

このトピックでは、IBM Hardware Management Pack のインストール方法について 説明します。
始める前に

Microsoft System Center Operations Manager 2007 Service Pack 1 (SP1) を Windows Server 2008 上で使用している場合、サービス・パックを Windows Server 2008 と Microsoft System Center Operations Manager 2007 SP1 の両方にインストールしてく ださい。

サービス・パックをインストールする方法について詳しくは、Windows Server 2008 ベースのコンピューター上で System Center Operations Manager 2007 Service Pack 1 および System Center Essentials 2007 Service Pack 1 を実行するためのサポート を参照してください。

手順

- 「IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager - IBM BladeCenter and System x」Web ページの「File Details」セク ションで、ibm_sw_hwmp_x.x.x_windows_32-64.exe という名前のファイルを見 つけ、IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 をダウンロードします。
- 2. インストール・プロセスを開始するには、ダウンロードしたインストール実行 可能ファイル ibm_sw_hwmp_x.x.x_windows_32-64.exe をダブルクリックしてく ださい。

Microsoft System Center Operations Manager 2007 のインストール方法について 詳しくは、「Operations Manager 2007 R2 Quick Start Guide」を参照してくだ さい。

Microsoft System Center Operations Manager 2012 のインストール方法について 詳しくは、「Deploying System Center 2012 - Operations Manager」を参照して ください。

IBM Hardware Management Pack for Microsoft Operations Manager v5.0 の「InstallShield ウィザードにようこそ」ページが開きます。

注: ご使用のシステムでインストーラーが Microsoft System Center Operations Manager を検出できない場合、インストールは終了します。

3. 「次へ」をクリックします。 「ソフトウェアのご使用条件」ページが開きま す。

Software License Agree	ment			
Please read the follow	ving license agree	ment carefully.		
MPORTANT: READ	CAREFULLY			
Two license agreem	ents are prese	nted below.		
1. IBM International 2. IBM International	License Agree Program Licen	ment for Evaluat se Agreement	ion of Programs	6
1. IBM International 2. IBM International If Licensee is obtain evaluation, testing, t "Accent" button belo	License Agree Program Licen ing the Program rial "try or buy we Licensee a	ment for Evaluat ise Agreement m for purposes o ," or demonstrat coents the IBM	ion of Programs If productive use ion): By clicking International Pro	other than on the
1. IBM International 2. IBM International If Licensee is obtaini evaluation, testing, t "Accent" button belo	License Agree Program Licen ing the Program rial "try or buy www.Licensee.a Re	ment for Evaluat ise Agreement m for purposes o ," or demonstrat ccents the IBM ad Non-IBM Terms	ion of Programs If productive use ion): By clicking International Pro	i (other than I on the Deram
1. IBM International 2. IBM International If Licensee is obtaini evaluation, testing, t "Accent" hutton helo I accept both the IBM	License Agree Program Licen ing the Program rial "try or buy www.Licensee a Re land the non-IBM	ment for Evaluat se Agreement m for purposes o ," or demonstrat ccents the IBM ad Non-IBM Terms Iterms.	ion of Programs If productive use ion): By clicking International Pro	(other than on the
1. IBM International 2. IBM International If Licensee is obtain evaluation, testing, t "Accent" hutton helo I accept both the IBM I do not accept the te estallShield	License Agree Program Licen rial "try or buy www.Licensee a Re and the non-IBM rms in the license	ment for Evaluat se Agreement m for purposes o ," or demonstrat ccents the IBM ad Non-IBM Terms I terms. agreement.	ion of Programs If productive use ion): By clicking International Pro	(other than on the

図1. ソフトウェアのご使用条件

 ソフトウェアのご使用条件の IBM 条項を読んで、「非 IBM 条項を読む (Read Non-IBM Terms)」をクリックして IBM 以外の条項を読みます。 IBM 条項と非 IBM 条項の両方に同意する場合は、「IBM 条項と非 IBM 条項の両 方に同意 (I accept the IBM and the non-IBM term)」を選択し、「次へ」を クリックします。

備考:

- これが IBM Hardware Management Pack の最初のインストールであり、製品 ライセンスがどれもアクティブ化されていない場合には、「試用版 (Trial Version)」ページが開きます。「試用版」ページの手順 7 を実行します。
- ・ 製品ライセンスがアクティブ化されている場合は、手順8 を実行します。

😸 IBM Hardware Managem	ent Pack for Microsoft System Center Op
Trial Version	
License not detected	
License is not found on this serv	ver. Trial License will expire in 90 days.
Contact IBM	
estallehield	
nstallShield	< Back Next > Cancel

図 2. 「試用版」ページ

- 5. 「試用版」ページで、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - 「有効な製品ライセンスを入手する場合は IBM に連絡 (Contact IBM to obtain a valid product license)」で、製品ライセンスを入手します。
 - 「次へ」で、「宛先フォルダー (Destination Folder)」ページに進みます。
- 「宛先フォルダー (Destination Folder)」ページで、デフォルトのターゲット・ ロケーションが正しいことを確認して「次へ」をクリックするか、あるいは 「変更」をクリックしてインストール・ソフトウェアのターゲット・フォルダ ーを選択してから「次へ」をクリックします。

Destinal Click Ne	tion Folder ext to install to this folder, or click Change to install to a different folder.
	Install IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager, v4.5 to:
D	C:\Program Files\IBM\IBM Hardware Management Pack\ Change

図3. 「宛先フォルダー」ページ

- 7. 「FQDN 構成」ページで、以下のいずれかの手順を実行します。
 - VM マイグレーションを実行する場合は、「SCVMM サーバー FQDN」の 名前を入力して「次へ」をクリックする。または、
 - VM マイグレーションを実行する必要がない場合は、「次へ」をクリックする。

👸 IBM Hardware Management Pac	k for Micros	soft System Ce	enter Op 🗙
FQDN Configuration			
Input SCVMM Server FQDN for VM Migratio	n		
SCVMM Server FQDN:			
InstallShield			
	< Back	Next >	Cancel

図4. 「SCVMM サーバー FQDN 構成」ページ

8. 以前に、ご使用のシステムに IBM Hardware Management Pack がインストール されている場合は、「プログラムの保守 (Program Maintenance)」ページが開き ます。以下のいずれかのオプションを選択します。

機能の修復 (Repair function):

コードおよびレジストリー項目をローカル・サーバーに再インストール します。

システムにバージョン 5.0 が既にインストールされている場合は、IBM Hardware Management Pack コードの修復または削除を選択できます。

デフォルトのターゲット・ロケーションを確認します。必要に応じて、 インストール・コードのターゲット・フォルダーと、IBM システムお よびコンポーネントについて記述したナレッジ記事を選択します。

機能の削除 (Remove function):

IBM Hardware Management Pack パッケージをローカル・システムから アンインストールしますが、管理パックを Operations Manager から削 除することはありません。

管理パックを Operations Manager から削除するには、Operations Manager コンソールを使用します。

岁 IBM Hardware Management Page	ck for Microsoft System Center Op 💌
Ready to Repair the Program The wizard is ready to begin installation.	
Click Install to begin the installation.	
If you want to review or change any of yo exit the wizard.	ur installation settings, click Back. Click Cancel to
InstallShield	< Back Install Cancel

図 5. 「プログラム修復の準備完了 (Ready to Repair Program)」ページ

- 「機能の修復 (Repair Function)」を選択した場合、「インストール」をクリッ クして修復を続行します。「インストール/修復/削除の確認 (Install/Repair/Remove Confirmation)」ページが開きます。
- 10. 「次へ」をクリックしてインストールを確認します。

非ルート管理サーバーにインストールする場合は、ルート管理サーバー名を手 動で構成する必要があります。

11. インストールが完了したら、「Read me」および「管理パックを Operations Manager にインポート」を選択し、「終了」をクリックします。

注:「管理パックを Operations Manager にインポート」は、ソフトウェア依 存関係が満たされた場合に表示されます。このオプションが表示されない場合 は、管理パックを手動でインポートする必要があります。インポートされた管 理パックは、Operations Manager が管理パック・インベントリー・データをリ フレッシュするまで、Operations Manager コンソールには表示されない場合が あります。「管理パックを Operations Manager にインポート (Import management packs to Operations Manager)」が表示されない場合は、以下の手順 に従って、管理パックを手動でインポートしてください。

- 12. PostSetupCheckList.rtf ファイルを読んで、推奨アクションを実行します。 PostSetupCheckList.rtf ファイルは %Program Files%¥IBM¥IBM Hardware Management Pack¥ にインストールされています。
- Microsoft System Center Operations Manager の操作コンソールを開き、IBM Hardware Management Pack の管理パックを Operations Manager にインポート します。
- 14. 「管理」ボタンをクリックし、「管理パック」を右クリックして、「管理パッ クのインポート (Import Management Packs)」をクリックします。
- ウィザードの指示に従って、IBM Hardware Management Pack の 5 つの管理パックを手動でインポートします。 デフォルトで、管理パックは %ProgramFiles%¥IBM¥IBM Hardware Management Pack¥Management Packs にイン ストールされます。

IBM Hardware Management Pack

IBM Hardware Management Pack が正常にインポートされると、以下の IBM Hardware Management Pack が Operations Manager コンソールの「管理」ペインに表示されます。

Microsoft System Center Operations Manager 2012 の場合、IBM Hardware Management Pack は以下のとおりです。

IBM Hardware Management Pack - 共通ライブラリー: IBM.HardwareMgmtPack.Common.mp

IBM System x および x86/x64 Blade システム対応 IBM Hardware Management Pack: IBM.HardwareMgmtPack.xSystems.mp

IBM BladeCenter シャーシおよびモジュール対応 IBM Hardware Management Pack: IBM.HardwareMgmtPack.BladeCenter.v2.mp

- IBM Hardware Management Pack ハードウェア ID ライブラリー: IBM.HardwareMgmtPack.HardwareIDs.mp
- IBM Hardware Management Pack 関係ライブラリー: IBM.HardwareMgmtPack.Relation.v2.mp

IBM Flex System シャーシおよびモジュール対応 IBM Hardware Management Pack: IBM.HardwareMgmtPack.FlexSystem.v2.mp

- IBM Hardware Management Pack Flex 関係ライブラリー: IBM.HardwareMgmtPack.RelationCMM.v2.mp
- IBM Integrated Management Module 用の IBM Hardware Management Pack: IBM.HardwareMgmtPack.IMM2.v2.mp

Microsoft System Center Operations Manager 2007 の場合、IBM Hardware Management Pack は以下のとおりです。

IBM Hardware Management Pack - 共通ライブラリー: IBM.HardwareMgmtPack.Common.mp

IBM System x および x86/x64 Blade システム対応 IBM Hardware Management Pack: IBM.HardwareMgmtPack.xSystems.mp IBM BladeCenter シャーシおよびモジュール対応 IBM Hardware Management Pack: IBM.HardwareMgmtPack.BladeCenter.mp

- **IBM Hardware Management Pack** ハードウェア **ID** ライブラリー: IBM.HardwareMgmtPack.HardwareIDs.mp
- IBM Hardware Management Pack 関係ライブラリー: IBM.HardwareMgmtPack.Relation.mp
- IBM Flex System シャーシおよびモジュール対応 IBM Hardware Management Pack: IBM.HardwareMgmtPack.FlexSystem.mp
- IBM Hardware Management Pack Flex 関係ライブラリー: IBM.HardwareMgmtPack.RelationCMM.mp
- IBM Integrated Management Module 用の IBM Hardware Management Pack: IBM.HardwareMgmtPack.IMM2.mp

注:管理パックの項目が、インストールの直後に表示されない場合があります。 F5 を押してウィンドウを最新表示するか、管理パック項目が表示されるまで数分待ってください。

複数の管理サーバーへのインストール

このトピックでは、IBM Hardware Management Pack を複数の管理サーバーにイン ストールする方法について説明します。

このタスクについて

手順

- 1. IBM Hardware Management Pack を、ご使用のシステムに必要な管理サーバーす べてにインストールします。
- 2. そのいずれかの管理サーバーにある管理パックを Operations Manager にインポートします。

注: 別々のネットワークにある複数の BladeCenter を管理するには、IBM Hardware Management Pack を複数の管理サーバーにインストールします。これ により、SNMP を使用して各 BladeCenter と通信できるようになります。 SNMP を使用してターゲット・シャーシと通信できる限りは、1 つの管理サーバ ーで複数の BladeCenter シャーシを管理できます。

管理パックのインポートについて詳しくは、Operations Manager 2007 または 2012 の資料を参照してください。

IBM Power CIM Provider のインストール

このインストールはオプションです。このインストールで使用可能になるのは、 Power 対応ターゲット・システム上の電源管理機能のみです。 IBM Hardware Management Pack のインストールとは異なり、IBM Power CIM Provider のインス トールは、電源管理機能を必要とするエンドポイントごとに実行する必要がありま す。

電源管理機能を提供する IBM サーバー・システムのリストについては、7ページの『サポートされるサーバー』を参照してください。

電源管理は、アクティベーション・ライセンスの購入を必要とするプレミアム・フィーチャーです。アクティベーション・ライセンスの入手について詳しくは、IBM 営業担当員にお問い合わせください。

IBM Power CIM Provider インストーラーのファイル名は IBMPowerCIMInstaller.msi です。デフォルトでは、インストーラー・ファイルはツ ールボックス・ディレクトリー %ProgramFiles%¥IBM¥IBM Hardware Management Pack¥toolbox にあります。

インストール・プログラムのユーザー・インターフェース・レベルは、標準の msiexec コマンド・ライン・パラメーターで制御されます。自動化された IBM Power CIM Provider のサイレント・インストールをユーザー・インターフェース・ プロンプトなしで実行するには、コマンド msiexec /qn /i IBMPowerCIMInstaller.msi を実行します。

同様に、IBM Power CIM Provider のサイレント・アンインストールを実行するに は、コマンド msiexec /qn /x IBMPowerCIMInstaller.msi を実行します。インスト ールをサイレント・モードで実行すると、デフォルトのフォルダー・ロケーション C:¥Program Files¥IBM¥IBM Power CIM Provider¥ が、すべてのインストール・ファ イルのターゲットとして使用されます。

IBM Power CIM Provider インストーラーは、プロバイダーを IBM Director プラットフォーム・エージェント CIM サーバーに登録するために、インストール・プロ セス中にカスタム・アクション・バッチ・スクリプトを実行します。このスクリプ トの実行中に何らかのエラーが発生した場合は、エラーの詳細が IBM Power CIM Provider インストール・ディレクトリーにある RegIBMPowerCIM.log というファイ ルに記録されます。インストールおよびアンインストールの結果について詳しく は、このファイルを参照してください。

IBM Power CIM インストーラーは、それ自体の複数の同時インストール・インス タンスを検出しません。複数の Power CIM インストーラーのインスタンスを同時 に実行しないでください。

IBM ライセンス・ツールのインストールおよびプレミアム・フィーチャー のアクティブ化

プレミアム・フィーチャーをアクティブ化するために、System Center Operations Manager (SCOM) UIM で必要となるのは、ライセンスを System Center Operations Manager サーバーでアクティブ化することだけです。ライセンスを管理ターゲット (クライアント) ごとにアクティブ化する必要はありません。ライセンス・トークン は、ライセンス交付を受けた SCOM サーバーによって管理されている場合は自動 的にクライアントに配信されます。プレミアム・フィーチャーのアクティブ化につ いて詳しくは、「*IBM Upward Integration for Microsoft System Center Installer Guide*」を参照してください。

IBM Hardware Management Pack バージョン 5.0.1 へのアップグレード

インストール・プロセスを開始し、古いバージョンの IBM Hardware Management Pack がインストールされていることが分かった場合、インストールによって IBM Hardware Management Pack のアップグレードが実行されます。

バージョン 5.0.1 にアップグレードするには、Operations Manager コンソールで、 IBM Hardware Management Pack をインストールする管理サーバーを保守モードに します。 IBM Hardware Management Pack の新しい管理パックを Operations Manager にインポートするまで、管理サーバーを保守モードにしておいてくださ い。

注: v4.5 からアップグレードする場合、「MP の自動インポート」 機能では、新し い管理パックがインポートされない可能性があります。このプログラムは、インポ ートされない理由がアップグレードであるか、前回のインストールにおける障害で あるかを判別できません。新しい管理パックは v5.0 で導入されたものであるため、 v4.5 からアップグレードする場合は、管理パックを手動でインポートする必要があ ります。

複数の管理サーバーのアップグレード

複数の管理サーバーに IBM Hardware Management Pack をインストールする場合 は、IBM Hardware Management Pack の管理パックを Operations Manager にインポ ートする前に、すべての管理サーバーでの IBM Hardware Management Pack のイン ストールを完全に終了してください。インストールが完了したら、管理サーバーの 保守モードを終了します。

バージョン 2.4 以前からのアップグレード

バージョン 5.0 をインストールするには、まずバージョン 2.4 よりも前の IBM Hardware Management Pack を Operations Manager から削除し、2.4 よりも前のバー ジョンをファイル・システムからアンインストールしてから、バージョン 5.0 をイ ンストールしてください。

IBM Hardware Management Pack バージョン 5.0.1 のアンインストール

このトピックでは、IBM Hardware Management Pack のアンインストール方法について説明します。

手順

- 1. IBM Hardware Management Pack をアンインストールするサーバーを保守モード にします。
- 管理パック項目を Microsoft System Center Operations Manager の Operations Manager コンソールから削除します。詳しくは、『IBM Hardware Management Pack の削除』を参照してください。
- 3. 「プログラムの追加と削除」を使用して IBM Hardware Management Pack を削 除します。

IBM Hardware Management Pack の削除

ランタイム・サポート・ライブラリーの欠落によるエラーが発生しないようにする には、IBM Hardware Management Pack のパッケージを削除する前に、まず管理パ ックを Operations Manager から削除してください。これらのエラーは、IBM Hardware Management Pack を複数の管理サーバーからアンインストールする場合に も発生します。

始める前に

IBM Hardware Management Pack の使用を続ける予定であるが、ある管理サーバーから別の管理サーバーへ責任を移動することのみが必要な場合は、IBM Hardware Management Pack のインストール済みパッケージを削除する前に、新たに指定した管理サーバーが責任を正常に引き継いだことを確認します。

手順

- 1. Operations Manager コンソールの「管理」ペインで、IBM Hardware Management Pack の以下の管理パック項目を選択し、Operations Manager から削除します。
 - IBM Hardware Management Pack 共通ライブラリー
 - IBM System x および x86/x64 ブレード・システム対応 IBM Hardware Management Pack
 - IBM BladeCenter シャーシおよびモジュール対応 IBM Hardware Management Pack
 - IBM Hardware Management Pack ハードウェア ID ライブラリー
 - IBM Hardware Management Pack 関係ライブラリー

- IBM Flex System シャーシおよびモジュール対応 IBM Hardware Management Pack
- IBM Hardware Management Pack Flex 関係ライブラリー
- IBM Integrated Management Module 用の IBM Hardware Management Pack
- 「プログラムの追加と削除」オプションを使用し、35ページの『ソフトウェ ア・パッケージのアンインストール』セクションの説明に従ってソフトウェア・ パッケージおよびファイルを削除します。

IBM Power CIM Provider の削除

このトピックでは、IBM Power CIM Provider の削除方法について説明します。

このタスクについて

IBM Power CIM Provider を削除するには、ステップ 1 を実行してください。ステ ップ 2 には、アンインストール結果に関する詳細を調べるためのサポート・デバッ グ情報が提供されています。

手順

- 管理対象サーバーの「プログラムの追加と削除」で、削除する IBM Power CIM Provider を選択し、さらに「アンインストール」を選択します。 CIM サーバー wmicimserver は、IBM Power CIM Provider を完全にアンロードするまで数分か かる場合があります。 アンインストール結果についてさらに詳しい情報を見る には、以下の手順に従ってください。
- IBM Power CIM Provider インストール・ディレクトリーで RegIBMPowerCim.log というファイルを探します。このファイルには、アンインストール・プロセスか らの出力がリストされています。このログ・ファイルは、アンインストール中に エラーが発生したかどうかを示します。

備考:

- IBM Power CIM Provider をアンインストールする場合は、IBM Director エージェントより先にアンインストールする必要があります。この規則に従わないと、予測不能な結果になる恐れがあります。
- 誤って IBM Director エージェントを先にアンインストールし、続いて IBM Power CIM Provider をアンインストールしようとすると、IBM Power CIM Provider がアンインストールされない場合があります。アンインストールする には、IBM Director エージェントを再インストールして、IBM Power CIM Provider を修復します。次に IBM Power CIM Provider をアンインストールし てから、IBM Director エージェントをアンインストールしてください。

ソフトウェア・パッケージのアンインストール

IBM Hardware Management Pack をアンインストールするには、以下の手順に従ってください。

手順

- 1. 33 ページの『IBM Hardware Management Pack の削除』の説明に従って管理パック項目を削除します。
- 2. Windows の「コントロール パネル」にある「プログラムの追加と削除」で、

「IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager 2007 v5.0 の削除 (Remove the IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager 2007, v5.0.1)」を選択し、ソフト ウェア・パッケージおよびファイルを完全にアンインストールします。

旧バージョンへのダウングレード

IBM Hardware Management Pack を旧バージョンにダウングレードするには、現行 バージョンをアンインストールし、旧バージョンを再インストールしてください。

IBM Hardware Management Pack バージョン 5.0.1 の再インストール

最近 Microsoft System Center Operations Manager コンソールから管理パックを削除 した場合は、設定が Operations Manager コンソール・データベースに伝搬するまで 待ってから再インストールする必要があります。

重要:管理パックの削除が登録されるのを待たないと、再インストールを行って も、管理対象クライアントが Operations Manager にリストされない場合がありま す。

Microsoft System Center Operations Manager のこの既知の制約については、 『Discovery information is missing after you delete and then reimport a management pack in Microsoft System Center Operations Manager 2007』を参照してください。

コンソールから管理パックを削除すると、IBM Hardware Management Pack を Microsoft System Center Operations Manager サーバーから切り離したことになりま す。続いて IBM Hardware Management Pack を Microsoft System Center Operations Manager に再インストールし、管理パックを再度コンソール・ビューに追加する必 要があります。

BladeCenter SNMP 設定の構成

SNMP 用に正しく有効化された IBM BladeCenter シャーシは、Microsoft ネットワ ーク・デバイス検出によって自動的に検出できます。 IBM Hardware Management Pack のインストール後、BladeCenter シャーシが検出可能かどうかを検査すること ができます。

手順

 BladeCenter シャーシを検出する Microsoft System Center Operations Manager コ ンソールを表示するには、「IBM ハードウェア」 > 「IBM BladeCenters およ びモジュール (IBM BladeCenters and Modules)」 > 「IBM BladeCenters シス テム・シャーシの管理用 Windows コンピューター (Windows Computers for managing IBM BladeCenters)」を選択します。

このビューを使用して、IBM Hardware Management Pack がインストールされて いて、BladeCenter シャーシおよびコンポーネントを検出して管理できるコンピ ューターの正常性を識別します。

 IBM(r) BladeCenter(r) およびモジュールをモニターするには、「モニター (Monitoring)」 > 「IBM ハードウェア」 > 「IBM BladeCenter およびモジュ ール (IBM BladeCenter(s) and Modules)」を選択します。

シャーシ・ユニットが結果ペインに表示されます。その後に、管理モジュールに よるコンポーネントの提示と同じ方法で編成された、それらのコンポーネントの ビューが続きます。

- IBM BladeCenter ブレード
- IBM BladeCenter $\dot{>} \gamma \dot{>}$
- IBM BladeCenter 冷却モジュール
- IBM BladeCenter 入出力モジュール
- IBM BladeCenter 管理モジュール
- IBM BladeCenter メディア・モジュール
- IBM BladeCenter 電源モジュール
- IBM BladeCenter ストレージ・モジュール

モジュール・タイプにはそれぞれ、正常性状態と以下のプロパティーがあります。

- 製品名およびブレードの論理名
- 製品名およびモジュールの論理名
- 物理位置情報

- 3. IBM BladeCenter AMM Web コンソールにログインします。
- 自動的に検出されなかった BladeCenter シャーシの SNMP 通信用ポートを設定 するには、管理モジュール Web コンソールで「MM 制御 (MM Control)」 > 「ポート割り当て (Port Assignment)」を選択します。



図 6. デフォルト SNMP ポート

エージェント (照会/ポーリング) にはデフォルト SNMP ポート 161 を、トラッ ピングには 162 を使用してください。 SNMP ポート設定には矛盾がないことが 重要です。そうでないと、Operations Manager は BladeCenter シャーシを検出で きません。

- 5. SNMP 設定を変更するには、「MM 制御 (MM Control)」 > 「ネットワーク・ プロトコル」 > 「Simple Network Management Protocol (SNMP)」を選択しま す。
 - a. 「SNMP トラップ、SNMP v1 エージェント用の有効化 (Enabled for SNMP Traps, SNMP v1 agent)」を選択します。
 - b. BladeCenter を管理する Microsoft System Center Operations Manager 管理サ ーバーごとに、以下の情報を入力します。
 - SNMP による通信で使用される、BladeCenter に割り当てられたコミュニ ティー名
 - 完全修飾ホスト名または IP アドレス

表 11. SNMP 設定

コミュニテ	アクセス・	
ィー名	タイプ	完全修飾ホスト名または IP アドレス
Public	設定 (Set)	yourOpsMgrServer.yoursite.yourcompany.com

「設定 (Set)」アクセス・タイプは、Operations Manager コンソールを通じてブレード・サーバーの電源をリモート側からオン/オフするなどの管理タスクを有効化するために必要です。このタイプのタスクを Operations Manager コンソールで使用可能にする予定がない場合は、アクセス・タイプをトラップに下げることができます。 Operations Manager サーバーで SNMP 照会を実行し、BladeCenter から SNMP トラップを受信できるように、「トラップ」アクセス・タイプが最低限必要です。

管理モジュールからイベントを受け取るには、管理モジュールと Microsoft System Center Operations Manager との間にネットワーク接続が必要です。また、イベントを送信するように管理モジュールを構成することも必要です。

ファームウェア・リビジョン 46 で SNMP over LAN を使用してアラートを有効化するには、「MM 制御 (MM Control)」 > 「アラート (Alerts)」を選択します。右ペインの「リモート・アラート受信側 (Remote Alert Recipients)」の下で、「未使用」リンクをクリックして、次の図に示されているようにアラート受信側を構成します。 このステップは、ファームウェア・レベルによってやや異なる場合があります。

Remote Alert Recipient 3 @

- If you enable a SNMP over LAN recipient, you also need to complete the SNMP section on the <u>Network Protocols</u> page.
- If you enable an E-mail over LAN recipient, you also need to complete the SMTP section on the <u>Network Protocols</u> page.

By entering an email or SNMP address not assigned to your company, you are consenting to share hardware serviceable events and data with the owner of that email or SNMP address not assigned to your company. In sharing this information, you warrant that you are in compliance with all import/export laws.

Notification method	SNMP over LAN	~		
Receives critical alerts only				

図7. SNMP を使用したアラートの有効化

- a. 新しい「リモート・アラート受信側 (Remote Alert Recipient)」ウィンドウ で、状況を「**無効 (Disabled)**」から「**有効 (Enabled)**」に変更します。
- b. 「名前」フィールドに、BladeCenter を管理するために使用する Microsoft System Center Operations Manager 用管理サーバーの記述名を入力します。管 理サーバー設定について詳しくは、40ページの『Operations Manager 2007 での BladeCenter の検出』を参照してください。
- c. 通知方式に「SNMP over LAN」を選択します。
- d. 「**保存**」をクリックします。 下の図は、完全な「リモート・アラート受信側 (Remote Alert Recipient)」の例です。

Remote Alert Recipient 3 🚱

- 1. If you enable a SNMP over LAN recipient, you also need to complete the SNMP section on the Network Protocols
- page.
 If you enable an E-mail over LAN recipient, you also need to complete the SMTP section on the <u>Network Protocols</u> page.

By entering an email or SNMP address not assigned to your company, you are consenting to share hardware serviceable events and data with the owner of that email or SNMP address not assigned to your company. In sharing this information, you warrant that you are in compliance with all import/export laws.

Status	Enabled 🔽	
Name	SCOM_RSM_01	
Notification method	SNMP over LAN	*
Receives critical alerts only		

Reset to Defaults Cancel Save

図8. リモート・アラート受信側

- 7. ファームウェア・リビジョン 46 について以下の指示を実行します。
 - a. ナビゲーション・ペインの「MM 制御 (MM Control)」の下で、「アラー ト」をクリックします。
 - b. コンテキスト・メニューで「**アラートのモニター** (Monitor Alerts)」を選択 します。
 - c. 送信するアラートを選択し、「保存」をクリックします。

下の図に、この作業の実行後の表示例を示します。

Monitored Alerts 🕜

✓ Use enhanced alert categories

	Critical Alerts	🗹 Warning Alerts	Informational Alerts
Chassis/System Management	~	V	
Cooling Devices			
Power Modules		2	
Blades		V	
I/O Modules			
Storage Modules	v	•	
Event Log		2	
Power On/Off			
Inventory change			
Network change			
User activity			

図9. モニター対象アラート

Operations Manager 2007 での BladeCenter の検出

このトピックでは、Operations Manager 2007 での BladeCenter の検出方法について 説明します。

始める前に

管理サーバーにおいて、シャーシとそのコンポーネントを Operations Manager で検 出するには、以下の手順に従ってください。

このタスクについて

管理者として Microsoft System Center Operations Manager 操作コンソールにログインします。

手順

 「System Center Operations Manager」ナビゲーション・ペインで、「管理」 > 「デバイスの管理」 > 「エージェントで管理」 > 「検出ウィザード」を選択 し、「コンピューターおよびデバイスの管理 (Computers and Device Management)」ウィザードを起動します。

Computer and Device Ma	anagement Wizard
What would	you like to manage?
Discovery Type	
Discovery Method	Choose the type of computers or devices to discover and manage.
Select Objects to Manage	
Summary	Windows computers This enables you to discover Windows computers in your Active Directory environment and to install agents on the ones you want to manage.
	Unix/Linux computers This enables you to discover Unix and Linux computers in your environment and install agents on the ones you want to manage.
	Network devices This enables you to specify an IP range to discover network devices and monitor them using SNMP.
	Select a discovery type and click Next to continue.
	< Previous Next > Discover Cancel

図10. 検出ウィザード

Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2 の場合は、上の図に示されているように、「検出ウィザード」ページで「ネットワーク デバイス」を選択し、「次へ」をクリックします。

注: Microsoft System Center Operations Manager 2007 SP1 の場合は、以下の選択を行います。

- a. 「自動/詳細」で「詳細な検出」を選択します。
- b. 「コンピューターのネットワーク デバイスとデバイスの種類 (Network Devices for Computer & Device Types)」を選択します。
- c. BladeCenter 管理サーバーを検出および管理する管理サーバーを選択します。

The computer and Device Ma	anagement Wizard
	lethod
Discovery Type	
Discovery Method	Specify Network Addresses
Select Objects to Manage	Specify a starting and ending addresses
Summary	Start: End:
	Simple Network Management Protocol (SNMP) Community Strings
	The password used to discover network devices is called a "community string". Please specify your network device community string.
	Community string:
	public
	Simple Network Management Protocol (SNMP) Community Version
	Version:
	SNMP v1
	Discovery Interval
	Discovery Imeout
	Management Server
	KKR004.SCOMR2.com
	Cancel

図11. 検出方法

- 3. 「検出方法」ページで、以下の情報を入力します。
 - a. ディスカバリー用の IP アドレスを使用して、ネットワーク・アドレスを指 定します。先頭と未尾 の IP アドレスを入力してください。
 - b. **コミュニティー文字列 (Community String)**: シャーシ SNMP 設定で使用さ れる名前。
 - c. バージョン: SNMP v1 を「バージョン」リストから選択します。
 - d. 検出の間隔: 検出タイムアウト (分)。
 - e. **管理サーバー**: ターゲット BladeCenter を検出および管理する Microsoft System Center Operations Manager の管理サーバーを選択

注:管理サーバーに IBM Hardware Management Pack がインストールされて いることを確認してください。その SNMP 設定を通じてターゲット・シャー シを検出および管理するようにセットアップされていることも確認してくだ さい。 36ページの『BladeCenter SNMP 設定の構成』と 50ページの 『SNMP 用に有効化された IBM Flex System Chassisの検出』を参照してく ださい。

f. 「検出」をクリックして、「管理対象オブジェクトの選択」ページを開きま す。

ntroduction		🥑 Hel
uto or Advanced? iscovery Method dministrator Account	Discovery Results The discovery process found the following un-managed devices.	
alect Objects to Manage	SCOM-T100 xLab Jocal	
	Select All Dgselect All	
	Select All Deselect All Deselect All Scott All	

図 12. 管理対象オブジェクトの選択

4. 管理するシャーシ・ユニットの IP アドレスを選択し、管理サーバーおよび管理 モードのデフォルト値を受け入れて、「次へ」をクリックします。

注: Microsoft System Center Operations Manager 2007 SP1 の場合は、「自動/詳細」ページの「プロキシ エージェント」フィールドに入力した Microsoft System Center Operations Manager 管理サーバーの名前を入力してください。

Operations Manager 2012 での BladeCenter の検出

このトピックでは、BladeCenter を Operations Manager 2012 で検出する方法について説明します。

始める前に

管理サーバーにおいて、シャーシとそのコンポーネントを Operations Manager 2012 で検出するには、以下の手順に従ってください。

このタスクについて

管理者として Microsoft System Center Operations Manager 操作コンソールにログインします。

手順

- 「System Center Operations Manager」ナビゲーション・ペインで、「管理」 > 「デバイスの管理」 > 「エージェントで管理」 > 「検出ウィザード」を選択 し、「コンピューターおよびデバイスの管理 (Computers and Device Management)」ウィザードを起動します。
- 2. ナビゲーション・ペインで「**ディスカバリー・タイプ** (Discovery Types)」を選 択します。



図13. 検出タイプ

上の Microsoft System Center Operations Manager 2012 の図に示されているように、「管理する対象 (What would you like to manage)」ページで「ネットワーク・デバイス (Network devices)」を選択し、「次へ」をクリックします。

Discovery Type		
Serveral Properties	Specify general properties	
Successively Method	Name ()	
Initial Accounts		
Devices .	Description (optional)	
Ichedule Discovery		2
Lummary		2
	Available servers	
	Celect a resource pool Select a resource pool Select an Operations Manager resource pool for monitory	Cinate Resource Pool of discovered network devices
	(Select a resource pool Select a resource pool Select an Operators Manager resource pool for monitors Available pool:	Create Resource Pool

図 14. 「全般プロパティ」ページ

- イー般プロパティー (General Properties)」ページで、ディスカバリー・ルール
 「名前」を入力し、「使用可能な管理サーバーおよびリソース・プール
 (Available management server and a resource pool)」を選択し、「次へ」をクリックします。
- 5. 「検出方法」ページで、「明示的検出」を選択し、「次へ」をクリックしま す。
- 6. 「既定のアカウント」ページで、「**アカウントの作成**」を選択して「**終了**」を クリックし、コミュニティー文字列を作成します。 「実行アカウントの作成」 ウィザードが起動し、「はじめに」ページが開きます。



- 図 15. 「はじめに」ページ
- 「はじめに」ページで「次へ」をクリックします。
 デバイス」ページが開きます。



図16. 「デバイス」ページ

- 8. 「デバイス」ページで「追加」を選択します。 「デバイスの追加」ダイアロ グ・ボックスが開きます。
- 9. 「デバイスの追加」ダイアログ・ボックスで、以下の手順を実行します。
 - a. 「**BladeCenter IP アドレス (BladeCenter IP address)**」フィールドに、 BladeCenter の IP アドレスを入力します。
 - b. アクセス・モードに SNMP を選択します。
 - c. 「SNMP V1 または V2 の実行アカウント (SNMP V1 or V2 Run as account)」の値を、既に作成したアカウントに変更します。
 - d. 「OK」をクリックして検出ウィザードに戻ります。

追加するデバイスが他にもある場合は、ステップ 8 を繰り返してください。 10. 「次へ」をクリックして検出ウィザードを完了します。



図 17. 検出警告の作成

注: アカウントを配布するかどうかを確認する「警告」ポップアップが表示された場合、「**はい**」を選択し、検出ウィザードを完了してください。

「完了」ページが開きます。



図18. 検出ウィザードの「完了」ページ

- 11. 「完了」ページで、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - 「ウィザード終了後にネットワーク検出ルールを実行する」を選択し、次に 「閉じる」をクリックします。検出ウィザードが閉じた後で、ネットワーク 検出規則の進行状況が開きます。
 - 「閉じる」をクリックして、「検出ルール」ページに移動し、実行する検出 規則を選択します。

「検出ルール」ページが開きます。

File Edit View Co Taolis Toolis Help Search + , 1, 1,		
Administration	Discovery Rules (1)	> Tasks
Voministration	Discovery Rules (1) Pred Nov Clear Name Trips Pred Nov Clear Name Trips Pred Nov Clear Network Discovery Rule Explicit winscom SCOMR2064.Net Set Trips Explot Trips Explot Network Discovery Rule Detaills: Satur Pending Lest Preding Lest Ruin Tree	Y Tasks Y Same Pending Actions Pending Non X Description X Description
 Administration My Workspace 	1	si

図 19. 「検出ルール」ページ

12. 「検出ルール」を選択し、「実行」をクリックします。

検出された BladeCenter シャーシの削除

このトピックでは、検出された BladeCenter シャーシを、検出されたシステムのグ ループから削除する方法について説明します。

始める前に

管理者として Microsoft System Center Operations Manager 操作コンソールにログインします。

手順

- 1. 「管理」 > 「デバイスの管理」 > 「ネットワーク デバイス」を選択します。 BladeCenter シャーシのリストが結果ペインに表示されます。
- 2. BladeCenter シャーシを右クリックし、「**削除**」を選択して削除タスクを開始します。

シャーシとその検出済みコンポーネントがグループから削除されると、削除された BladeCenter に関係する以下のコンポーネントは表示されなくなります。

- IBM BladeCenter $\mathcal{I} \mathcal{V} \mathcal{F}$
- IBM BladeCenter $\dot{>} \forall \neg -\dot{>}$
- IBM BladeCenter 冷却モジュール
- IBM BladeCenter 入出力モジュール
- IBM BladeCenter 管理モジュール

- IBM BladeCenter メディア・モジュール
- IBM BladeCenter 電源モジュール
- IBM BladeCenter ストレージ・モジュール

SNMP 用に有効化された IBM Flex System Chassisの検出

SNMP 用に正しく有効化された IBM Flex System Chassisは、Microsoft ネットワー ク・デバイス検出によって自動的に検出できます。 IBM Hardware Management Pack をインストールした後、Flex System シャーシが検出可能であるかどうかを検 査できます。

手順

 Microsoft System Center Operations Manager コンソールを使用して、「IBM ハ ードウェア」 > 「IBM Flex システムおよびモジュール (IBM Flex Systems and Modules)」 > 「IBM Flex システム・シャーシの管理用 Windows コンピ ューター (Windows Computers for managing IBM Flex Systems Chassis(s))」 を選択し、Flex System シャーシを検出します。 このビューを使用すると、IBM Hardware Management Pack がインストールされているコンピューターの正常性 を識別し、IBM Flex System Chassisおよびコンポーネントを検出して管理するこ ともできます。

注: アクティベーション・ライセンスがインストールされている管理サーバーでのみ、IBM Flex System Chassisおよびモジュールを管理できます。

- IBM Flex System Chassisおよびモジュールをモニターするには、「モニター (Monitoring)」>「IBM ハードウェア」>「IBM Flex System シャーシおよ びモジュール (IBM Flex System Chassis(s) and Modules)」を選択します。 シ ャーシ・ユニットが結果ペインに表示されます。ここには、管理モジュールによ るコンポーネントの提示と同じ方法で編成された、それらのコンポーネントのビ ューが含まれています。
 - IBM Flex System 計算ノード/ストレージ
 - IBM Flex System 冷却モジュール
 - IBM Flex System FanMux モジュール
 - IBM Flex System 入出力モジュール
 - IBM Flex System 管理モジュール
 - IBM Flex System 電源モジュール
 - IBM Flex System RearLED モジュール

モジュール・タイプにはそれぞれ、正常性状態と以下のプロパティーがあります。

- 製品名およびモジュールの論理名
- 物理位置情報

 IBM Flex System Chassis CMM Web コンソールにログインします。自動的に検 出されていない IBM Flex System Chassisに SNMP 通信ポートを設定するに は、「管理モジュール管理 (Mgt Module Management)」 > 「ネットワーク (Network)」 > 「シャーシ管理モジュール Web コンソールでのポート割り当て (Port Assignments on the Chassis management module web console)」を選択し ます。

Mgt Module Management 🕶	Search
User Accounts	Create and modify user accounts that will have access to this we
Firmware	View CMM firmware information and update firmware
Security	Configure security protocols such as SSL and SSH
Network	Network settings such as SNMP and LDAP used by the CMM

図 20. デフォルト SNMP ポート

SNMP ポート設定には矛盾がないことが重要です。そうでないと、Operations Manager は Flex シャーシを検出できません。以下のデフォルト SNMP ポート を使用してください。

- エージェントには 161 (照会/ポーリング)
- トラッピングには 162

Serial Port	SNMP Agent	161
Port Assignments	3	
Network Interfaces	SNMP Traps	162

図 21. デフォルト SNMP ポートの設定

- SNMP 設定を変更するには、「管理モジュール管理 (Mgt Module Management)」 > 「ネットワーク」 > 「SNMP」を選択します。 System Center Operations Manager (SCOM) で Flex シャーシを管理するために選択可能 な SNMP エージェントには 2 つのバージョンがあります。以下のいずれかの方 式を選択してください。
 - 方式 1: SNMPv1 エージェント用の有効化
 - 方式 2: SNMPv3 エージェント用の有効化

管理モジュールからイベントを受け取るには、管理モジュールと Microsoft System Center Operations Manager との間にネットワーク接続が必要です。また、イベントを送信するように管理モジュールを構成することも必要です。

5. 「SNMP over LAN」を使用し、「イベント」 > 「Event Recipients」を選択し ます。

Events 💌	Service and Support 🔻	Chassis Management 🔻	Mgt Module Management 🔻
Event Log	I I	Full log history of all events	
Event Rec	ipients /	Add and modify E-Mail, SNMP,	, and Syslog recipients

図 22. イベント受信側の選択

6. 「作成」 > 「SNMP 受信側の作成 (Create SNMP Recipient)」を選択します。

Event Recipients

Create 🔻	Delete	Global Settings	Syslog Settings	Generate Test Event	
Create E-mail		ification Method	Events to	Receive	Status
Recipient		nail over LAN	As defined	d in Global Settings	Disabled
Create SNM	P Recipient	MP over LAN	As defined	d in Global Settings	Enabled
9.125.90.84		SNMP over LAN	As defined	d in Global Settings	Enabled
9.115.252.9	1	SNMP over LAN	As defined	d in Global Settings	Enabled

図23. イベント受信側の作成

- 「SNMP 受信側の作成 (Create SNMP Recipient)」ダイアログ・ボックスで、以下の手順に従ってください。
 - 「記述名 (Descriptive name)」フィールドに名前を入力します。
 - 状況として「この受信側を有効にする (Enable this recipient)」を選択します。
 - 「受信するイベント (Events to Receive)」には、「グローバル設定の使用 (Use the global settings)」または「クリティカル・アラートのみ受信 (Only receive critical alerts)」を選択します。
 - 「OK」をクリックして、「イベント受信側 (Event Recipients page)」に戻ります。

Event Recipients

Create 🔻	Delete	Global Settings	Syslog Settings	Generate Test Event	
Create E-mail		ification Method	Events to	Receive	Status
Recipient		nail over LAN	As defined	d in Global Settings	Disabled
Create SNM	P Recipient	MP over LAN	As defined	d in Global Settings	Enabled
9.125.90.84		SNMP over LAN	As defined	d in Global Settings	Enabled
9.115.252.9	1	SNMP over LAN	As defined	d in Global Settings	Enabled

- 図 24. 「SNMP 受信側の作成 (Create SNMP Recipient)」ダイアログ・ボックス
- 8. 「**グローバル設定の使用 (Use the global settings)**」を選択すると、「イベント 受信側グローバル設定 (Event Recipient Global Settings)」ダイアログ・ボックス が表示されます。

Evenenceuplene olobar betangs			
These settings will apply to all eve	ent recipients.		
Retry limit:			
5			
Delay between attempts (minutes	s):		
30			
Send event log with e-mail no	tifications		
	Critical Events	Warning Events	Informational Events
Chassis/System Management	2		
Cooling Devices			
Power Modules	1561	IM1	(M)
Power Modules Compute Nodes			
Power Modules Compute Nodes I/O Modules			
Power Modules Compute Nodes /O Modules Event Log			
Power Modules Compute Nodes /O Modules Event Log Power On/Off			
Power Modules Compute Nodes I/O Modules Event Log Power On/Off Inventory change			
Power Modules Compute Nodes I/O Modules Event Log Power On/Off Inventory change Network change			

図 25. 「イベント受信側グローバル設定 (Event Recipient Global Settings)」ダイアログ・ボックス

9. 「OK」をクリックして、「イベント受信側 (Event Recipients page)」に戻りま す。

「SNMPv1 エージェント用の有効化 (Enabled for SNMPv1 Agent)」の選択

「SNMPv1 エージェント用の有効化 (Enabled for SNMPv1 Agent)」を選択するに は、以下の手順に従ってください。

手順

- 1. 「SNMPv1 エージェント用の有効化 (Enabled for SNMPv1 Agent)」を選択しま す。
- 「トラップ」タブをクリックし、「SNMP トラップを有効にする (Enable SNMP Traps)」を選択します。
- 3. 「コミュニティー (Communities)」タブをクリックします。
- 4. Flex System を管理する Microsoft System Center Operations Manager 管理サーバ ーごとに、以下の情報を入力します。
 - SNMP が通信に使用する Flex System に割り当てられたコミュニティー名。
 - ・ 完全修飾ホスト名または IP アドレス。
 - 管理タスクを有効にするために必要なアクセス・タイプ。このタイプのタスクを Operations Manager コンソールで使用可能にする予定がない場合は、アクセス・タイプをトラップに下げることができます。 Operations Manager サーバーで SNMP 照会を実行し、Flex System から SNMP トラップを受信できるように、「トラップ」アクセス・タイプが最低限必要です。

Simple Network Management Protocol (SNMP)

a,

Enable SNM Enable SNM	1Pv1 Agent 1Pv3 Agent			
Contact	Traps	Communities		
Select comm	unities to co	nfigure. At least o	ne community must be c	onfigured.
Community 1	j.		Enable Community	2
Community name:			Community name:	
public			test	
Access type: Set	*		Access type:	
Fully Qualifie	d Hostname	s or IP Addresses	Fully Qualified Hostnan	nes or IP A
0.0.0.0		-	0.0.0.0	
0:: <mark>0</mark>		*	9.115.253.41	
9.125.90.84		-	9.115.252.91	-

図 26. Simple Network Management Protocol (SNMP)

注: デフォルトでは、シャーシ・モジュール・セキュリティー・ポリシー・レベ ルは「セキュア (Secure)」です。このレベルでは、SNMP v1 は有効にできませ ん。SNMP v1 を使用するには、「管理モジュール管理 (Mgt Module Management)」 > 「セキュリティー (Security)」 > 「セキュリティー・ポリシ ー (Security Policies)」 > 「レガシー (Legacy)」を選択し、セキュリティー・レ ベルを「レガシー (Legacy)」に変更してください。

IBM Chassis	Management Modul	e				USERII
System St	atus Multi-Chassis Mo	nitor Events	 Service a 	nd Support 👻	Chassis Management 🕶	Mgt Module Management 🕶
Search						
Security						
Apply						
Security Policies	Certificate Authority	HTTPS Server	LDAP Client	SSH Server	P	
Use the vertical	sider control below to ad	just the securt	y policy level.			
- Secure	Policy Sett	ina: Leaa	cv			
	The Legacy leve platform securit below:	l of security po y, but this polic	licy provides th y is least secur	e user with the e overall. Som	e greatest level of flexibility e of the attributes of Legac	and responsibility for managing y security policy level are listed
Legacy						
Legacy	Weak pa	ssword policies	s are permitted	-		

図 27. セキュリティー・ポリシー設定

「SNMPv3 エージェント用の有効化 (Enabled for SNMPv3 Agent)」の選択

SNMPv3 エージェントを使用するには、「ユーザーの作成 (Create User)」オプショ ンで新規ユーザーを作成するか、またはデフォルト・ユーザーを使用する必要があ ります。

始める前に

SNMPv3 エージェントを使用して、Flex シャーシを System Center Operations Manager (SCOM) サーバーで管理するには、まず SNMPv3 ユーザー・アカウントを 作成する必要があります。

「管理モジュール管理 (Mgt Module Management)」 > 「ユーザー・アカウント (User Accounts)」を選択します。

このタスクについて

手順

- 1. 作成した新規ユーザーまたはデフォルト・ユーザーをリストから選択し、「ユー ザー・プロパティー (User Properties)」ページを開きます。
- 2. 「一般」タブをクリックし、ユーザー・パスワードを設定します。

3. 「SNMPv3」タブをクリックし、認証プロトコルを構成します。

	General Permission Group SNMPv3 SSH Client Public Key
	Context name:
	Authentication Protocol:
	Hash-based Message Authentication Code (HMAC) - Secure Hash Algorithm (SH
	Use a privacy protocol
T	Advanced Encryption Standard (AES)
	Privacy password:
	Confirm privacy password:
	Access type:
	IP address or host name for traps: 9.125.90.102

図 28. SNMPv3 デバイス用の新規ユーザーを作成するためのアカウント資格情報

- a. 認証プロトコルのリストから「SHA」または「MD5」を選択します。
- b. 「認証鍵 (Authentication key)」フィールドに認証鍵を入力し、「認証鍵の確認 (Confirm the authentication key)」フィールドに認証鍵を再入力します。
- c. プライバシー・プロトコルのリストから「プライバシー・プロトコルの使用 (Use a privacy protocol)」を選択します。
- d. **プライバシー鍵** (Privacy key)」フィールドにプライバシー鍵を入力し、「プ **ライバシー鍵の確認** (Confirm privacy key)」フィールドにプライバシー鍵を 再入力します。
- e. 「アクセス・タイプ (Access type)」を「設定 (Set)」に変更します。
- f. 「トラップの IP アドレスまたはホスト名 (IP address or host name for traps)」フィールドに、SCOM サーバー IP アドレスを入力します。
- 4. **「OK」**をクリックします。

Operations Manager 2007 での IBM Flex System の検出

Microsoft System Center Operations Manager 2007 では、IBM Flex System Chassisの 管理を目的に、SNMPv1 のみサポートされています。

このタスクについて

シャーシとそのコンポーネントを Microsoft System Center Operations Manager 2007 で検出する方法については、40ページの『Operations Manager 2007 での BladeCenter の検出』を参照してください。

Operations Manager 2012 での IBM Flex System の検出

Microsoft System Center Operations Manager 2012 で IBM Flex System を検出する には、以下の手順に従ってください。

始める前に

管理サーバーで、管理者として Microsoft System Center Operations Manager 操作コ ンソールにログインします。

注: このフィーチャーは、CMM IP アドレスのみサポートします。 IMM IP アドレ スを使用しないでください。

このタスクについて

SNMPv1 を使用してシャーシとそのコンポーネントを Operations Manager 2012 で 検出するには、40ページの『Operations Manager 2007 での BladeCenter の検出』 を参照してください。

SNMPv3 を使用してシャーシとそのコンポーネントを Operations Manager 2012 で 検出するには、管理サーバーで以下の手順に従ってください。

手順

- 「管理」 > 「デバイスの管理」 > 「エージェント管理 (Agent Management)」 > 「検出ウィザード」を選択し、「コンピューターおよびデバ イスの管理 (Computers and Device Management)」ウィザードを起動します。
- 2. ナビゲーション・ペインで「ディスカバリー・タイプ (Discovery Types)」を選 択します。
- 3. 「管理する対象 (What would you like to manage)」ページで「ネットワーク・ デバイス (Network devices)」を選択し、「次へ」をクリックします。
- イー般プロパティー (General Properties)」ページで、ディスカバリー・ルール 「名前」を入力し、「使用可能な管理サーバーおよびリソース・プール (Available management server and a resource pool)」を選択し、「次へ」をク リックします。
- 5. 「検出方法」ページで、「明示的検出」を選択し、「次へ」をクリックしま す。
- 6. 「既定のアカウント」ページで、「次へ」を選択します。 「デバイス」ページ が表示されます。
- 7. 「デバイス」ページで「**追加**」を選択します。 「デバイスの追加」ダイアロ グ・ボックスが開きます。
- 8. 「デバイスの追加」ダイアログ・ボックスで、以下の手順を実行します。
 - a. Flex System IP アドレスを入力します。
 - b. アクセス・モードに SNMP を選択します。
 - c. SNMP バージョンとして「v3」を選択します。
 - d. 「SNMP V3 の実行アカウントの追加」を選択します。
 - e. 「実行アカウントの作成」ウィザードのステップを実行して、Flex Management Web コンソールで作成した SNMP V3 アカウントにデータを 入力します。
 - f. 「OK」をクリックして検出ウィザードに戻ります。

追加するデバイスが他にもある場合は、ステップ 7 および 8 を繰り返してく ださい。

- 9. 「次へ」をクリックして検出ウィザードを完了します。 「完了」ページが表示 されます。
- 10. 「完了」ページで、以下のいずれかのオプションを選択します。
 - 「ウィザードの終了後にネットワーク・ディスカバリー・ルールを実行 (Run the network discovery rule after the wizard is closed)」を選択し、「閉じ る」をクリックします。検出ウィザードが閉じた後で、ネットワーク検出規 則の進行状況が表示されます。
 - 「閉じる」をクリックします。「検出ルール」ページが表示されます。
- 11. 「検出ルール」を選択し、「実行」をクリックします。

注:規則のプロパティーを選択して検出規則を変更することもできます。

検出された IBM Flex System シャーシの削除

このトピックでは、検出された IBM Flex System シャーシを、検出されたシステム のグループから削除する方法について説明します。

手順

- 1. Microsoft System Center Operations Manager 操作コンソールにログインします。
- 2. 「管理」 > 「ネットワーク・デバイス」を選択します。

- 3. 結果ペインで、削除したい IBM Flex System または BladeCenter シャーシを選 択します。
- 4. 右クリックし、「削除」を選択して削除タスクを開始します。

シャーシとその検出されたコンポーネントがグループから削除されると、IBM Flex System シャーシの以下のコンポーネントが表示されなくなります。

- IBM Flex System シャーシの計算ノード/ストレージ
- IBM Flex System シャーシ冷却モジュール
- IBM Flex System シャーシ FanMux モジュール
- IBM Flex System シャーシ入出力モジュール
- IBM Flex System シャーシ管理モジュール
- IBM Flex System シャーシ電源モジュール
- IBM Flex System シャーシ RearLED モジュール

第5章 IBM Hardware Management Pack での作業

このセクションのトピックでは、IBM Hardware Management Pack が、管理対象 IBM システムに関してさらに詳しい情報を提供することにより、Operations Manager の機能をどのように拡張するのかについて説明します。

IBM Hardware Management Pack がインストールされている場合の Operations Manager の使用について詳しく知るには、『Operations Manager コンソールによる モニター』セクションにあるタスクを実行してください。

IBM Hardware Management Pack には以下の機能が備わっています。

- Operations Manager コンソールの「監視」ペインを使用してシステムをモニター します(『Operations Manager コンソールによるモニター』を参照)。
- IBM システムを管理対象システムに追加します (71ページの『Operations Manager によって管理される IBM システムの追加』を参照)。
- システム、コンポーネント、およびシステム管理ソフトウェアの正常性をモニターします(83ページの『システム、ハードウェア・コンポーネント、および他のターゲットの正常性をモニター』を参照)。
- エラーを特定して解決します。(87ページの『「ヘルス エクスプローラー」を使用した問題の識別および解決』を参照)
- IBM のナレッジ・ページにアクセスします (90 ページの『ナレッジ・ページを 使用して問題を解決』を参照)。

Operations Manager コンソールによるモニター

このトピックでは、IBM Hardware Management Pack がインストールされた状態で Operations Manager コンソールを使用する方法について説明します。 IBM Hardware Management Pack をインストールした後、 Operations Manager コンソールの「モニ ター (Monitoring)」ペインを使用して、ご使用の IBM BladeCenter シャーシ、Flex System シャーシおよびコンポーネント、ご使用の System x および x86/x64 ブレー ド・サーバーの完全なヘルス情報が表示される、フォルダーおよびビューを選択で きます。また、IMM を検出し、ハードウェア障害管理を完了することもできます。

このタスクについて

Operations Manager コンソールの「モニター (Monitoring)」ペインと、IBM Hardware Management Pack で追加されたフィーチャーについて詳しく理解するに は、以下の手順に従ってください。

手順

 Operations Manager コンソールのナビゲーション・ペインで「モニター (Monitoring)」タブをクリックします。「監視」ペインに、IBM Hardware Management Pack でモニターできるシステムおよびハードウェア・コンポーネン トが表示されます。次の図は、IBM Hardware Management Pack をインストール した後の Operations Manager コンソールの「監視」ペインの一部を示したもの です。



図 29. 「監視」ペイン

「IBM ハードウェア」フォルダーは、IBM システムで収集されたデータをモニ ターする、さまざまなビューおよびフォルダーから構成されています。「IBM System x または x86/x64 Blade サーバー上の Windows コンピューター (Windows Computers on IBM System x or x86/x64 Blade Servers)」にはグローバ ル・ビューが含まれています。それ以外のフォルダーには、IBM システムから 収集されたさまざまなタイプのモニター・データの追加ビューが含まれていま す。

IBM ハードウェア:

このフォルダーには、検出されたすべての IBM システムおよびハード ウェア・コンポーネントに関するアクティブ・アラート、タスク状況、 および集合ターゲットが含まれています。

IBM ライセンス交付を受けたシステム・グループ (IBM Licensed System Group):

このビューには、プレミアム・フィーチャーが有効になっている、IBM サーバー上の Windows コンピューターの状況が表示されます。

IBM ライセンス交付を受けていないシステム・グループ (IBM Unlicensed System Group):

このビューには、プレミアム・フィーチャーが有効になっていない、 IBM サーバー上の Windows コンピューターの状況が表示されます。

IBM ライセンス管理用の Windows コンピューター (Windows Computers for Managing IBM License):

このビューには、プレミアム・フィーチャーを管理できる Operations Manager 管理サーバーの状況が表示されます。

- IBM System x または x86/x64 ブレード・サーバー上の Windows コンピュー
- ター (Windows Computers on IBM System x or x86/x64 Blade Servers):
 このビューには、IBM System x または x86/x64 Blade サーバーの状況 が表示されます。このビューは、「監視」 > 「コンピューター」ビュー と同様に使用します。違いは、このビューには IBM System x または IBM BladeCenter x86/x64 ブレード・サーバーのみが含まれているという ことです。
- IBM BladeCenter およびモジュール (IBM BladeCenter(s) and Modules): このフォルダーには、すべての IBM BladeCenter およびモジュールに関 する要約ビューが含まれているほか、特定のアラート、タスク状況、お よび IBM BladeCenter に関する個人用要約ビューや、IBM BladeCenter を管理するための Windows コンピューターに関する個人用要約ビュー も含まれています。
- IBM Flex System シャーシおよびモジュール (IBM Flex System Chassis and Modules):

このフォルダーには、すべての IBM Flex System シャーシおよびモジュ ールに関する要約ビューが含まれているほか、特定のアラート、タスク 状況、および IBM Flex System シャーシに関する個人用要約ビューや、 IBM Flex System シャーシを管理するための Windows コンピューター に関する個人用要約ビューも含まれています。

IBM System x および x/86/x64 ブレード・サーバー:

このフォルダーには、すべての IBM システム (IBM System x および BladeCenter x86/x64 Blade システムなど) の要約ビューのほか、特定の タイプの IBMSystem x および BladeCenter x86/x64 Blade サーバーの個 人用要約ビューがあります。これらのシステムはプラットフォーム・タ イプごとにグループ化され、タワー、ラック、ブレード、エンタープラ イズ・サーバー、未分類のものなどがあります。

 IBM System X または x/86/x64 ブレード・サーバー上の Windows システム (Windows Computer on IBM System X or x86/x64 Blade Servers)」を選択し て、IBM System x または x86/x64 Blade サーバー上の Windows コンピュータ ーからの詳細情報を表示します。

管理可能なハードウェア・コンポーネントのみ検出されてモニターされるため、 すべてのコンポーネントが含まれているわけではありません。例えば、管理でき ないファンが 1 つ以上あるシステムでは、すべてのファンが検出されたりモニ ターされたりするわけではありません。次の図では、「System x または x86/x64 ブレード・サーバーの IBM ハードウェア・コンポーネント (IBM Hardware Components of System x or x86/x64 Blade Servers)」というラベルのペインにさ まざまなコンポーネントが示されています。



図 30. 「IBM System x または x86/x64 ブレード・サーバー上の Windows コンピューター (Windows Computers on IBM System x or x86/x64 Blade Server)」 ビュー

3. **IBM BladeCenter およびモジュール (IBM BladeCenter(s) and Modules)**」フォ ルダーを選択して、IBM BladeCenter およびモジュールに関する詳細情報を表示 します。



図 31. IBM BladeCenter およびモジュールのフォルダー・ビュー

「**IBM BladeCenter モジュール**」フォルダーには、5 つのビューと 1 つのフォ ルダーがあります。

アクティブ・アラート (Active Alerts):

このビューには、IBM BladeCenter アラートの状況が表示されます。

IBM BladeCenter:

このビューには、すべての IBM BladeCenter シャーシおよびシャーシ・ コンポーネント (ブレード、冷却装置、入出力、ストレージ、電源、管 理モジュール、および他のコンポーネント)の要約リストが表示されま す。

タスク状況 (Task Status):

このビューには、IBM BladeCenters モジュールおよびシャーシの状況が 表示されます。

- **IBM BladeCenter のタスク状況 (Task Status for IBM BladeCenter(s)):** このビューには、IBM BladeCenter の状況が表示されます。
- IBM BladeCenter 管理用の Windows コンピューター (Computers for Managing IBM BladeCenter(s)):

このビューには、IBM BladeCenter シャーシと通信できる管理モジュー ルが表示されます。

IBM BladeCenter モジュール (IBM BladeCenter Modules):

このフォルダーには、BladeCenter シャーシ、シャーシ・コンポーネン ト、およびブレード・サーバーに関するコンポーネント情報および状況 情報がすべて含まれています。「ブレード (Blades)」、「シャーシ (Chassis)」、「冷却装置 (Cooling)」、「入出力 (I/O)」、「管理モジュー ル」、「メディア・モジュール (Media Modules)」、「電源」、「スト レージ (Storage)」などのカテゴリーがあります。

 「IBM Flex System シャーシおよびモジュール (IBM Flex System Chassis and Modules)」フォルダーを選択して、IBM Flex System シャーシおよびモジュール に関する詳細情報を表示します。

System Center Operations Manager 2007 R2 - scom07r2		
File Edit View Go Actions Tools Help		
Anaitorian	TBM Flay Sustan Charsis Manag	omont Mark Jac 12
normoring	IDMITIEX System chassis Manag	ement modules (a)
E Lig IBM Hardware	Look for:	Find Now Clear
IBM UnLicensed System Group	State V 🥑 Display Name 4 18M Fle	x Syste IM Flex Syste
Task Status	Healthy Management Mo Manage	ment Mo 9 125.90.44
Windows Computers for Managing IBM License Windows Computers on IBM Sustems or v85/v64 Blade	Healthy Management Mo Manage	ment Mo Nik Available
IBM BladeCenter(s) and Modules		
E G IBM Flex System Chassis(s) and Modules		
Active Alerts		
Tank Statur	Deter were	
💑 Task Status for IBM Flex System Chassis(s)	IBM Flex System Chassis Management N	todule properties of Management Module
Windows Computers for Managing IBM Flex System	Bay 1 - Y0348G176028	
El IBM Flex System Chassis Computer Nodes/Stor	Name	Management Module Bay 1 ~ Y034BG176028
🔢 IBM Flex System Chassis Cooling Modules	Path name	5N#Y0348G176028
IBM Flex System Chassis FanMux Modules		9.125.90.44 Management Module
EM Flex System Chassis Management Modules		Bay 1 - Y034BG176028
IBM Flex System Chassis Power Modules	18M Flex System Mgmt Module – External Network 1	P Address 9.125.90.44
IBM Flex System Chassis RealLED Modules	IBM Flex System Module Firmware	2PET13H, Rev: 13;
	15M Flex System Mgnt Module - External Network 1	P Configuration Method Not Available
how or Hide Views	(IBM Internal) IBM Flex System Mgnt Module Event	ID for Module Insertion 2629633
lénov Vizyov 🔹	(IBM Internal) IBM Flex System Mgnt Module Event 2014 Elev Sustem Mindule Description	ID for Module Removal 2637825
	service system house description	Haragement, Produle
Monitoring	SIM Flex system Module PartNumber	6877029
Authoring	IBM Flex System Module FRU S/N	Y0348G176028
	3BM Flex System Module Bay(s)	Management Module Bay
Administration	IBM Flex System Chassis UUID	0B3A BEC1 37A5 4FA0
My Weekspare	SM Flav System Module (100)	9250 1305 461A 1426 8462 55AA AREE 1150
	10-1-10-279/00 199/00 9/00/	92D1 8868 5E95 AA08
	(IBM Internal) IBM Flex System Module Bay Name	MM_01

図 32. 「IBM Flex System シャーシおよびモジュール (IBM Flex System Chassis(s) and Modules)」 ビュー

「IBM Flex System シャーシおよびモジュール (IBM Flex System Chassis and Modules)」フォルダーには、5 つのビューと 1 つのフォルダーがあります。

アクティブ・アラート (Active Alerts):

このビューには、IBM Flex System シャーシ・アラートの状況が表示されます。

IBM Flex System シャーシ (IBM Flex System Chassis):

このビューには、すべての IBM Flex System シャーシおよびシャーシ・ コンポーネント (計算ノード、冷却装置、入出力、ストレージ、電源、 管理モジュール、および他のコンポーネント) の要約リストが表示され ます。

タスク状況 (Task Status):

このビューには、IBM Flex System モジュールおよびシャーシの状況が 表示されます。

IBM Flex System シャーシのタスク状況 (Task Status for IBM Flex System Chassis):

このビューには、IBM Flex System シャーシの状況が表示されます。

IBM Flex System シャーシ管理用の Windows コンピューター (Windows Computers for Managing IBM Flex System Chassis):

このビューには、IBM Flex System シャーシと通信できる管理モジュー ルが表示されます。

- IBM Flex System シャーシ・モジュール (IBM Flex System Chassis Modules): このフォルダーには、Flex System シャーシ、シャーシ・コンポーネン ト、および計算ノードに関するコンポーネント情報および状況情報がす べて含まれています。カテゴリーには、計算ノード、冷却モジュール、 FanMux モジュール、FSM、入出カモジュール、管理モジュール、電源 モジュール、Rear LED モジュール、およびストレージが含まれていま す。
- 「IBM Flex System シャーシ・モジュール (IBM Flex System Chassis Modules)」フォルダーを選択して、このフォルダーにあるビューを表示します。 IBM Flex System シャーシとシャーシ・モジュールを検出後、IBM Hardware Management Pack はモジュール・タイプに従ってシャーシ・モジュールを分類 し、各モジュールを該当するモジュール・ビューに追加します。
 - IBM Flex System Chassis 計算ノード
 - IBM Flex System Chassis 冷却装置モジュール (IBM Flex System Chassis Cooling Modules)
 - IBM Flex System Chassis FanMux モジュール (IBM Flex System Chassis FanMux Modules)
 - IBM Flex System Chassis FSM
 - IBM Flex System Chassis 入出力モジュール (IBM Flex System Chassis I/O Modules)
 - IBM Flex System Chassis 管理モジュール (IBM Flex System Chassis Management Modules)
 - IBM Flex System Chassis 電源モジュール (IBM Flex System Chassis Power Modules)
 - IBM Flex System Chassis RearLED モジュール
 - IBM Flex System Chassis ストレージ

System Center Operations Manager 2007 R2 - scom07r2				- 0
File Edit View Go Actions Tools Help				
Search • Scope Scope Strait 🗑 Action				
Monitoring	IBM Flex S	System Chassis(s) (0)	_	
E IBM Hardware	· Jook for:		Find Now City	v
18M Licensed System Group				
IBM UnLicensed System Group	State	1 E Display Name	 IBM Flex Sys 	te IBM Flex System Ch
Tack Status Windows Computers for Manazing IBM Linease	1 Warning	5N#Y0348G1760289.125.90.44	8721HC1	BladeCenter-X
Windows Computers on IBM System x or x86/x64 Blade Sx				
🛞 🤯 IBM BladeCenter(s) and Modules				
IBM Flex System Chassis(s) and Modules	1			
IBM Flex Sustem Channel (1)	Derral Verse			
Task Status	and the second s			
Task Status for IBM Flex System Chassis(s)	IBM Flex	System Chassis properties of SN#YO	0348G1760289.	125.90.44
Windows Computers for Managing IBM Flex System Ch	Name		SN#10348G1760	289.125.90.44
IBM Flex System Chassis Modules	Path name		SN#Y0348G170	50289.125.90.44
18M Plex System Charait Conguter Hodely Storage	18M Flex Syste	m Chassis Description	BladeCenter-X	
18M Flex System Chassis FanMux Modules	IBM Flex Syste	m Chassis Machine Type and Model Numbe	# 8721HC1	
IBM Flex System Chassis I/B Modules	IBM Flex Syste	ets Chassis Serial Number	23EVN19	
IBM Flex System Chassis Management Modules	18M Flex Syste	m Chassis PartNumber	68Y6660	
IBM Flex System Chassis Power Modules	IBM Flex Syste	m Chassis FRU Number	81Y2893	
IBM Flex System Chassis Rea/LED Modules	18M Flex Syste	m Chassis FRU Serial Number	Y1308G16D02W	
(- 0	ISM Flex Syste	en Chassis Manufacturing ID	IBM	
	18M Fiex Syste	ns Chassis Hardware Revision	52.48	
Show or Hide Views New View >	35M Flex Syste	m Chassis UUID	083A 8EC1 37A5 1426	4FA0 9260 1305 4E1A
	IBM Flex Syste	wi Chassis Product ID	336	
Di Monitorion	IBM Flex Syste	m Chassis Primary MM IP Address	9.125.90.44	
	IBM Flex Syste	m Chassis Product Name	IBM Chassis Midp	lane
Authoring	IP Address		9.125.90.44	
	Device Name		5N#10348G1760	289.125.90.44
Administration	Device Descrip	bon	IBM Flex Chassis	Management Module
	Device Contac	t	Ling Mo	
Ny Workspace	Device Locatio	ñ	3R25	
	Device OID		1.3.6.1.4.1.2.3.5	51.2
	Community Str	ing	cAB1AGIAbA8pA	SMA

図 33. IBM Flex System シャーシ・モジュール

6. 「**IBM BladeCenter モジュール (IBM BladeCenter Modules)**」フォルダーを選 択して、このフォルダーにあるビューを表示します。

IBM BladeCenter シャーシとそのシャーシ・モジュールを検出後、IBM Hardware Management Pack はモジュール・タイプに従ってモジュールを分類し、各モジュールを以下の該当するモジュール・ビューに追加します。

- IBM BladeCenter ブレード
- IBM BladeCenter $\dot{>} \gamma \dot{>}$
- IBM BladeCenter 冷却モジュール
- IBM BladeCenter 入出力モジュール
- IBM BladeCenter 管理モジュール
- IBM BladeCenter メディア・モジュール
- IBM BladeCenter 電源モジュール
- IBM BladeCenter ストレージ・モジュール

Ionitoring	IBM Blade	Center Blades IV		_			
Wedness Computers	La Los No.		Test	No.	-		
Agentieus Exception Monitoring	State	Contine Name	2010	C Hould	104 B.C. Made	10HD C. Hale	_
10 IIM Rade III COB Refector Group	Cleastry	Bade Bay 5 - BIDS 1	San VM Tune 7	902	7902-9942099	00	
BM Licenced System Group	(a crud	Balt Bay 12 - Toff	1000 Tube 7	112	7672-9940251	Off	
EM UnLicensed System Group	C) Peality	Blade day 5 - Starvol	OBGE Pape 2	972	7872-06CN713	06	
Windows Camputers on BM System + c	Ginedity	Biade Bay 7.8 - H05	TCDE Type 7	972	7872-239/7360	01	
3 IBM BladeCenter(c) and Hodules	Ch Cottad	Binds Bay 12 - Starts	10CE. Tope 7	972	7672-2388217	00	
Active Alerts A Active Alerts ha Wel Riske anterfal	(C) multiv	Binds Say 5 - Sharvon	INFO. Tope 7	1071	7671-9942207	OP.	
EM BladeCorrected	C) mathy	Eads Bay 6 - 162215	I IC. Ince 2	10.10	2020-2312941	08	
2. Task Status	CR Healthy	Bade Ray 1, 8000 M	(22 June 2	10.75	7070-0975477	Ón.	
2. Fact Status for ISM BladeCenter(s)	A Wartest	Binds Bay 14 - 0521	NTR. 0021/	Tupe (1797)	0792-9540931	04	
III 3 BM BladeCenter Modules	Comultor	Bala Bard - Mr 15a	0 KK 1541/5	Tung Philips	7972-99829949	(m)	
10M BladeCentre Binder	Citienthy	Bade Say 10 - 1571	3076 15210	future 29221	7571-9980074	0	
- 1 BM StadeCenter Coders Modu	amo	Bate Bar 8 - 1521 c	90005 1521/	From Phillip	79271-00863192	00	
40H BladeCenter I/O Modules	Contractory of the second	President and a second	COULD FOR TO	and the second			
Bill Roboticeres Medak Wedak Bill Roboticeres Proves Medak Bill Roboticeres Proves Medak Bill Roboticeres Proves Medak Bill Roboticeres Proves Bill Roboticeres Proves Bill Roboticeres Proves Bill Roboticeres Bill Roboticeres	Birth Hade Turne Fith come Fith come	eCenter Blade Module pro 197 and 5/N 27 Node faintee 2 Forman Card(s) Prome On 2016 0 In Rev(s) 80 In Rev(s) 80 In Rev(s) 90 In Rev(s)	perties of Biad arb Sey 5 - 8009, wr/s148071,105 MD-9842899 AB, UBT206; 0 add Say 5 609 5074 De4A 4 0AC AC04 5194, D 405, 05 125 90,214 MDALAA882A9 pp 7902 pp 7902	le Bay 3 - 10 , 1542 (M H-4, 125 162 HE15144(5), D HE15144(5), D HE15144(5), D HE15144(5), D	009_1542_194 [14Block:Bay 5	80099_LS42_J944	rt poc Ben.

図 34. IBM BladeCenter モジュール

7. 「IBM System x および x86/x64 ブレード・サーバー (IBM System x and x86/x64 Blade Servers)」ビューを選択して、フォルダー内のビューを表示します。

Windows がインストールされた IBM システムを検出した後、IBM Hardware Management Pack はシステム・タイプに従ってシステムを分類し、システム・プ ラットフォーム・タイプに従ってシステムを「すべての IBM System x および x86/x64 ブレード・サーバー (All IBM System x and x86/x64 Blade Servers)」 のビューと以下のシステム・グループ・ビューの 1 つに追加します。

- ハードウェア管理用 IBM ソフトウェアのアクティブ・アラート (Active Alerts for IBM Software for HW Mgmt)
- すべての IBM System x[®] および x86/x64 ブレード・サーバー (All IBM System x and x86/x64 Blade Servers)
- IBM Flex System x86/x64 計算ノード (IBM Flex System x86/x64 Compute Nodes)
- IBM System x エンタープライズ/スケーラブル・システム (IBM System x Enterprise/Scalable Systems)
- IBM System x iDataPlex システム (IBM System x iDataPlex Systems)
- IBM System x ラック・マウント・システム (IBM System x Rack-mount Systems)
- IBM System x タワー・システム (IBM System x Tower Systems)
- IBM x86/x64 Blade システム (IBM x86/x64 Blade Systems)

IBM ブレード OOB-IB リフレクション・グループ (IBM Blade OOB-IB Reflection Group) (ビュー): このビューには、IBM x86/x64 ブレード・サーバ ー上の Windows コンピューターの状況、および「IBM System x および BladeCenter x86/x64 ブレード・サーバー (IBM System x and BladeCenter x86/x64 Blade Servers)」フォルダー内の IBM BladeCenter x86/x64 ブレー ド・サーバー (インバンドによりモニターされる) と「BladeCenter およびモ ジュール (BladeCenter(s) and Modules)」フォルダー内の IBM BladeCenter x86/x64 ブレード・サーバー (アウト・オブ・バンドによりモニターされる) との関係が表示されます。

注: このビューは、プレミアム・フィーチャーが使用可能になっている場合に のみ使用できます。

- タスクの状態
- 「未分類の IBM System x および BladeCenter x86/x64 Blade システム (Unclassified IBM System x and BladeCenter x86/x64 Blade Systems)」(古すぎ るか新しすぎて正しく分類できないシステム)
- 「IBM System x または x86/x64 Blade サーバーのハードウェア・コンポーネント (Hardware Components of IBM System x or x86/x64 Blade Servers)」(フォルダー)
- 8. 「すべての IBM System x および x86/x64 ブレード・サーバー (All IBM System x and x86/x64 Blade Servers)」ビューを選択して、システムおよびハー ドウェア・コンポーネントのダッシュボード・ビューを表示します。

「すべての IBM System x および x86/x64 ブレード・サーバー (All IBM System x and x86/x64 Blade Servers)」ビュー内の各ビューには、次の図に示す ように、各システムの正常性状態および管理可能ハードウェア・コンポーネント のダッシュボードが表示されます。



図 35. ダッシュボード・ビュー

Operations Manager によって管理される IBM システムの追加

Microsoft Operations Manager 2007 検出ウィザードを使用すれば、Operations Manager によって管理される IBM システムを検出して追加できます。検出ウィザ ードでは、検出されたシステムに IBM Hardware Management Pack がデプロイされ ます。既にモニターされているシステムは検出ウィザードに表示されません。

このタスクを開始する前のオプション・ステップ

IBM License Entitlement Pack がインストールされていて Microsoft System Center Operations Manager の Root Management Server が IBM License Entitlement Pack に登録されている場合、Hardware Management Software Configuration Advisor for IBM Systems (SW Configuration Advisor) プログラムは、Microsoft System Center Operations Manager によって管理される IBM Hardware Management Pack for Windows コンピューターのソフトウェア依存関係を分析します。

IBM License Entitlement Pack について詳しくは、IBM 営業担当員にお問い合わせ ください。

リモート・コンピューター上のソフトウェア依存関係を確認する方法

以下の手順で、Software Configuration Advisor プログラムを使用してソフトウェア 依存関係を確認する方法について説明します。

手順

- Operations Manager サーバーにログインして、コマンド・シェル・ウィンドウ、 DOS コマンド・ウィンドウ、または PowerShell コマンド・ウィンドウを開きま す。
- toolbox ディレクトリーに移動します。 デフォルトの toolbox ディレクトリー・ パスは %ProgramFiles%¥IBM¥IBM Hardware Management Pack¥toolbox です。 (このディレクトリーは、IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager のインストール・ディレクトリーの下にあります。)
- Hardware Management Software Configuration Advisor for IBM Systems プログラ ムを開始します。 Hardware Management Software Configuration Advisor for IBM Systems のプログラム名は ibmSwConfigurationAdvisor.vbs です。このプログ ラムを実行するときは、以下のオプションを使用できます。

/help:

ibmSwConfigurationAdvisor.vbs プログラムの構文を表示します。

/opt detail:

ターゲット・コンピューターに関する詳細を表示します。

4. Windows コンピューターの管理者役割に属するアカウントに関する、以下の必 須アカウント情報を入力します。

このプログラムは、Microsoft Visual Basic スクリプトのフォーマットになっています。

- コンピューター名: IBMUIM004
- ドメイン・ネーム: d205
- ユーザー名: admind205
- パスワード: aWd25\$tg

ターゲット・コンピューター情報は、プログラムの分析要約にリストされます。

```
> cscript //nologo cscript //nologo ibmSwConfigurationAdvisor.vbs
/remote IBMUIM004 d205 admind205 aWd25$tg
=======>>>> Computer: IBMUIM004 <<<==========
----- Analysis Summary ------
                       : IBMUIM004
Computer Name
                                               MT-Model-S/N: 7870-AC1-
Manufacturer
                        : IBM
0XXX493
Machine Summary
                       : BladeCenter HS22 -[7870AC1]-
-- Operating System --
Detected : Microsoft Windows Server 2008 R2 Enterprise (64-bit) - No
Service Pack Information
-- SMBIOS IPMI Support --
Detected : Default System BIOS
       SMBIOS IPMI Support is installed
-- MS IPMI --
Detected : Microsoft Generic IPMI Compliant Device
      Microsoft IPMI Driver is running
-- Systems Director --
Detected : 6.2.1 (Director Platform Agent)
       Systems Director is running
-- ServeRAID-MR, MegaRAID, ServeRAID-BR/IR, Integrated RAID --
Detected : ServeRAID-BR10i1
```

図 36. Hardware Management Software Configuration Advisor for IBM Systems プログラム

5. Hardware Management Software Configuration Advisor for IBM Systems レポート を確認します。このレポートには、分析結果の要約が示されます。何らかのソフ トウェア依存関係問題が報告された場合は、レポート本文を調べて、ソフトウェ ア依存関係について考えられる解決策を見つけてください。

例

多くの場合、複数のコンピューターがソフトウェア依存関係分析のターゲットにな ります。コマンド・シェル・パイプラインを使用すると、この分析の生産性が向上 します。

次の例では、PowerShell を使用して net view コンピューター名リストを ibmSwConfigurationAdvisor.vbs にパイプ接続し、プログラム出力を OneShotServey4IbmHwMp.txt という名前のファイルに保存します。

```
PS C:\Program Files\IBM\IBM Hardware Management Pack\toolbox>
net view | where ($__-match "\\\") | % ( $_.substring(2,21) } | %(
$_.trim(1," ")) | % { cscript //nologo ibmSwConfigurationAdvisor.vbs
/remote $__d205 admind205 aWd25$tg >> OneShotServey4IbmHwMp.txt }
```

図 37. PowerShell での net view の例

上記の図に示されているサンプルは、Windows ネットワークのセットアップと PowerShell 環境によって異なります。ネットワーク構成と PowerShell インストール 済み環境を調整しなければならない場合があります。

IBM システムを追加する手順

このトピックでは、Operations Manager で管理される IBM システムを追加する手順について説明します。

始める前に

この作業を完了するには、管理者として Operations Manager サーバーにログインしてください。

手順

 「管理」 > 「デバイスの管理」 > 「エージェントで管理」 > 「検出ウィザー ド」を選択し、「コンピューターおよびデバイスの管理 (Computers and Device Management)」ウィザードを起動します。



図38. コンテキスト・メニューを使用して「検出ウィザード」を選択

次の図に示されているように、「**アクション**」メニューから「**管理するコンピ ューターまたはデバイスの選択 (Configure computers and devices to manage)**」を選択することもできます。 注: Microsoft System Center Operations Manager 2007 SP1 の場合は、インターフェースが次の図に表示されているインターフェースと若干異なります。

Administra	ition	Device Management	(5)	Actions ×
🖂 🧐 Administra	stion	Q Look for:	Eind Now X	Actions 🔺
	Discovery	Wizard	/ Number of Items	🖉 Open
A Monitorin Monitorin	Discovery Create M Import M New User Greate Ru New Notif Add Mana Personglo Befresh	Witzerd witzerd anagement, Pack anagement, Pack an As Account an As Brofile ixation Recipient ixation Subscription agement Group te view F5	Number of Items Number of Items	Resources Image: Plan System Center Operations Manager Plan System Center Operations Manager Online Help Image: About Configuring Computers and Devices Image: Plan Devices
Authoring	ablas			
My Works	pace	Details:	Desc	

図 39. コンテキスト・メニューを使用して「検出ウィザード」を選択 (SP1)

2. 「はじめに」ページが表示されたら「次へ」をクリックします。

注:以前に「コンピューターとデバイスの管理ウィザード」を実行したことが あり、そのときに「今後、このページを表示しない」を選択した場合は、「は じめに」ページは表示されません。概要ページを再び表示したくない場合は、 「次へ」をクリックする前に、「今後、このページを表示しない」チェック・ ボックスを選択します。



図 40. コンピューター/デバイス・マネージャーの概要

3. 「自動/詳細」ページで「詳細な検出」を選択します。

ntroduction	@ Help
uto or Advanced?	Choose automatic or advanced discovery
scovery Method Iministrator Account elect Objects to Manage	C Automatic computer discovery Scans the " xLab " domain for all Windows-based computers,
ummary	Advanced discovery Allows you to specify advanced discovery options and settings. Computer & Device Types: Servers & Clients Note: You can configure how these objects will be discovered, on the next screen(s). Management Server SCOM-MP-SP1:xLab.local

図 41. 検出方式 (自動/詳細)の選択

- 4. 「コンピュータとデバイスの種類」リストで「**サーバーとクライアント**」を選 択します。
- 5. 管理サーバー・リストに含まれるコンピューターを検出するために使用される **管理サーバー**を選択します。
- 6. 「検出されたコンピューターが接続可能かどうかを確認する」チェック・ボッ クスを選択します。
- 7. 「次へ」をクリックして、「検出方法」ページを開きます。

Tomputer and Device Ma	anagement Wizard	×
Discovery M	1ethod	
Introduction Auto or Advanced?	How do you want to discover computers?	🕑 Help
Discovery Method Administrator Account Select Objects to Manage Summary	Scan Active Directory Select objects from Active Directory to scan, or create an advanced query. Configure Dgmain: XLAB XLAB Second Se	_
	Brow	/se
	I E.g. server1.contoso.com or server1	
	< <u>Previous</u> <u>Next ></u> Discover	Cancel

図 42. 検出方法

8. 「参照 (Browse for)」をクリックします。またはIBM システムのコンピュータ ー名を入力して「次へ」をクリックします。

Computer and Device M	anagement Wizard
Introduction Auto or Advanced? Discovery Method Administrator Account Select Objects to Manage Summary	
	Browse Active Directory or type computer names into the list below. Separate each computer name by a semi-colon, comma or a new line: SCOM-T100.xLab.local
	E.g. server1.contoso.com or server1 < Previous

図 43. 「検出方法」とサンプル情報

- 9. 「管理者アカウント」ページで以下のいずれかのオプションを選択します。
 - 「選択した管理サーバーのアクション アカウントを使用する」を選択してから「次へ」をクリックします。
 - 「他のユーザー・アカウント (Other user account)」を選択して、以下の情報を入力します。
 - ユーザー名
 - パスワード
 - 管理者役割に属するアカウントのドメイン・ネーム

Introduction	@ Help
uto or Advanced?	Administrator Account
scovery Method dministrator Account elect Objects to Manage ummary	Select a user account with Administrator rights on the computers you will scan. These credentials will also be used when installing the agents on managed computers.

図 44. 管理者アカウント

備考:

- このアカウントには、管理対象のターゲット・コンピューターに対する管理 特権が必要です。「これはローカル・コンピューター・アカウントで、ドメ イン・アカウントではない (This is a local computer account, not a domain account)」が選択された場合、検出の実行には管理サーバー・アクション・ア カウントが使用されます。
- 管理サーバーではないコンピューターで Operations Manager コンソールが稼 働している場合、「サーバーに接続 (Connect To Server)」ダイアログが表 示されます。接続先の管理サーバーを入力してください。

Microsoft System Center Operations Manager のアカウントについて詳しくは、 Technet: Security Considerations in Operations Manager 2007 を参照してください。

10. 「検出」をクリックして、「検出の進行状況」ページを開きます。

重要:進行時間は、ネットワーク内のコンピューター数や、他の要因によって 異なります。検出ウィザードでは、「検出されたコンピューターが接続可能か どうかを確認する」チェック・ボックスが選択された場合は最大 4,000 台のコ ンピューターが返され、このチェック・ボックスが選択されなかった場合は最 大 10,000 台のコンピューターが返される可能性があります。

検出が完了すると、次の図にあるように「検出結果」が表示されます。

		😡 Help
uto or Advanced?	Discovery Results	
iscovery Method	The discovery process found the following un-managed devices.	
dministrator Account	Select the devices you want to manage:	
slect Objects to Manage	SCOM-T100 x1 ab local	
mmary		
	Select All Dgselect All	
	Select All Deselect All	
	Select All Deselect All Deselect All SCOM-MP-SP1 3Lab local	
	Select All Deselect All Deselect All Management Server	

図 45. 管理対象オブジェクトの選択

11. 管理するデバイスを選択し、「**管理モード**」リストで「**エージェント**」クリッ クして、「**次へ**」をクリックします。

Introduction		
Auto or Advanced?	Summary	🕑 нер
Discovery Method Administrator Account	Agents to be installed: 1	
Select Objects to Manage		
Summary	Agent installation directory: %/ProgramElles%/\System Center Operations Manager 2007	
	Agent Action Account	
	Specify credentials for the agent to use when performing actions.	
	⊂ <u>O</u> ther	
	User name:	
	Password:	
	Domain: XLAB	

図 46. コンピューター/デバイス管理ウィザードの「概要」ページ

12. 「概要」ページで「**終了**」をクリックします。 「エージェントの管理タスクの 状態」ページが表示されます。



図 47. エージェントの管理タスクの状態

 「エージェント管理タスクの状況 (Agent Management Task Status)」ページで、 エージェント・インストール・タスクの状況を調べます。 必要に応じて、「モ ニター (Monitoring)」 > 「タスクの状況 (Task Status)」ビューを選択し、選 択したコンピューターの状況が「キューに入っている (Queued)」から「成功 (Success)」に変わっていることを「エージェント管理タスクの状況 (Agent Management Task Status)」で確認できます。

注: このタスクが実行されている間は、ページの右上にインディケーターが表示されます。エージェント管理タスクのダイアログ・ボックスはいつ閉じても構いません。これによってタスクが中断されることはありません。

14. 「エージェントの管理タスクの状態」ページで「閉じる」をクリックします。

次のタスク

検出ウィザードの使用について詳しくは、Technet: Systems Center Operations Manager を参照してください。

インベントリーの表示

Microsoft System Center Operations Manager を使用すれば、構成済み管理モジュー ルのインベントリーを表示できます。

このタスクについて

構成済み管理モジュールのインベントリーをすべて表示するには、以下の手順に従ってください。

手順

- IBM BladeCenter とそのモジュールを表示するには、Microsoft System Center Operations Manager コンソール・ウィンドウの「コンピューターおよびグループ (Computer and Groups)」ペインで「コンピューターとグループのビュー (Computers and Groups View)」>「IBM ハードウェア」>「IBM BladeCenter およびモジュール (IBM BladeCenters and Modules)」を選択しま す。
- 検出された IBM System x サーバー、BladeCenter ブレード・サーバー、および 他の個別のシステムを表示するには、「コンピューターおよびグループのビュー (Computers and Groups View)」 > 「IBM ハードウェア」 > 「IBM System x および x86/x64 ブレード・サーバー」を選択します。

システム、ハードウェア・コンポーネント、および他のターゲットの正常性 をモニター

IBM Hardware Management Pack は、ハードウェア・コンポーネント (ファン、メ モリー、管理コントローラー、ネットワーク・アダプター、電源機構、プロセッサ ー、ストレージ、温度センサー、および電圧センサー) の正常性を検出してモニタ ーします。また、IBM Hardware Management Pack は、システム管理ソフトウェア (IBM Systems Director エージェント、Intelligent Platform Management Interface (IPMI) ドライバー、IBM IPMI Mapping Layer、ServeRAID[™] マネージャー・レベル 1 エージェントなど) の正常性も検出したりモニターしたりすることもできます。

このタスクについて

コンポーネント検出および正常性モニターは、ファームウェア・サポート、ハード ウェア互換性、および管理ソフトウェア・サポートに依存しています。これらの要 因により、一部のコンポーネントは検出できません。コンポーネントが検出されな い場合、そのコンポーネントのモニターおよび管理はできません。

手順

- 1. ナビゲーション・ペインで「モニター (Monitoring)」を選択します。
- 「IBM ハードウェア」フォルダーを展開して、IBM Hardware Management Pack が Operations Manager コンソールに追加できるフォルダーおよびビューを表示 します。
- 3. 「IBM BladeCenter およびモジュール (IBM BladeCenter(s) and Modules)」ま たは「IBM System x および x86/x64 ブレード・サーバー」を選択します。
- 「アクティブなアラート」をクリックして、ご使用の IBM ハードウェアにクリ ティカル・アラートまたは警告アラートが関連付けられているかどうかを確認し ます。 次の図は、「アクティブなアラート」がどのように表示されるのかにつ いて例示したものです。

System Center Operations Manager 2007 R2 - 1	ValBladeOMS				
File Edit View Go Actions Tools Help					
Scope	nd 🛃 Actions	😢 🗄 🔛 Show at least 1 v	veek of data 🛛 👘 Overrides		
Monitoring	Active Ale	erts (14)			
🖂 🛃 Monitoring	Look for:		Find Now Clear		
Active Alerts	🔒 Path	Source	(Name	Resolution State	Created
Distributed Applications	Severity: (critical (9)			
Task Status	3 v-x64w2k	3r2h.L Adaptec, IncS	A hardware event related with IBM ServeRAID	. New	12/1/2010
Windows Computers	3 v-BCS-bla	de1.L IBM Director Pla	Management Software Missing	New	12/1/2010
Agentless Exception Monitoring	🔕 v-zeus.La	b54.lo Adaptec, IncS	A hardware event related with IBM ServeRAID	. New	12/1/2010
ASP.NET Application ASP.NET Web Service	🔕 v-BCS-bla	de1.L MSSQLSERVER	The SQL Server Service Broker or Database Mir.,	New	11/30/201
E 2 IBM Hardware	🐼 v-BCS-bla	de1.L IBM Director Pla	Management Software Failed	New	12/1/2010
Windows Computers on IBM System x or x8	🔮 v-x64w2k	3r2h.L MSSQLSERVER	An error occurred while the query log table was.	. New	12/1/2010
 BM bladeCenter(s) and modules BM System x and x86/x64 Blade Servers 	🍪 v-8CS-bla	de1.L MSSQLSERVER	The service cannot be started	New	11/30/201
Active Alerts	3 v-x64w2k	3r2h.L MSSQLSERVER	The service cannot be started	New	12/1/2010
Active Alerts for IBM Software for HW I	😵 v-BCS-bla	de1.L MSSQLSERVER	An error occurred while the query log table was	. New	11/30/201
IBM System x Enterprise/Scalable System	Severity: \	¥arning (5)			
IBM System x iDataPlex Systems	🔥 v-8CS-bla	de2.L v-BCS-blade2.L	Script or Executable Failed to run	New	11/22/201
IBM System x Hack-mount Systems IBM System x Tower Systems	🔥 v-8CS-bla	de2.L BMC or IMM	BIOS requires an update for management contr.	. New	12/1/2010
IBM x86/x64 Blade Servers	1 V-DX360M	3.Lab IBM.500605800	A hardware event related with IBM ServeRAID	. New	12/4/2010
Task Status	🔥 V-dataple	old.L BMC or IMM	BIOS requires an update for management contr.	. New	12/1/2010
Hardware Components of IBM System :	v-BCS-bla	de1.L v-BCS-blade1.L	Script or Executable Failed to run	New	11/30/201

図48. 「アクティブなアラート」の例

5. ご使用のシステムの正常性を確認する場合は、以下のオプションを 1 つ以上使 用できます。

IBM System x または x86/x64 ブレード・サーバー上の Windows コンピュー ター (Windows Computer on IBM System x or x86/x64 Blade Servers):

- 「IBM ハードウェア」フォルダーにある各システム上の Windows プラ ットフォームの状況を確認します。
- IBM BladeCenter およびモジュール (IBM BladeCenter(s) and Modules): すべてのモジュールの正常性情報を表示し、すべての IBM BladeCenter シャーシの状況を確認します。その後で、「IBM BladeCenter モジュー ル (IBM BladeCenter Modules)」ビューを選択します。
- IBM System x および x/86/x64 ブレード・サーバー:

すべての IBM システムのハードウェア状況を確認します。

すべての IBM System x および x86/x64 ブレード・サーバー (All IBM System x and x86/x64 Blade Servers):

システム・ダッシュボードの最初の列、およびハードウェア・コンポー ネント・ダッシュボードの最初の列に正常性インディケーターを表示し ます。

このビューにあるシステムの状況を確認するには、いずれかのグルー プ・ビューを選択します。

次のタスク

クリティカルな問題を分析するために「ヘルス エクスプローラー」を使用する方法 について詳しくは、87ページの『「ヘルス エクスプローラー」を使用した問題の 識別および解決』を参照してください。

アラートの表示

Microsoft System Center Operations Manager を使用すれば、正しく構成された管理 モジュール、IBM System x システム、および BladeCenter Blade サーバーから送信 されたアラートを表示できます。

このタスクについて

アラートを表示してモニターするには、以下の手順に従ってください。

手順

 BladeCenter シャーシ・アラートを表示するには、「監視」 > 「IBM ハードウ エア (IBM Hardware)」 > 「IBM BladeCenter およびモジュール (IBM BladeCenters and Modules)」 > 「アクティブなアラート」を選択します。

「**IBM BladeCenter およびモジュール (IBM BladeCenters and Modules)**」で各 シャーシの下に以下のコンポーネントが表示されます。

- IBM BladeCenter ブレード
- IBM BladeCenter $\dot{>} \forall \neg \neg \dot{>}$
- IBM BladeCenter 冷却モジュール
- IBM BladeCenter 入出力モジュール
- IBM BladeCenter 管理モジュール
- IBM BladeCenter メディア・モジュール
- IBM BladeCenter 電源モジュール
- BladeCenter ストレージ・モジュール

Windows オペレーティング・システムが IBM x86/x64 ブレード・サーバーにイ ンストールされていて、プレミアム・フィーチャーが使用可能になっている場合 は、BladeCenter から発行されるアラートにより、当該アラート状態によって影 響を受ける可能性がある IBM x86/x64 Blade サーバーに対して追加アラートが 作成されます。

「IBM Blade OOB-IB リフレクション・グループ (IBM Blade OOB-IB Reflection group)」ビューに、「IBM BladeCenter およびモジュール (IBM BladeCenters and Modules)」から発行された当該追加アラートに基づいて IBM x86/x64 ブレード・サーバーの正常性が示されます。

個別の System x、xSeries、BladeCenter ブレード・サーバー、および他のシステムを表示するには、「監視」 > 「IBM ハードウェア (IBM Hardware)」 > 「IBM System x および x86/x64 ブレード・サーバー (IBM System x and x86/x64 Blade Servers)」 > 「アクティブなアラート」を選択します。

Windows オペレーティング・システムが IBM x86/x64 ブレード・サーバーにイ ンストールされていて、プレミアム・フィーチャーが使用可能になっている場合 は、BladeCenter シャーシ・アラートが反映された IBM x86/x64 Blade アラート がこの「**アクティブなアラート**」ビューに表示されます。

BladeCenter シャーシ・アラートが表示されているこの IBM x86/x64 Blade アラートには、IBM BladeCenter で誤動作を起こしているコンポーネントのロケーションに関する情報が含まれています。

 3. 誤動作を起こしているコンポーネントの詳細を確認するには、BladeCenter シャ ーシ・アラートの「アクティブなアラート」ビューを参照してください。このビ ューを表示するには、「監視」 > 「IBM ハードウェア (IBM Hardware)」 > 「IBM BladeCenter およびモジュール (IBM BladeCenters and Modules)」 > 「アクティブなアラート」を選択します。

備考:

- IBM Hardware Management Pack では、IBM Systems Director イベントを生成 するが、特定のターゲット・インスタンスを完全には規定しないツール (WinEvent.exe など) が制限付きでサポートされています。
- 環境によっては、WinEvent.exe ツールは、イベント ID やイベント記述を正 しくサポートしません。このため、WinEvent.exe ツールは、すべてのイベン トを表示するツールとしては信頼できない可能性があります。
- すべての WinEvent は 1 つのモニターの下に報告されます。
- 正常にシミュレートされたイベントが Operations Manager コンソールの「ア ラート」ビューおよび「イベント」ビューに表示されます。
- IBM Systems Director エージェント 5.1.x がインストールされていて WinEvent.exe ツールが使用されるモニター対象システムでは、「ヘルス エク スプローラー」ビューから発行されたアラートを手動でクリアした後でも、エ ラーが再発することがあります。
- そのようなイベントが再発しないようにするには、 IBM¥director¥cimom¥data¥health.dat ファイルとすべての IBM¥director¥cimom¥data¥health.dat¥*.evt ファイルをクライアント・シス テムから削除して、システムを再始動します。

 モニター・ビューを開くには、BladeCenter シャーシ、System x サーバー、 BladeCenter Blade サーバー、または他のいずれかのシステムを右クリックしま す。これらのシステムは、「アラート ビュー」、「ダイアグラム ビュー」、 「イベント ビュー」、および「状態ビュー」を使用してモニターできます。

ハードウェア・エラーの検出および表示

「**すべての IBM System x および x86/x64 ブレード・サーバー (All IBM System x and x86/x64 Blade Servers)**」にナビゲートすればハードウェア・エラーを検出して表示できます。

「ヘルス エクスプローラー」を使用した問題の識別および解決

「ヘルス・エクスプローラー (Health Explorer)」を使用すれば、IBM システムおよびハードウェア・コンポーネントのモニター時に発生したエラー状態を特定して解決できます。

このタスクについて

ご使用の IBM ハードウェアに関する既存のアラートを素早く確認するには、以下 のビューのいずれかを選択します。

- アクティブなアラート
- IBM System x または x86/x64 Blade サーバー上の Windows コンピューター
- ・ すべての IBM System x および x86/x64 Blade サーバー (All IBM System x and x86/x64 Blade Servers)

「ヘルス エクスプローラー」は、アラートのトラブルシューティングに役立つ可能 性があります。アラートや状態変更について、およびモニター対象オブジェクトで 発生した他の問題について、表示したり、理解したり、アクションを実行したりす るには、「ヘルス・エクスプローラー (Health Explorer)」を使用します。

例えば、次の図にあるように、ご使用のシステムやハードウェア・コンポーネント をモニターしているときにクリティカル・エラーが発生した場合は、以下の手順を 使用してエラーを特定し、そのエラーを解決します。



図49. 管理対象システムで発生したクリティカル・エラーの例

手順

 警告またはクリティカル・アラートが発生している場合は、「すべての IBM System x および x86/x64 ブレード・サーバー (All IBM System x and x86/x64 Blade Servers)」を選択してヘルス・エクスプローラーを開き、状態をダブルク リックします。

注: デフォルトでは、「ヘルス エクスプローラー」が開かれたとき、障害が発 生したすべてのモニターが拡張ビューに表示されます。

次の図は、そのようなエラーがヘルス・エクスプローラーにどのように表示され るのかを示したものです。



図 50. システム・エラーを引き起こすハードウェア・コンポーネントの例

- 2. 警告もクリティカル・アラートも表示されない場合は、次のようにします。
 - a. IBM システムを「すべての IBM System x および x86/x64 ブレード・サー バー (All IBM System x and x86/x64 Blade Servers)」ビューで選択しま す。
 - b. そのシステムを右クリックして、コンテキスト・メニューを表示します。
 - c. 「開く (Open)」を選択し、「ヘルス・エクスプローラー (Health Explorer)」をクリックしてシステム名を表示します。
- 「ヘルス エクスプローラー」を使用して、エラーを示している基本レベルの正 常性モニターを特定します。エラーの表示は、特定のコンポーネントのインスタ ンスを参照しているはずです。 上記の図にあるように、障害のあるファンがエ ラーの原因です。
- 4. 最新の状態変更イベントについて詳しくは、結果ペインで「**状態変更イベント** (State Change Events)」をクリックします。

問題のファンで障害が発生した日時が表示されます。また、エラーの性質に関する詳細も参照できます。プレミアム・フィーチャーが使用可能になっている場合は、「IBM BladeCenter ブレード・アウト・オブ・バンド正常性リフレクション・ロールアップ (IBM BladeCenter Blade Out of Band Health Reflection Rollup)」に、BladeCenter におけるコンポーネントの正常性が反映されます。

 「IBM BladeCenter ブレード・アウト・オブ・バンド正常性リフレクション・ロ ールアップ (IBM BladeCenter Blade Out of Band Health Reflection Rollup)」に 警告またはクリティカル・アラートが表示される場合は、「IBM BladeCenter およびモジュール (IBM BladeCenters and Modules)」フォルダー・ビューを調 べて、さらに分析を行ってください。

次のタスク

エラー状態の解決にナレッジ・ページをどのように役立てることができるのかについて理解を深めたり、ハードウェア・コンポーネントについて詳しく理解したりするには、『ナレッジ・ページを使用して問題を解決』を参照してください。

ナレッジ・ページを使用して問題を解決

ナレッジ・ページには、エラー、イベント、およびコンポーネントに関する情報が 記載されています。ご使用のシステムおよびハードウェア・コンポーネントに関し て理解を深め、エラーが発生したときにそのエラーを解決する方法を見つけるに は、ナレッジ・ページを参照してください。

このタスクについて

次の図は、「ヘルス エクスプローラー」にエラーがどのように表示されるのかについて例示したものです。



図51. システム・エラーを引き起こすハードウェア・コンポーネントの例

IBM の開発者が作成したナレッジ・ページを参照すれば、IBM System x および x86/x64 ブレード・サーバーのイベント、アラート、コンポーネント、および他の情報について詳しく理解できるようになります。

ナレッジ・ページには、次の方法でアクセスできます。

- 「ヘルス エクスプローラー/モニター ビュー (Health Explorer/Monitors View)」を 使用して IBM Hardware Management Pack モニター・ナレッジにアクセスする。
- 「イベント」ビューを使用して、イベントに関する情報にアクセスする。
- ・ ナレッジ・ページに用意されているリンクを使用して、関連するハードウェア・ イベント情報にアクセスする。

ナレッジ・ページの使用法について調べるには、以下の手順に従ってください。

手順

1. 「ヘルス エクスプローラー」の右ペインにある「**ナレッジ**」をクリックして、 エラー・イベントに関する情報を参照します。これには、問題の修正に役立つ可 能性のある説明や必要手順が含まれています。

ナビゲーション・ペインに強調表示されているアラート・モニターについて「ナ レッジ」タブにある情報を参照し、手動で正常性をリセットする必要があるかど うかを確認します。追加手順が必要になった場合のエラー解決方法についても、 「ナレッジ」タブにある情報を参照します。

Health monitors for v-mabx3250.Lab54.local	Knowledge State Charge Events (2)					
🖻 🍪 Entity Health - v-mabx3250. Lab54. local (Entity) 🖉	Time	From		To	Operational State	
Availability - v mabx3250 Lab54 local [Entity]	4/30/2008 10:57 AM		•	8		
MON 2005 Meetings Belting, suspervised (Entry)	4/30/2008 6:57 AM		0	0		
Performance - venaby/250 Lab54 local (Entited		-	-	-		
Performance health rolkin of IBM software for hardware management -						
Performance health rollup of IBM System x and Blade x86 blade system						
Performance - v-mabx3250 Lab54 local (Entity)						
E 3 Performance health rollup of IBM x base system - v-mabx3250.	100000000					
E 🚱 Performance - v mabx3250 Lab54 local (Entity)	Details		1000			
Performance health rollup of IBM hardware componen			174-			
Performance - All Storage (Entity)	AlertingManagedElement		MARD20000000188900.89956_Fan.CreatorCestiane="20 Sensor 2",SystemCreationClassName="309556_ComputerSystem",5 MAR020250" 6			
(e) Performance - Physical Memory 4 (Entity)						
(ii) (ii) Performance - Fan Sensor 1 (Entity)						
Performance - LSI.Unknown (Entity)						
Performance - Fan Sensor 2 (Entity)	Description		Fan Sensi	or 2 fell below thres	hold of \$50 RPM. The current	
Alert monitor for IBM system cooling fan condit	EventCategory		Value is 0 FPTS. Environment al			
Alert monifor for ISM system fan speed fakwes	Europe III	tventLategory		3250/root/ibmsd-18/	MPSG Fan.deviceID="Fan	
C Peduar near checkup monitor for talk light	Evenus		Sensor 2*			
(a) (b) Penomance - NerworkinenaceCard 1 (crinity)	EventTime		04/30/20	08 03:57:24		
C O Petionarce - Votage Sendor e (critic)	PerceivedSeverit	r	6			
B. C. Petromance - Nemonineerace and 2 (critic)	ProbableCause		1			
E C Parlomance - Voltane Server 5 (Entited	FroviderName	-	LiteCtor()	vdeck15ece0x640vvd	m .	
B. O Pedramance - Terrorature Central 2 (Enthul	SystemAreadone	1033 COLD	V-MARCE	50		
E C Pedomance - Volace Sensor 2 (Critic)	TIME CREATED		12854051	0444804375		
R. O. Pedomance - Temperature Sensor 1 (Fotbul	Trending		1			
(#) (2) Performance - Voltage Sensor 1 (Finited	UniqueSystemID		7/b82625	59406846		
Contractor Conference of Contractor			11111100000			
INCLUSE PRESENCES P. FAMILY AND FRENCE						

次の図に、このページがどのように表示されるのかを例示します。

図 52. エラー・イベントに関する記述があるナレッジ・ページの例

ー部のナレッジ・ページには、考えられる原因や、推奨アクションが記載されている別のナレッジ・ページへのリンクが含まれています。このようなページには、具体的なエラーとその修復方法が説明されていたり、ハードウェア・コンポ ーネントが記述されていたりすることがあります。

 「ファンの速度が正常範囲にない (Fan speed is outside the healthy range)」リ ンクをクリックします。 このリンクからは、次の図にあるように別のナレッ ジ・ページが開きます。



図 53. 別のページにリンクするナレッジ・ページの例

3. 必要に応じて、ナレッジ・ページに示された手順を実行してエラーを解決し、正 常性センサーをリセットします。

次のタスク

また、ナレッジ・ページには、「アクティブなアラート」ビューからもアクセスで きます。

アラート・プロパティーを表示するには、アラートをダブルクリックします。アラ ートの説明が「**全般**」タブに表示されます。「**製品ナレッジ**」タブには、ナレッ ジ・ページへのリンクが含まれています。次の図に、アラートのアラート・プロパ ティーを例示します。



図 54. アラート・プロパティーの例

プレミアム・フィーチャーの使用

このセクションでは、プレミアム・フィーチャーの使用方法について説明します。 プレミアム・フィーチャーを使用できるのは、IBM Hardware Management Pack の インストールが IBM Upward Integration for Microsoft System Center Installer に登 録されている場合です。

プレミアム・フィーチャーについて詳しくは、2ページの『プレミアム・フィーチャー』を参照してください。

BladeCenter x86/x64 ブレード・サーバーの電源をリモートでオン/オフにする

この機能を使用すれば、リモート側で IBM BladeCenter Blade モジュールを制御し て、オペレーティング・システムの電源オン、電源オフ、またはシャットダウンを 選択することができます。プレミアム・フィーチャーが使用可能になっている場 合、このタスクは Operations Manager コンソールの「アクション」ペインから利用 できます。

オペレーティング・システムのリモート・シャットダウン

以下の手順は、Bladeの物理的なロケーションを使用して IBM BladeCenter x86/x64 Blade モジュール上のオペレーティング・システムを正常にシャットダウンする方 法を説明したものです。

このタスクについて

このタスクは、Operations Manager コンソールから実行します。

手順

- 「モニター (Monitoring)」 > 「IBM ハードウェア」 > 「IBM BladeCenter お よびモジュール (IBM BladeCenter(s) and Modules)」 > 「IBM BladeCenter ブレード (IBM BladeCenter Blades)」を選択します。
- Operations Manager コンソールの結果ペインにある「IBM BladeCenter ブレード (IBM BladeCenter Blades)」ビューで、リストされているブレード・サーバーを選択します。
- Operations Manager コンソールの右側にある「アクション」ペインから「IBM BladeCenter: このブレード上のオペレーティング・システムをシャットダウン (IBM BladeCenter: Shutdown Operating System on this Blade)」を選択しま す。



図 55. Operations Manager コンソール・プレミアム・フィーチャーが有効になっている例

4. タスク・ターゲットが Operations Manager コンソールの上部の結果ペインにあ ることを確認します。
| un the task on these targets | 🥹 Hel |
|---|---|
| Target | Run Location |
| Blade Bay 1,2 - H/51 | 192.168.0.249 |
| ask Parameters | |
| Name | Value |
| | |
| Override | Task description |
| Dvemde
sk credentials
© Use the predefined Run As Account | Task description
IBM BladeCenter: Shutdown Operating System |
| Override
sk credentials
© Use the predefined Run As Account
Differ : | Task description
IBM BladeCenter: Shutdown Operating System
on this Blade |
| Overnde sk credentials Use the predefined Run As Account Other: User name : Demont | Task description
IBM BladeCenter: Shutdown Operating System
on this Blade |
| Override sk credentials Use the predefined Run As Account Other: User name Password: | Task description
IBM BladeCenter: Shutdown Operating System
on this Blade |
| Overnde sk credentials Use the predefined Run As Account Other: User name : Password : Donnain : LAB54 | Task description
IBM BladeCenter: Shutdown Operating System
on this Blade |
| Override sk credentials Use the predefined Run As Account Other: User name: Password: Domain: LAB54 sk confirmation | Task description
IBM BladeCenter: Shutdown Operating System
on this Blade |
| Byemde ask credentials Image: State of the section of the | Task description
IBM BladeCenter: Shutdown Operating System
on this Blade |

図 56. 「このブレード上のオペレーティング・システムをシャットダウン (Shutdown Operating System on this Blade)」のタスク状況

5. 「実行」をクリックします。

IBM BladeCenter: Shutdown Success Blade bay 1,2 - hu51 IBM BladeCenter: Shutdown Operating System on this Blade Task Description Status: Success IBM BladeCenter: Shutdown Operating System on this Blade Status: Success IBM BladeCenter: Shutdown Operating System on this Blade Status: Success IBM BladeCenter: Shutdown Operating System on this Blade Status: Success IBM BladeCenter: Shutdown Operating System on this Blade Statt Time: 6/17/2011 7:33:10 PM Statt Time: 6/17/2011 7:33:13 PM Submitted By: LAB54 taka Run As: Run Location: Target: Task Duby Task Output: Upper Blade Output: Upper Blade DyAdtrass = 192.160.0.249 hayBunber = 1,2 Error Nome Statt Code: 0	ask	Status	Task Target
sk Output Status: Success Schedude Time: 6/17/2011 7:33:10 PM Start Time: 6/17/2011 7:33:13 PM Subnitted By: LABS4ltaka Run As: Run As: Run As: Run As: Run Cocation: Target: Target: Target: Target: Target: Target: Target: Exer Code: D	IBM BladeCente	r: Shutdown Success	blade bay 1,2 - hx51
Original System on this Blade Task Description System on this Blade Task Description Status: Success IBM BladeCenter: Shutdown Operating System on this Blade Status: Success IBM BladeCenter: Shutdown Operating System on this Blade Status: 6/17/2011 7:33:10 PM IBM BladeCenter: Shutdown Operating System on this Blade Submitted By: LAB54/taka Run As: Run Location: Target: Task Department Target: Task Duput: Operations Task Output: DotateType = BLADE Task Department Todaters = 1.2 IP2.168.0.249 BayBrunker = 1.2 Fror Rome Exet Code: 0 Exet Code: 0	ask Output		Copy Text 🐴 Copy HTML
Status: Success IBM BladeCenter: Shutdown Operating System on this Blade Scheduled Time: 6/17/2011 7:33:10 PM this Blade Start Time: 6/17/2011 7:33:13 PM this Blade Submitted By: LAB54/taka this Blade Run As: Run Location: this BladeCenter Blade Module Target: Target: Operations Task Output: Operations this BladeCenter Blade Module Obtput BoduleType = BLADE bayBlumber = 1,2 Fror Rome the set Code: 0	IBM Bladel	Center: Shutdown Operating Blade	Task Description
Target Type: IBM BladeCenter Blade Module Category: Operations Task Output: Output ModuleType = BLADE IDAddress = 192.168.0.249 bayNumber = 1,2 Error None Exit Code: 0	Stabus: Scheduled Time: Start Time: Submitted By: Run As: Run Location: Target:	Success 6/17/2011 7:33:10 PM 6/17/2011 7:33:13 PM LA854\taka	IBM BladeCenter: Shutdown Operating System on this Blade
Category: Operations Task Output: Output ModuleType = BLADE DayRunber = 1,2 Fror Rone Exit Code: 0	Target Type:	IBM BladeCenter Blade Module	
Tox Output ModuleType = BLADE IPAddress = 192.168.0.249 bayRunber = 1,2 From None Exit Code: 0	Lacegory:	Operacions	
Error None Exit Code: 0	Output ModuleType IPAddress = bayNumber =	* BLADE 192.169.0.249 1,2	
Exit Code: 0	Error None		
	Exit Code: 0		

図 57. 当該ブレードにシャットダウン・タスクが送信されたことを示すタスク状況

タスクがターゲット・サーバーの IBM BladeCenter に送信されたことが、タス ク状況ウィンドウに示されます。

6. 「**閉じる**」をクリックします。

プレミアム・フィーチャーが使用可能なっていないと、このタスクは失敗しま す。 IBM Hardware Management Pack の無料バージョンが使用されていること を示すメッセージが「タスクの出力」セクションに表示されます。

	1.0.0					_
Task	Status	Task T	arget an 129 ande	hav 2 d . m	-de	
Task Output			Copy	Text 🖏 (opy HT	ML

The necessary IBM License f	eature level	is not installe	ad on Windo	ws Comp	uter	-
The necessary IBM License f for Managing IBM Flex Chase	eature level iis.	is not installe	ed on Windo	ows Comp	uter	1
The necessary IBM License f for Managing IBM Flex Chase The feature you ran requires	eature level ils. I feature leve	is not instalk el 4.0 or high	ed on Windo wer.	ows Comp	uter	
The necessary IBM License f for Managing IBM Flex Chass The feature you ran requires To take advantage of premix	eature level ils. I feature leve Im features,	is not installe el 4.0 or high please conta	ed on Windo Ner. Inct your IBM	ows Comp	uter tative.	ĺ
The necessary IBM License f for Managing IBM Flex Chase The feature you ran requires To take advantage of premix	eature level ils. : feature leve im features, 	is not installe el 4.0 or high please conta	ed on Windo Ner. Inct your IBM	ws Comp	uter tative.	Í
The necessary IBM License f for Managing IBM Flex Chass The feature you ran requires To take advantage of premix Command executed: "C:\Wis "IBMFlexChassisPowerOnOff "0" "161" "USERID" "SHA" "P	eature level ils. in feature level im features, ndows\system Module.vbs" assw1rd" "N	is not install el 4.0 or high please conta m32\cscript. "BLADE" "9.1 one" ** ** *3	ed on Windo er. act your IBM exe" /nologo 125.90.129"	wws Comp represen 9 "Node Ba	uter tative. y 3° =	ĺ
The necessary IBM License f for Managing IBM Flex Chass The feature you ran requires To take advantage of premix Command executed: "C:\Wid "IBMFlexChassisPowerOnOff "0" "161" "USERID" "SHA" "P Working Directory: C:\Progra Manager\Server\Health Server \	eature level ils. i feature leve im features, Module.vbs" assw1rd" "N am Files\Sys ice State\Mo	is not installe el 4.0 or high please conta m32\cscript. "BLADE" "9.1 one" "" "3 tem Center : mitoring Hos	ed on Windo er. ict your IBM exe" /nology 125.90.129" " = = 2012\Operat t Temporar	ws Comp represen Node Ba tions y Files 58	uter tative. y 3* == 7\9375	

図 58. タスク出力メッセージの例

- 7. 「閉じる」をクリックします。
- 8. 直近のBlade電源状況を調べるために、Operations Manager コンソールの右側にある「アクション」ペインで「IBM BladeCenter: このブレードのプロパティーおよび状況を最新表示 (IBM BladeCenter: Refresh this Blade's Properties and Status)」を選択します。

サーバー名を使用したリモート電源オン

以下の手順は、サーバー名を使用して IBM BladeCenter x86/x64 ブレードの電源を リモートでオンにする機能について例示して説明したものです。

このタスクについて

このタスクは、Operations Manager コンソールから実行します。

手順

- 「監視」 > 「IBM ハードウェア (IBM Hardware)」 > 「IBM System x およ び x86/x64 ブレード・サーバー (IBM System x and x86/x64 Blade Servers)」
 > 「IBM x86/x64 ブレード・サーバー (IBM x86/x64 Blade Servers)」を選択し ます。
- Operations Manager コンソールの中央上部ペインにある「IBM x86/x64 ブレード・サーバー (IBM x86/x64 Blade Servers)」ビューで「ブレード・サーバー (Blade Server)」を選択します。



図 59. 「ブレード・サーバー電源オン (Blade Server Power On)」タスクの例

3. Operations Manager コンソールの右側にある「アクション」ペインから「ブレー ド・サーバー電源オン (Blade Server Power On)」を選択します。

「ブレード・サーバー・パワーオン」タスクが開始されると、ウィンドウにタス ク完了状況が示されます。電源オン・タスク要求が BladeCenter に送信される と、「タスク出力 (Task Output)」セクションの末尾に <<--タスクが正常に完了 しました。>> (--The task successfully completed.) というメッセージが表示 されます。

Console Task Output	- 🗆 ×
The task was completed.	
Output:	
<pre>Parameter Count : 3 <<this be="" blade="" can="" discovered="" in="" is="" only="" oob="" release="" task="" the="" this="" when="" worked="">> debuglevel=6 End Initial() ConvertEventLevel() ConvertEventLevel() End Blade UUID:BE32855E-8547-11DF-B05D-00215E881C48 ConvertEventLevel() ConvertEventLev</this></pre>	4
	لح
4	2
	lose

図 60. 電源オン・タスクのタスク出力状況

- 4. 「閉じる」をクリックします。
- 直近のブレード電源状況を調べるために、Operations Manager コンソールの右側 にある「アクション」ペインで「IBM BladeCenter: このブレードのプロパティ ーおよび状況を最新表示 (IBM BladeCenter: Refresh this Blade's Properties and Status)」を選択します。

Tensole Task Output	- 🗆 ×
The task was completed.	
Output:	
Parameter Count : 3 < <the free="" hardware="" ibm="" installed="" is="" management="" on="" pack="" serv<br="" this="" version="">The feature you ran is a fee based features. To upgrade from free to fee version and take advantage of all features please see IBM Web site>></the>	/er. 🛎
x	*
C	ose

図 61. プレミアム・フィーチャーが使用可能になっていないときのタスク出力

6. 「**閉じる**」をクリックします。

電源しきい値の設定

IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 では、電力モニター・アラートの電力消費量しきい値をカスタマイズできます。以下の手順で、電源しきい値の設定/設定解除方法とその例を示します。

始める前に

このタスクを実行するには、ターゲット・システムが電力モニターに対応していな ければなりません。このタスクは、システム上の警告/クリティカル電源しきい値を 設定/設定解除する場合に使用します。個々のしきい値に対してブランクまたはゼロ 値を指定した場合、そのしきい値はデフォルト値にリセットされます。「IBM ライ センス交付を受けたシステム・グループ (IBM Licensed Systems Group)」の下にあ るこのシステムの「詳細ビュー」を参照して、現行しきい値と *MonitoringCapable* プロパティーを確認してください。

このタスクについて

このタスクは、Operations Manager コンソールから実行します。

手順

- 「モニター (Monitoring)」 > 「IBM ハードウェア」 > 「IBM ライセンス交 付を受けたシステム・グループ (IBM Licensed System Group)」を選択しま す。
- Operations Manager コンソールの中央上部ペインにある「IBM ライセンス交付 を受けたシステム・グループ (IBM Licensed System Group)」ビューで「サー バー」を選択します。
- 3. 右側のペインで「電源しきい値の設定/設定解除 (Set/Unset Power Threshold)」 を選択します。



図 62. 「電源しきい値の設定/設定解除 (Set/Unset Power Threshold)」タスクの例

4. タスク・ターゲットが Operations Manager コンソールの上部ペインにあること を確認します。

t un the <u>t</u>ask or Target ✔ WIN-HGPR7	RL4K38.SCOMR2X64.net	in Location
ask Paramete	rs	
Name		Value
IBM Windows Se	PowerThreshold WriteAction Warning Po	\$Target/Property[Type="IBM.WinComputer"]/Pow
IBM Windows Se	tPowerThreshold WriteAction Critical Pow	\$Target/Property[Type="IBM.WinComputer"]/Pow
IBM Windows Se Qverride ask credentials ● Use the prede Other: User name : Password :	efined Run As Account	\$Target/Property[Type="IBM.WinComputer"]/Pow Task description Set/Unset Warning or Critical Power Threshold. If you specify a blank or zero value for a particular threshold, that threshold will be reset to its default value. Refer to the Detail View of this system under the IBM Licensed Systems Group to see the current threshold values and the MonitoringCapable property. The target
Qverride Qverride Isk credentials ● Use the prede ○ Other : User name : Password : Domain :	efined Run As Account	\$Target/Property[Type="IBM.WinComputer"]/Pow Task description Set/Unset Warning or Critical Power Threshold. If you specify a blank or zero value for a particular threshold, that threshold will be reset to its default value. Refer to the Detail View of this system under the IBM Licensed Systems Group to see the current threshold values and the MonitoringCapable property. The target system must be capable of monitoring in order to execute this task.

図 63. 「電源しきい値の設定/設定解除 (Set/Unset Power Threshold)」タスクのターゲットおよ びタスク・パラメーター

5. 「オーバーライド (Override)」 をクリックして、電源しきい値をオーバーライ ドします。

Name	Туре	Default Value	New Value
IBM Windows SetPowerThreshold Wri	int	\$Target/Property[Type=''l	B 1 0
IBM Windows SetPowerThreshold Wri	int	\$Target/Property[Type="1	B

図 64. 「電源しきい値の設定/設定解除 (Set/Unset Power Threshold)」タスクのタスク・パラメ ーターのオーバーライド

- 6. しきい値パラメーターの値を変更して、「上書き」をクリックします。
- 7. 中央ペインで設定した入力値を確認します。

n)	Run Ta	sk - Set/Unset	Power Threshold	X
Run the <u>t</u> ask o	n these targets		0 н	lelp
Target ☑ WIN-HGPR7	'RL4K38.SCOMR2X64.ne	R	un Location	
r <u>a</u> sk Paramete	rs			
N			V.L.	
<u>O</u> venide	5		Task description	
Use the pred	lefined Run As Account		Set/Unset Warning or Critical Power Threshold. If you specify a blank or zero value for a	
O Other :			particular threshold, that threshold will be reset to its default value. Befer to the Detail View of	
<u>U</u> ser name :			this system under the IBM Licensed Systems	
Password :			the MonitoringCapable property. The target	
<u>D</u> omain :	SCOMR2×64	~	to execute this task.	
ask confirmati	on			
Don't prompt	when running this task in	the future	<u>B</u> un Cancel	

図 65. 「電源しきい値の設定/設定解除 (Set/Unset Power Threshold)」タスクのタスク・パラメ ーターの新しい値

- 8. オプション: もう一度値を変更したい場合は、「オーバーライド (Override)」 をクリックしてください。
- 9. 入力値を確認した後、「実行」をクリックします。 タスクがターゲット・サ ーバーに送信されたことがタスク状況ウィンドウに示されます。

Task	Status	Task Ta	raet
Failed to submit tasks,	Failed		n gov
ask Output			🗈 <u>C</u> opy Text 🗈 Copy <u>H</u> TML
the full of the factor of the second			
Health Service 'WIN-HGPR monitoring object is conta hosting the Health Service running.	/RL4K38.SCOM ined is not avail is available and	R2X64.net' ir able. Make s I verify that t	n which the location sure that the computer the Health Service is
Health Service 'WIN-HGPR monitoring object is conta hosting the Health Service running.	ined is not avail is available and	R2X64.net' ir able. Make s I verify that t	n which the location sure that the computer the Health Service is

図 66. 「電源しきい値の設定/設定解除 (Set/Unset Power Threshold)」タスクがターゲット・サ ーバーに送信されたことを示すタスク状況

タスクが成功したのか失敗したのかを示すメッセージが「タスクの出力」セク ションに表示されます。

10. 「閉じる」をクリックします。

電源キャッピングの設定

IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 には、最大電力消費量 (ワット) を設定して有効にする機能が用意されています。以下の手順で、電源キャッピングの設定方法と設定例を示します。

始める前に

この手順に従う前に、ターゲット・システムが電源キャッピングに対応しているこ とを確認してください。このタスクでは、ターゲット・システム上のユーザー・ア クセス制御 (UAC) をオフにする必要があります。「IBM ライセンス交付を受けた システム・グループ (IBM Licensed Systems Group)」の下にあるこのシステムの 「詳細ビュー」を参照して、*CappingCapable、CappingEnabled、PowerMax、 PowerMin、*および *PowerCap* の現行値を確認してください。

このタスクについて

このタスクは Operations Manager コンソールで実行され、システム上の電源キャッ ピングを設定するか、または有効にするために使用されます。

電源キャッピングの値は PowerMin から PowerMax までの範囲で指定する必要があります。

手順

- 1. 「モニター (Monitoring)」 > 「IBM ハードウェア」 > 「IBM ライセンス交付 を受けたシステム・グループ (IBM Licensed System Group)」を選択します。
- Operations Manager コンソールの中央上部ペインにある「IBM ライセンス交付 を受けたシステム・グループ (IBM Licensed System Group)」ビューで「サー バー」を選択します。
- 3. 「電源キャッピングの設定 (Set Power Capping)」を選択します。

Ele Edit View Go Tasks Tools Help Search * Score PFod DTasks) .						
Mantaning 4 Mantaning 4 Mantaning 4 Market of the second secon	IBM Licensed 3 Look for: Data Ø Healthy Ø Healthy Ø Healthy	yntern Geroup (3) Name WRY-ANCHROTS &CR.SCOME2054.evet WRYDOW-NICHROTT SCOME2054.evet LING-HV-TIGER.SCOME2054.eet	Eind Now - IDM I M Ms 275.0 255.0 255.0	Dese IDM Platform Compute Node Compute Node Blade	BM M/T and S 7917-71W/FK0 7917-23W/TV65 7875-	IBM Pre	
Show at Histe Views New View # Menitoring Arthoring Arthoring Meninistration W Workspace	C Detail View Detail View Display Name hull Path Nam Prindpat Name NetBioS Dom P Address	IN AND Computer on IBM System properties of WIN- IN WIN-HORPTO-ACCES IN WIN-HORPTO-ACCES WIN-HORPTO-ACCES WIN-HORPTO-ACCES UNI-HORPT	HGPETRL 4K38.500 COMP2X84.net SCOMP2X84.net COMP2X84.net COMP2X84.net	MR2X64.net ; 9:125.93.109, fe80;	e943;2137;b24b;cc9,	 	Ping Computer (with Route) Fing Computer Continuously (Finds Desistop Finds Desistop (Admin) Finds Desistop (Cansol) Finds Desistop (Cansol) Finds Desistop (Cansol) Sect Thall License Sect Thall License Sect Thall Divers Theostopi

図 67. 「電源キャッピングの設定 (Set Power Capping)」タスクの例

4. タスク・ターゲットが Operations Manager コンソールの上部ペインにあること を確認します。

-		
Target WIN-HGPB7	RL4K38.SCOMR2X64.net	Run Location
ſ <u>a</u> sk Paramete	rs	
Name		Value
IBM Windows Se	etPowerCapping WriteAction Power I	Cap \$Target/Property[Type="IBM.WinComputer"]/Pow
IBM Windows Se	tPowerCapping WriteAction Cappin	gEnab \$Target/Property[Type=''IBM.WinComputer'']/Cap
IBM Windows Se	tPowerCapping WriteAction Cappin	g Enab \$Target/Property[Type=''IBM.WinComputer'']/Cap Task description
Dverride	tPowerCapping WriteAction Cappin	Task description Set or Enable Power Capping. You must specify a value for the PowerCap that is between the PowerCing Units and PowerMarker and PowerMarker
IBM Windows Se Qverride ask credentials Image: Use the predection of the prediction of the predection of the predection of the prediction of the pred	efined Run As Account	Task description Set or Enable Power Capping. You must specify a value for the PowerCap that is between the PowerMax range. Refer to the Detail View of this system under the IBM Licensed System Group to see the
Deverride verride verride Use the prede User the prede User name : Password :	efined Run As Account	Task description Set or Enable Power Capping. You must specify a value for the PowerCap that is between the PowerMan and PowerMax range. Refer to the Detail View of this system under the IBM Licensed System Group to see the current CappingCapable, CappingEnabled, PowerMax, PowerMin, and PowerCap values. The target system must be canable of capering
IBM Windows Se Qverride ask credentials Image: Use the predection of the prediction of the pred	efined Run As Account	Task description Set or Enable Power Capping. You must specify a value for the PowerCap that is between the PowerMax range. Refer to the Detail View of this system under the IBM Licensed System Group to see the current CappingCapable, CappingEnabled, PowerMax, PowerMin, and PowerCap values. The target system must be capable of capping in order to enable power capping or set a new power cap value

図 68. 「電源キャッピングの設定 (Set Power Capping)」タスクのターゲットおよびタスク・ パラメーター

5. 「オーバーライド (Override)」 をクリックして、電源しきい値をオーバーライ ドします。

and the second	Туре	Default Value	New Value
IBM Windows SetPowerCapping Write	int	\$Target/Property[Type="IB	þ
IBM Windows SetPowerCapping Write	bool	\$Target/Property[Type="IB	

図 69. 「電源キャッピングの設定 (Set Power Capping)」タスクのタスク・パラメーターのオ ーバーライド

- 6. 電源キャッピング・パラメーターの値を変更して、「上書き」をクリックしま す。
- 7. 中央ペインで設定した入力値を確認します。

Run the <u>t</u> ask on these targets	Ø He
Target	Run Location
WIN-HGPR7RL4K38.SCOMR2X64.net	
ask Parameters	
Name	Value
IBM Windows SetPowerCapping WriteAction Pr	2 voice
Override	Task description
©verride ask credentials ● Use the predefined Run As Account	Task description Set or Enable Power Capping, You must
<u> <u> </u> </u>	Task description Set or Enable Power Capping. You must specify a value for the PowerCap that is between the PowerMin and PowerMax range.
Override ask credentials Image: Use the predefined Run As Account Other : User name :	Task description Set or Enable Power Capping. You must specify a value for the PowerCap that is between the PowerMin and PowerMax range. Refer to the Detail View of this system under the IBM Licensed System Group to_see the
Qverride ask credentials Image: Use the predefined Run As Account Other : User name : Password :	Task description Set or Enable Power Capping. You must specify a value for the PowerCap that is between the PowerMin and PowerMax range. Refer to the Detail View of this system under the IBM Licensed System Group to see the current CappingCapable, CappingEnabled, PowerMax, PowerMin, and PowerCap values.
Override ask credentials • Use the predefined Run As Account • Other : User name : Password : Domain :	Task description Set or Enable Power Capping. You must specify a value for the PowerCap that is between the PowerMin and PowerMax range. Refer to the Detail View of this system under the IBM Licensed System Group to see the current CappingCapable, CappingEnabled, PowerMax, PowerMin, and PowerCap values. The target system must be capable of capping in order to enable power capping or set a new power cap value.
Override ask credentials • Use the predefined Run As Account • Other: User name: Bassword: Domain: SCOMR2X64	Task description Set or Enable Power Capping. You must specify a value for the PowerCap that is between the PowerMin and PowerMax range. Refer to the Detail View of this system under the IBM Licensed System Group to see the current CappingCapable, CappingEnabled, PowerMax, PowerMin, and PowerCap values. The target system must be capable of capping in order to enable power capping or set a new power cap value.

図 70. 「電源キャッピングの設定 (Set Power Capping)」タスクのタスク・パラメーターの新しい値

- 8. 値を入力した後、「実行」をクリックします。 タスクがターゲット・サーバー に送信されたことがタスク状況ウィンドウに示されます。
- 9. 「**閉じる**」をクリックします。

	it status set	. oner	and hund			a aya
ailed to submit tasks.						Help
Task	Status	Ta	sk Target			
🔇 Failed to submit tasks.	Failed					
ask Output			Copy Te	ext 🗈 (Сору <u>Н</u> Т	- ML
Uselth Candes NUM LICOD	7814K38 SCOM	IR2¥64 n	ot' in which th	he locat	ion	1
monitoring object is conta hosting the Health Service running.	ined is not avail is available and	lable. Ma d verify t	ke sure that t hat the Health	the com n Servic	puter e is	
monitoring object is conta hosting the Health Service running.	ined is not avail is available and	lable. Ma d verify t	ke sure that t hat the Health	he com	puter e is	2
You can close this dialog at any check the status of tasks in a task	time. Doing so will sk status view.	lable. Ma d verify t	ke sure that t hat the Health	asks. Yo	u can	

図 71. 「電源キャッピングの設定 (Set Power Capping)」タスクがターゲット・サーバーに送 信されたことを示すタスク状況

タスクが成功したのか失敗したのかを示すメッセージが「タスクの出力」セクションに表示されます。

予測障害アラート (PFA) ポリシーの設定

IBM Hardware Management Pack for Microsoft System Center Operations Manager v5.0 は、ハードウェア障害発生時の自動仮想マシン (VM) 排除方式をサーバー・ホストに提供します。以下の手順に、予測障害アラート (PFA) ポリシーの設定方法とその例を示します。

始める前に

このタスクを実行するには、ターゲット・システムが予測障害アラートに対応して いなければなりません。現在このタスクに対応しているのは、Brickland ベースのシ ステムのみです。このタスクは、選択したハードウェア障害アラートに基づいて自 動仮想マシン排除を呼び出すために使用します。マシンで予測障害アラート設定が サポートされているかどうかを判別するには、IBM Integrated Management Module (IMM) でこのシステムのプロパティー「サポートされる IMM RAS (IMM RAS Supported)」を参照してください。

このタスクについて

このタスクは Operations Manager コンソールから実行します。

手順

- 1. 「モニター (Monitoring)」 > 「IBM ハードウェア」 > 「IBM Integrated Management Module (IMM)」を選択します。
- 2. 上部中央のペインにある「IBM Integrated Management Module (IMM)」ビュー で、下図に示すように「サポートされる IMM RAS (IMM RAS Supported)」で あることが示されているサーバーを選択します。

7	18M Integra	ited Management Mod	tule (IMM) - SCON	A2012He - Operations Ma	anager	- 0 ×
File Edit View Go Tasks Tools Help Search * , Scope P Find	Tasks 🔮					
Monitoring	IBM Integrated Managemen Loak for: p UUID 0.115.252.56 EEF0200C14	t Module (IMM0 (1) Model Senal Nu J. 3037AC1 23Y6479	Find New IMM Authentic I Pessed i	Clear Lett Dicovery Date (014-01-21 0142/03/823000	MMI RAS Supported Supported	
Addre Alert Addre Alert Addre Alert Anne Alert Al	Detail View Display Name Suip Jay Name Suip Lay Name UUD Enable Power Poll Manufammer	C166011123892400047725670 EEP02E0C36901123892400 EEP02E0C56901123892400 EEP02E0C36901123892400 Taile	HE DAF72567DE DAF72567DE DAF72567DE			Aret Ver Dagram Ver Det Ver
BR Black Center (VD Moddes Source Hide Views Insur View # Monitoring Authoring Administration My Workspace	Anodel Part Number Sensi Number Number CR Rever Transition Anotec CR Rever Transition and Discours Date Desires Categories Computer Name Oranguter Name MMA Aptrementation NMA RAS Supported	5037AC1 0005168 2394479 157 197 9.115225.55 2014,01.21 214745260 Passed Supported	0		Activat Go to Ac	Tails Authenticate MMA Authenticate MMA Cover Management Cover Management Cover Management Cover MMA Cover Set MMA Cover Set Authority Cover Set Aut
Ready						

図 72. 「予測障害アラート・ポリシーの設定」タスクの例

3. 右側にある「アクション」ペインで、「予測障害アラート (PFA) ポリシーの設 定」を選択します。 「PFA ポリシー構成」ウィンドウが表示されます。

		Save	SaveAs	Delet
Events:	☐ Memory subs ☐ Power ✔ Cooling ☐ Storage	ystem		

図 73. 「PFA ポリシー構成」ウィンドウ

- 4. 「PFA ポリシー構成」ウィンドウで、以下の該当する手順を実行します。
 - a. 選択したホストに適用するテンプレートを選択し、「**別名保存** (Save As)」を クリックして新規テンプレートを作成するか、「保存」をクリックして既存 のテンプレートを変更するか、または「**削除**」をクリックして既存のテンプ レートを削除します。
 - b. 該当するハードウェア障害アラート・イベントを選択します。

「イベント」リストは、ターゲット・サーバーでサポートされるアラート・ イベントのタイプによって異なります。例えば、IBM System x3850 X6 では 以下のアラート・イベントがサポートされます。

- メモリー・サブシステム
- 電源
- 冷却
- ストレージ
- c. アラートの重大度レベルを選択します。

 - ・エラー

d. 該当する場合は、「アクション」行で、「**仮想マシンのマイグレーション**」 を選択できます。

注:仮想マシンのマイグレーションを自動的に実行するには、最初に SCVMM FQDN を設定する必要があります。 22 ページの『IBM Hardware Management Pack のインストール手順』のステップ 7 を参照してください。

クライアント System X サーバーの電源データをグラフィックで 表示

IBM System x 電源データ・グラフ機能を使用すると、クライアント System x サーバーの電源データを直感的なグラフで表示することができます。

始める前に

電源データ・グラフ機能は、IBM System x サーバーでのみ使用可能であり、シャ ーシおよび Flex システムでは使用できません。データ・グラフを表示するために は、事前に、Windows オペレーティング・システムがインストールされている管理 対象の System x サーバーを少なくとも 1 つ準備しておく必要があります。

このタスクについて

このタスクは、Operations Manager コンソールから実行します。

手順

- 「モニター (Monitoring)」 > 「IBM ハードウェア」 > 「電源データ・グラ フ」を選択します。
- 2. サーバー・チェック・ボックスを選択します。 IBM System x 電源データ・グ ラフが表示されます。



図 74. IBM System x 電源データ・グラフ

不安定でない限り、電力は直線で示されます。

Flex System OOB-IB リフレクションの検出

(Windows オペレーティング・システムがインストールされている) シャーシの Flex シャーシおよび Flex システムが両方とも Operations Manager によって管理されて いる場合、IBM Hardware Management Pack は、Flex シャーシと Flex システムの オペレーティング・システムから取得する情報を同期化できる機能を提供します。

始める前に

OOB-IB リフレクション情報を使用可能にするためには、Flex シャーシ・デバイス と、その中にある少なくとも 1 つの Flex システムが、IBM Hardware Management Pack で Operations Manager によって検出され管理されなければなりません。

このタスクについて

このタスクは、Operations Manager コンソールから実行します。

手順

 ターゲット Flex シャーシが検出されたことを確認するには、Operations Manager コンソールで「モニター (Monitoring)」 > 「IBM ハードウェア (IBM Hardware)」 > 「IBM Flex System シャーシおよびモジュール (IBM Flex System Chassis(s) and Modules)」を選択します。 ターゲット Flex シャーシが 検出されていない場合は、58 ページの『Operations Manager 2012 での IBM Flex System の検出』 を参照してください。

Monitoring	*	IBM Flex Syste	e Cha	ssis(s) (1)				
🌲 Task Status	-	Cost fac				Find New	Clear	
Task Status for IBM Black Center() Television (complex) for Management IBM Black (whether)		State	- 0	Display Name	ISM Flex System	Description -	IEM Fies Syste	BM Flex System Chassis Management Module
> 🔓 IBM BladeCenter Modules # 🙀 IBM FlasSystem Chazulab) and Modules		😵 Critical		\$1#Y0348616F	8721HC1	IBM Flex Chassi	9,125.90,129	@ Healthy
With Play System Chappings								
Issk Status Issk Stat								
BM FitzSystem Chassis 900 MinUes BM FitzSystem Chassis 900 MinUes BM FitzSystem Chassis Monogeneric Modules BM FitzSystem Chassis Rower(Modules BM FitzSystem Chassis Rower(Chaster) BM FitzSystem Chassis Rower(Chaster)								
a Californian vand riteria finds tanen	*	4						

図 75. IBM Flex System シャーシの確認

 Flex システムのノードが Operations Manager によって正常に検出されたことを 確認するには、「モニター (Monitoring)」 > 「IBM ハードウェア (IBM Hardware)」 > 「IBM Flex System シャーシ・モジュール (IBM Flex System Chassis Modules)」 > 「IBM Flex System シャーシ計算ノード (IBM Flex System Chassis Compute Nodes)」を選択します。

. 4	IBM Flex System C	hassis Comput	te Nodes (15)				
-	Lock for:			Find Now	Clear		
	State	Ø Ma	Display Name			IBM Rex System Madule Description	1
	 Healthy Healthy 		9.125.90.129_Norie Bay 9 - 9.125.90.129_Norie Bay 9 -	Node 090 <part node<="" of="" td=""><td>Bay 7,8></td><td>Fiex System x240 Compute Node (Ty</td><td></td></part>	Bay 7,8>	Fiex System x240 Compute Node (Ty	
и	Healthy Healthy		9.125.90.129 Node Bay 7,8 9.125.90.129 Node Bay 6 -	- Node C7 () «Part of Node	lev 5 file	Firs System s440 Compute Node (Ty	l
í.	() Healthy		9.125.90.129_Node Bay 5,6	- Node (05 ()		Flex System >440 Compute Node (Ty	l-
	Heathy Heathy		0.125.00.129. Mode Ray J. 5.125.00.129. Mode Ray J. 5.125.00.129. Mode Ray J. 5.125.00.129. Mode Ray 14 5.125.00.129. Mode Ray 14 5.125.00.129. Mode Ray 16 5.125.00.129. Mode Ray 16 5.125.00.129. Mode Ray 16 5.125.00.129. Mode Ray 16 5.125.00.129. Mode Ray 10 5.125.00.129. Mode Ray 20 5.125.00.129. Mode Ra	<pre>cPart of Node = Node EB () <empty> = dempty> = demp</empty></pre>	80934>	Flex System x446 Compute Node (*) Flex System x222 Compute NodeC Flex System x222 Compute NodeC	a.
~	e					_	_
>	Detail View						
	BM Firs Sy	stem Chassis G	ompute Node properties of 9	125.90.129 No	ste Ray 5,6	-Node 05 0	
	Display Name Pull Path Name		9,123,9	0.129_Node 5a	3.6 - Node 125.90 129	05 0 5.125.50.129 Node Bay 5.6 Node 05 0	
		IBM Res System C A Lock for Data A Lock for Detailly A Heathy Heathy	IMM Res System Chassing Computer More and the System Chassing Computer Parts Presthy	IM Res System Chanse Computer Nation (15) Quark for State (Multic National State) Of Teaching (State)	IMI Res System Chanics Computer Nacies (15) Find Nove Quark for: Find Nove Find Nove 2 Treathy SL155 KL123 (Note Bay 5 - Note 07) Find Nove 2 Finathy SL155 KL123 (Note Bay 5 - Note 07) Find Nove 2 Finathy SL155 KL123 (Note Bay 5 - Note 07) Find Nove 2 Finathy SL155 KL123 (Note Bay 5 - Note 07) Find Nove 2 Finathy SL155 KL123 (Note Bay 5 - Note 07) Find Nove 2 Finathy SL155 KL123 (Note Bay 5 - Note 07) Find Nove 2 Finathy SL155 KL123 (Note Bay 5 - Note 07) Find Note 05 2 Finathy SL155 KL123 (Note Bay 5 - Note 05) Find Note 05 2 Finathy SL155 KL123 (Note Bay 5 - Note 05) Find Note 05 2 Finathy SL155 KL123 (Note Bay 5 - Note 05) Find Note 05 2 Finathy SL155 KL123 (Note Bay 1 - Ortopo) Finathy 2 Finathy SL155 KL123 (Note Bay 1 - Ortopo) Finathy 2 Finathy SL155 KL123 (Note Bay 1 - Ortopo) Finathy 2 Finathy SL155 KL123 (Note Bay 1 - Ortopo) Finathy 2 Finathy SL155 KL123 (Note Bay 1 - Ortopo)	IMM Res System Channel Computer Robellis (15) Image: Computer Robellis (1	IMM The System Charine Compute Noder (15) Ide System Node Compute Noder (15) Ide System Noder (15) Ide System Noder (15) Ide System Node Compute Noder (15) Ide System Noder (15)

図 76. IBM Flex System シャーシ計算ノードの確認

 ターゲット Flex システムが Operations Manager によって検出されたことを検証 するには、「モニター (Monitoring)」 > 「IBM ハードウェア」 > 「IBM ライ センス・システム・グループ (IBM Licenses System Group)」を選択します。
 ターゲット Flex システムが Operations Manager によって検出されていない場合 は、71 ページの『Operations Manager によって管理される IBM システムの追 加』 を参照してください。

Search * . : By Scope (Joi Hod) (L3 Tasks					
Monitoring	4	IBM Licensed Syste	m Group (3)		
🏂 Tesk Status	-	Q Leos for:		End New Clear	
test power cheft	L	State .	2 Name	· IDM HW/ Management Lineared System	- BM Eleton
1 UNIXLINUX Computers					-
Windown Computers	=	Cirbcal	LING-HV-TIGER.SCOMHZ804.net	255.0	Bace
Agentiess Diception Montomg		@ Heathy	WINDOWS NICHEFET, SCOMROXEA AN	t 255.0	Compute N
Application Monitoring	1	@ Heathy	WIN-HEFR/RL4K38.scoMR286Anet	255.0	Compute N
Dete Warehouse					
A G IDM Hardware					
Pri DM Licensed System Greup	4				
IDM Systemic PowerData Chart					
DM Unitionsed System Group					
TESK STRIDUS					
Mandows Computers ForrManaging IBM Ukense					
Prindows Computers on IBM System condepise Dade Serves					
 Implementation and Medular 					
Address Address					
Tech Debe a					
Talk State One Did Diade Control					
The second for investigation of the second s					
Service of the servic	¥	21			1.1
(III)			-		
Shew or Hide Viewow		Detail View			*
New Mex +					
	_	D Windows Co	omputer on IDM System properties of WIN	DOWS-NCHIPET.SCOMIE2804.net	
Monitoring		Display Name	WINDOWS-NCHKPET	TSCOMR2064.net	
	-	Full Path Name	WINDOWS NCHIPE	TSCOMP2064 and	
Authoring		DNS Name	WINDOWS NCHICE	ISCOMR2864.met	
/2A		statting Committee	where we	•	

図 77. IBM ライセンス交付を受けたシステム・グループの例

 「モニター (Monitoring)」 > 「IBM ハードウェア」 > 「IBM System x およ び x86/64 ブレード・サーバー (IBM System x and x86/64 Blade Servers)」 > 「IBM x86/64 Flex OOB-IB リフレクション・グループ (IBM x86/64 Flex OOB-IB Reflection Group)」を選択します。 OOB-IB リフレクション情報が表 示されます。

注: Flex シャーシおよび Flex システムが検出されたあと、OOB-IB リフレクションを設定するために時間がかかる場合があります。

fonitoring	< IIM)	x86/x64 Flex 00	B-IB Reflection Group (2)			
2 Task Status	- 91	Look for:		Find Now	Clear	
11 Windows Computers for Managing BM Liense	ON	faintenance Mod	le Path			Name
Windows Computers on IBM System x or x86/x64 Blade Servers	-		WINDOWS NCHRPET.SI	OMR2104.netWINDON	VS NCHRPET.SCOMR2XM.net	OOB IB Her Into
Ber Badadicketter(i) sind Mixabes Ber System Franciski und Mixabes Active Arietts for IBM Software for HMM Agrit Active Arietts Active A			WWW-HROPR79LIKESCO	MR2066	78L4K3B.SCOMR2X64.vet	008-IB Reciefu
Test Status Test Status Unde sinned BM System x on 2050/091 Blade Servers With the Components of IBM System x on 2050/061 Blade Serve Autowater Components of IBM System x on 2050/061 Blade Serve	× e					
	De	tail View				
how or Hide Views	- De	Call VICIN				
iew View a	6	IBM xM/x64 C	MM OOB Reflection properties of	TOOB-IS Flex Info		
Monitoring	Dis	iplay Name Il Path Name	008-IB Flex Info WINDOWS-NCHIPELS	COMR2864et/WINDO	WS-NCHRPETSCOMR2864.net (C	ampute Node)
	185	A Sesterrit CMM C	Cill Name 8,125,92,129 Node Ba	y 5.6 - Nocie 05 0-8.125.5	0.129	
Authoring			the second s			
Authoring	18.5	Detected	True			

図 78. IBM x86/64 Flex OOB-IB リフレクション・グループの例

Flex システムのリモート電源オン/オフの使用

Flex システムのリモート電源オン/オフのプレミアム・フィーチャーが使用可能になっている場合、このタスクは Operations Manager コンソール の「アクション」ペインから利用できます。このフィーチャーによって、IBM Flex システムをリモート 側で制御し、オペレーティング・システムの電源オン、電源オフ、またはシャット ダウンを実行することができます。

このタスクについて

このタスクは、Operations Manager コンソールから実行します。

手順

- 「モニター (Monitoring)」 > 「IBM ハードウェア」 > 「IBM Flex System シャーシおよびモジュール (IBM Flex System Chassis(s) and Modules)」 >
 「IBM Flex System シャーシ・モジュール (IBM Flex System Chassis
 Modules)」 > 「IBM Flex System シャーシ計算ノード (IBM Flex System
 Chassis Compute Nodes)」を選択します。
- 2. Operations Manager コンソールの右側にある「アクション」ペインで、選択した Flex システムについて以下のいずれかのオプションを選択します。
 - IBM.FlexSystem.PowerOn.Blade:

電源オフ

IBM.FlexSystem.PowerOff.Blade:

電源オン

IBM.FlexSystem.SoftPowerOff.Blade:

ソフト電源オフ

次の図は、IBM Flex System シャーシ計算ノードの例です。

je ich yen ich Inde Look Hep jeant * . it is bage Piege O	. 9 au		
lenitoring	IBM Flex System Chassis Compute Nodes (1	5)	+ Tasks
Horizon Strain Case Horizon Strain Case Horizon Consultor for Horizon Jan Horizon Conjuntor for Horizon Jan Horizon Conjuntor for Horizon Jan Horizon Conjuntor and Horizon Horizon Conjuntor and Horizon Horizon Consultor and Horizon Horizon Consultor and Horizon Hor	Q. (and for Data Data	Ind Name Cleve 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 23 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 24 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 25 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 25 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 25 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 25 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 25 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 25 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 25 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 25 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 25 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 25 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 25 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 25 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 26 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 27 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 28 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 29 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 29 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 29 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 29 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 29 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 20 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 20 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 20 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 20 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 20 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 20 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 20 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 20 Yook Bay - Hock 00 () Per System of 20 Yook 00 () Pe	
Anno or Filde Views Inn View A	BM Flex System Chassis Compute Nor Display Name	de properties of 9, 125, 90, 125, Node Bay 7,8 - Node 07.0 9, 125, 90, 129, Node Bay 7,8 - Node 07.0	Artwork (Vinue) Vinity Dertowed Entropy Vinity Dertowed
Monitoring	Pull Path Name	Starropargiciterosal-e 125.80.129 19.425.50.129 Mode Bay 7.8 - Node 67 0 Piles System xHID Compute Node (type 7917AC1) 1917AC1 23WTV62	IBM Flex System Chassis Compute Node Tasks A
My Workspace	BM Fies System Wodule PartNumber BM Fies System Wodule TRUNumber BM Fies System Wodule TRU S/N BM Fies System Wodule Bay(s) BM Fies System Charact UUIS	999439 8094237 11308G1CM02A Node Bay 7	BM./Redystem.PowerOff.State BM./Redystem.PowerOnlibate BM./Redystem.StatewordNibate

図 79. IBM Flex System シャーシ計算ノードのリモート電源オプションの例

3. 例えば、右下のペインにある IBM Flex System シャーシ計算ノード・タスク・ リストから電源オン・オプションを使用するには、

「IBM.FlexSystem.PowerOn.Blade」を選択します。 「タスクの実行 -

IBM.FlexSystem.PowerOn.Blade」ウィンドウが表示されます。ターゲットのサーバーとアカウントはデフォルトで選択されます。

	🥹 Help
Run the task on these targets	
Target	Run Location
전 3.123.30.123_Hode Bay 7,8 - Hode 07 ()	3163016
Task Parameters	
Name	Value
Override	Task description
Override Task credentials ① Use the predefined Run As Account	Task description
Override Task credentials • Use the predefined Run As Account • Other : Use remaining	Task description
Override Task credentials Use the predefined Run As Account Other: User name : Parsent Parsent Parsent	Task description
Override Task credentials Use the predefined Run As Account Other : User name : Password : Domain Contact Tasks 	Task description
Override Task credentials • Use the predefined Run As Account O Other : User name : Password : Domain :	Task description
Override Task credentials Use the predefined Run As Account Other: User name : Password: Domain : SCOMR2464 Task confirmation	Task description
Override Task credentials Use the predefined Run As Account Other : User name : Password : Domain : SCOMR2454 Task confirmation Don't prompt when running this task in the future	Task description

図 80. Flex システムのリモート電源オン・タスクのウィンドウ

4. 「実行」をクリックしてタスクを起動します。

電源オン・タスクが完了すると、そのタスクの状況が表示されます。

he task completed s	uccessfully.					😧 Help
Task		Status	Task Ta	arget		
⊘18M.FlexSystem	PowerOn.Blade	Success	9.125.	90.129_node bay 3,4 - n	ode	
ask Output					Copy Text	
IBM.FlexSy	stem.PowerOn.	Blade		Task Description		
Status:	Success					
Scheduled Time:	4/23/2013 11:2	21:27 AM				
Start Time:	4/23/2013 11:2	21:27 AM				
Submitted By:	SCOMR2X64\a	dministrator				
Run As:						
Tarnet:						
Target Type:	IBM Flex Syste Node	m Chassis Com	pute			
Category:	Operations					
Task Output:						
Output						
ModuleType *	BLADE	a //				
bayNumber =	3	-				
the second s	1- 1 3 6 1	4.1.2.3.51.	2.22.1.6	1.1.7.9; Data: 1		

図 81. リモート電源オンのタスク状況

注: プレミアム・フィーチャーが使用可能なっていないと、このタスクは失敗します。次の図に示されているように、IBM Hardware Management Pack の無料バージョンが使用されていることを示すメッセージが「タスクの出力」セクションに表示されます。

8 IBM.FlexSystem.PowerOn.Blade	Status Failed	Task Target 9.125.90.129_node bay 3,4 - node
ask Output		Copy Text 🕒 Copy HTML
The necessary IBM License fe for Managing IBM Flex Chassis	ature level is s.	s not installed on Windows Computer
The feature you ran requires	feature leve	l 4.0 or higher.
The feature you ran requires to take advantage of premium	feature leve n features, p dows\system	l 4.0 or higher. please contact your IBM representative. n32\cscript.exe" /nologo
The feature you ran requires to To take advantage of premium Command executed: "C:\Wind "IBMFlexChassisPowerOnOffM "0" "161" "USERID" "SHA" "Pa	feature leve n features, p dows\systen odule.vbs" " ssw1rd" "No	I 4.0 or higher. please contact your IBM representative. n32\cscript.exe" /nologo 'BLADE" "9.125.90.129" "Node Bay 3" "" one" == "" "3" == ""
The feature you ran requires to To take advantage of premium Command executed: "C:\Wind "IBMFlexChassisPowerOnOffM "0" "161" "USERID" "SHA" "Pa Working Directory: C:\Program Manager\Server\Health Servic \	feature level n features, p dows\system odule.vbs" " ssw1rd" "No n Files\Syst ce State\Mon	I 4.0 or higher. please contact your IBM representative. n32\cscript.exe [#] /nologo 'BLADE" "9.125.90.129" "Node Bay 3" "" one [#] == ** "3" ** "" em Center 2012\Operations nitoring Host Temporary Files 587\9375

図 82. ライセンスがインストールされていないために電源オンが失敗したことを示すタスク状況

5. タスク状況ウィンドウを終了する場合は、「閉じる」をクリックします。

IBM Flex System シャーシ Web コンソールの起動

Flex System Web コンソールを起動するためのプレミアム・フィーチャーが使用可 能になっている場合、このタスクは Operations Manager コンソール の「アクショ ン」ペインから利用できます。この機能を使用すると、Operations Manager コンソ ール の内部にあるリンクを使用して、Flex System シャーシ Web コンソールを起 動できます。

このタスクについて

このタスクは、Operations Manager コンソールから実行します。

手順

- 「モニター (Monitoring)」 > 「IBM ハードウェア」 > 「IBM Flex System シャーシおよびモジュール (IBM Flex System Chassis(s) and Modules)」 > 「IBM Flex System シャーシ (IBM Flex System Chassis(s))」を選択します。
- 2. ターゲット Flex System シャーシを選択します。
- Operations Manager コンソールの右側にある「アクション」ペインから「IBM Flex System シャーシ管理 Web コンソール (IBM Flex System Chassis Management Web Console)」を選択します。

	IBM Flex System Chassis(s) -	- SC2012Second - Operations Manager	- 0
Ble Bilt Kew Go Teeks Jools Belp Search* , 1 Scope Prod C1			
Sensiti *	IBM Fire System Chesishipi (2) G. post for Date - (2) Englay Hame I (2) Critical System (2) Crighty Market (2) Critical System (2) Critical I (2) Fandhy StateColor, 0	End Now Char Decoption 1011 Hot Synka. Decoption 10219101 (Biol Tex-Charais Management Middle 10219101 (Biol Tex-Charais Management Middle	Tasks T
BM Floc Spriter Chansis Couling Mobile BM Floc Spriter Chansis FanNus Michael BM Floc Spriter Chansis Fish BM Floc Spriter Chansis Fish	C 20 Detail View		Image: State View Image: State View
Now to Heekee Now there > Marketing Authoring Authoring Comparison Com	BM Res System Chassis properties of Diplays Name Hui Path Name Access Woole Cestification Devolption Devolption Devolption Devolption Model	ef ShirYEBABGUREU-ALTES,252.85 ShirYEBABGUREU-ALTES,252.85 ShirYEBABGUREU, ANTES,264,253.25 ShirYEBABGUREU, ALTES,264,27 ShirYEBABGUREU, ALTES,264,27 ShirYEBABGUREU, ALTES,27 ShirYEBABGUREU, ALTES,27 Na Localian Configurei	Start Table Table All Andread Table Table All Barrier Table Table All Barrier Table T
erete	Port Number Primary Owner Contact Ministri Owner Nome	161 Ke Yue	Tierret Console

図 83. IBM Flex System シャーシ管理 Web コンソールの起動の例

4. 「このサイトの閲覧を続行する」を選択して、この Web サイトを信頼します。

There is a problem wi	ith this website's security certificate.
The security certificate pre	esented by this website was not issued by a trusted certificate authority.
Security certificate probler server.	ms may indicate an attempt to fool you or intercept any data you send to
We recommend that you	u close this webpage and do not continue to this website.
Click here to close this	webpage.
Scontinue to this websit	te (not recommended).
More information	

図 84. IBM Flex System シャーシ管理 Web コンソールを開く際の認証エラー

Flex System シャーシ Web ページがご使用ブラウザーで信頼されていない場合、CMM 構成が正しければ、このページは消えて、CMM Web コンソールがデフォルト・ブラウザーで開きます。



図 85. CMM Web コンソールのロード

CMM Web コンソールが正常にロードされると、以下のウィンドウが表示されます。

		*
💬 🗇 🖉 settpe://9.12530.129 🖉 + 🤮 Cer 🗟 G 🦉 Log In	×	n 🖈 👳
Back to Certificate Error: Navigation Blocked (At+Left)		
IBM Chassis M	ananement Module	
IDM GIIdSSIS MI	anagement woodle	
	User name:	
	cutivnames	
	Password:	
	<pre>cpassward></pre>	
	Inactive session timeout	
	nu timeout -	
	Use automatic refresh	
	no refresh -	
	Log In	
Licensed Haterials - Property of IB trademark of the IEM Corporation i	M Carp. (2) IBM Corporation and other(s) 2013. IBM is a registered in the United States, other countries, or both.	

図 86. CMM Web コンソール

- 5. CMM コンソールにログインするには、以下の手順に従ってください。
 - ユーザー名およびパスワードを入力します。
 - 「対話式セッション・タイムアウト間隔 (Iteractive session timeout interval)」を選択するか、またはデフォルト値 *no timeout* を使用します。
 - ・ 自動更新を選択するか、またはデフォルト値 no refresh を使用します。
 - 「ログイン (Log In)」をクリックします。



図 87. CMM コンソール

IBM Flex System シャーシ FSM の検出

IBM Flex System Manager (FSM) システムを検出するためのプレミアム・フィーチャーが使用可能になっている場合、「IBM Flex System シャーシ FSM の検出 (Discovering an IBM Flex System Chassis FSM)」タスクが Operations Manager コ ンソールの「アクション」ペインに用意されています。この機能を使用すると、 Operations Manager コンソール で FSM システムを検出および管理することができます。

このタスクについて

このタスクは、Operations Manager コンソールから実行します。

手順

 「モニター (Monitoring)」 > 「IBM Flex System シャーシ・モジュール (IBM Flex System Chassis Modules)」 > 「IBM Flex System シャーシ FSM (IBM Flex System Chassis FSM)」を選択します。 結果ペインに、すべての IBM Flex System シャーシ FSM のリストが表示されます。

2			IBM Flex System Chassis	FSM - SC20125	econd - Operations Manager	
File Edit View Go Tasks Tools Help	Tasks					
Saarch [®]	< HEM	÷ Flex Syste Look for: t	m Chassis FSM		Find Now Clear IBM Flet System Medule Description	ک Sta الا الا الا الا الا
Ind. States To Flow The System Charlos of Werkers Comparators for Analogical (IDM The System Werkers System Charlos States) Werkers System Charlos Teachers Werkers System Charlos Teachers Werkers Werkers System Charlos Teachers Werker	_ <	etail View				> *

図 88. IBM Flex System シャーシ FSM の例

- ターゲット FSM がリストに含まれていることを確認します。 ターゲット FSM がリストに含まれていない場合は、以下の手順を実行して、FSM を含む Flex シ ステム・シャーシが検出されていることを確認してください。
 - a. 「モニター (Monitoring)」 > 「IBM Flex System シャーシおよびモジュー ル (IBM Flex System Chassis(s) and Modules)」 > 「IBM Flex System シ ャーシ (IBM Flex System Chassis(s))」 > 「IBM Flex System シャーシ (IBM Flex System Chassis)」を選択します。 結果ペインに、IBM Flex System シャーシとその状況が表示されます。
 - b. IBM Flex System シャーシを選択し、右側にある「アクション」ペインから 「ノード (Node)」タスク: 「IBM Flex シャーシ: このシャーシのモジュール を更新」を実行します。 ターゲット FSM システムが検出され、IBM Flex

System シャーシ FSM にリストされます。

Ge _det ⊻ew ⊈o Tady Iook ∐ekp Search*,]\$# Scape ₽ Mage @1	IBM Flex System Chausis	SC2012Second Operation Operation	tions Managor	
Manitaring Manita	IBM Files System Chessis(d) (2) Check for: State - (3) Display Name Concel SN#V2540C16C Concel SN#V2540C16C	End New IBM Flee Syste Description (22111C1 IDM Flee Cha 1971HC1 IBM Flee Cha	Clear BM F stril Monagement Module 8135 aniti Management Module 8115	+ Tasks
A citika Alim Schulter Charantija Alikolaki Activa Alim Schulter Charantija Activa Alim Schulter Charantija Activa Alim Schulter Charantija Activa Alim Schulter Charantija Activa Alim Activa Alim Schulter Charantija Activa Alim Activa Alim Schulter Charantija Activa Alim A	c N Detail View		>	Hush Equie Necytotic Anno Annono Anno Anno Annono Anno Anno Anno A
Recent Hitter Viteru. Nor Vitor 4 Athening Anhening Anhening My Workspace	Both Test System Chamb ampert Display Name Null Holt Name Accoss Mode Certification Certification Device Ray Icourism Model Rymay Chambre Rymay Consect System Syst	Inn of SNAM33406/70013-A.115.25 Sham33466/17 SNAM33466/17 SNAM3466/17 SNAM3466/17 SNAM346/17 SNAM347 SNAM347 Nam34	23.6 0013-0.115.232.26 Wolt-0.115.232.26 Uk Management Matule antigured	Internative Valenty Derstaand Inter Task Annue Valenty Derstaand Internative Valenty Derstaand Internative Valenty Derstaand Valenty Internative Valenty Derstaand Valenty Valenty Derstaand Valenty Valenty Valenty Derstaand Valenty Valenty Valenty Derstaand Valenty Valenty Valenty Valenty

図89. シャーシのモジュールの更新

IBM Flex System シャーシ FSM Web コンソールの起動

IBM Flex System シャーシ FSM Web コンソールを起動するためのプレミアム・フィーチャーが使用可能になっている場合、このタスクは Operations Manager コンソールの「アクション」ペインから利用できます。このフィーチャーによって、 Operations Manager コンソールの内部にあるリンクを使用して Flex シャーシ Flex System Manager (FSM) Web コンソールを起動できます。

このタスクについて

このタスクは、Operations Manager コンソールから実行します。

手順

- 「モニター (Monitoring)」 > 「IBM Flex System シャーシ・モジュール (IBM Flex System Chassis Modules)」 > 「IBM Flex System シャーシ FSM (IBM Flex System Chassis FSM)」を選択します。
- 結果リストでターゲット IBM Flex System シャーシ FSM を選択し、Systems Center Operations Manager (SCOM) コンソールの右側にある「アクション」ペイ ンで、「タスク」リストから「FSM IP アドレスの設定」を選択します。



図 90. SCOM コンソールからの FSM IP アドレスの設定例

3. 「タスクの実行 - FSM IP アドレスの設定」ウィンドウで「指定変更 (Override)」をクリックします。

tun the task on	these targets		_
Target ☑ 9.115.252.28	Node Bay 10 - Node 10	Pun Location 9.115.252.28	
ask Paramete			-
		Value	-
Name		1.000	
Name FSMIPaddeos		\$T arget/Property(Type="ISM RexSystem.FSM")/F	-
Nane FSMIPaddecs Override		\$T arget/Property(Type="IBM FlexSystem.FSM")/F	la.
Nane FSMIPaddecs Dvenide sk credentials		\$T aget/Property(Type="IBM FlexSystem.FSM")/F	
Nane FSMIPaddeos Dvenide sk credentials Use the prede	fined Run As Account	\$T arget/Property(Type="18M RexSystem.FSM")/F Task description Set FSM IP Address	har
Nane FSMIPaddeos Dvenide sk credentials E Use the prede Other: User name	fined Run As Account	\$T arget/Property(Type="IBM FlexSystem.FSM")/F Task description Set FSM IP Address	he .
Ovenide Ovenide Sk credentials Use the prede Other: User name: Present	fined Run As Account	\$T arget/Property(Type="IBM FlexSystem.FSM")/F Task description Set FSM IP Address	
Name FSMIPaddless Dvemide sk credentials Use the prede Other User name Password	fined Run As Account	\$T arget/Property(Type="IBM FlexSystem.FSM")/F Task description Set FSM IP Address	La.
Nane FSMIPaddess SMIPaddess Ovenide sk credentials Use the prede Other : User name : Password : Domain :	fined Run As Account	Task description Set FSM IP Address	

図 91. 「タスクの実行 - FSM IP アドレスの設定」ウィンドウ

「タスク・パラメーターのオーバーライド (Override Task Parameters)」ページが 表示されます。

	Override Task Parameters				
erride the task paramet	ers with the new value				
Name	Type	Default Value	Mew Value		
FSMIPaddress	string	\$Target/Property{Type='18.	123.123.123.123		
			Ovenide Cano		

図 92. FSM IP アドレスの指定変更例

- 4. 新しい値 (New Value)」フィールドに、ターゲット FSM の正しい IP アドレス を入力し、「オーバーライド (Override)」をクリックします。 FSM IP アドレ スは、Flex System シャーシ Web コンソールから入手できます。
- 5. 「タスク FSM IP アドレスの設定」ウィンドウで「実行」をクリックします。 タスク状況が示されている「FSM IP アドレスの設定」ウィンドウが開きます。



図93. タスクが正常に完了したことを示す「FSM IP アドレスの設定」のタスク状況

6. 「閉じる」をクリックします。

	IBM Pies System Chassis PSM - neo45 - Operations Manager	- 0
De Las Yes de Tess June Hep Gener.* . La boige (2006) (210)	20.	
Heatering	Bild Ros Speter Charact HM (1) Case Case	
Dense of Pillet Views		T Be for Designment to SMs hundres and Sets
Numbers	Detail View	Set Marken
advantage	Digital Verse 8,118,253,26, Note Ray 10-18468 10	Agent Counts by Date, Management Group and Yessim

図 94. SCOM コンソールからの FSM Web コンソールの起動例

 「アクション」ペインから「IBM Flex System シャーシ管理 Web コンソール (IBM Flex System Chassis Management Web Console)」を選択します。

Operations Manager がデフォルト・ブラウザーに FSM Web コンソールを開きます。



図 95. FSM Web コンソールのログイン・ページ

第6章 Hardware Failure Management の操作

このセクションのトピックでは、IBM ハードウェア製品を管理するため、どのよう に IBM Hardware Management Pack で RAS 機能が拡張されているかについて説明 します。

Hardware Management Pack には、以下の機能が用意されています。

- Integrated Management Module のディスカバリーと、それをホストと相互に関係 させる機能。
- IMM の認証と、IMM CIM による情報の取得。
- IMM の削除。
- 電源管理の実行。
- 予測障害アラート・ポリシーを IMM に設定。

注: この機能は、SCOM 2012 およびそれ以降のバージョンでのみ動作します。 SCOM 2007 R2 では使用できません。

Operations Manager コンソールによるモニター

このトピックでは、Hardware Failure Management を実行するために、IBM Hardware Management Pack がインストールされている Operations Manager コンソ ールをどのように使用するかについて説明します。

このタスクについて

Operations Manager コンソールの「モニター (Monitoring)」ペインと、IBM Hardware Management Pack で追加されたフィーチャーについて詳しく理解するに は、以下の手順に従ってください。

手順

フィーチャーを有効にするための手順:

- 1. IMM ディスカバリー SLP
- 2. IMM 認証およびインベントリー CIM

IMM ディスカバリー

IMM2 ノードを検出するために、Hardware Management Pack は System Center Operations Manager タスクを使用します。

手順

 画面の右側にある Operations Manager コンソールで、「Windows コンピュータ ー (Windows Computers)」を選択します。 中央のペインに、IBM Integrated Management Module Discover コンソールが表示されます。

	Windows Computers - SC2012Demo1 - Operations Manager	- 0 ×
File Edit View Go Tasks Tools Help Search * , Scope Prind V Task	0.	
Menitaring Menitaring Menit	Windows Computers (ii) Find Now Clear State Name Agent MultiDVDr-NCHRPET SCOMR2X64 net MultiDVDR-NCHRPET SCOMR2X64 net<th></th>	
Show or Hide Views New View > Methodogo Administration My Workspace	Detail View Bill Windows Computer properties of WWIDOWS NCHRPET.SCOME2864.net Design Name WWIDOWS NCHRPET.SCOME2864.net Full Fisch Same WWIDOWS NCHRPET.SCOME2864.net DOS Name WWIDOWS NCHRPET.SCOME2864.net DOS Name WWIDOWS NCHRPET.SCOME2864.net NetBIOS Computer Name WWIDOWS-NCHRPET.SCOME2864.net NetBIOS Computer Name WWIDOWS-NCHRPET.SCOME2864.net IP Adorsis WWIDOWS-NCHRPET.SCOME2864.net	Windows Computer Tasks

図 96. IMM Discover コンソール

 画面の右下にある「Windows コンピューター・タスク (Windows Computer Tasks)」セクションで、「IBM Integrated Management Module Discover」を選 択します。「IMM Discovery」ページが表示されます。
E	IMM Discovery(Licensed)	_ _ ×
IMM Discovery		IBM.
Select a discovery option: IPv4 Address IP Address <u>192.168.100.1</u>	Add>> Delete	
		Discover

図 97. IMM ディスカバリー

- 3. デュアル・リストを使用して、以下の手順で IMM ディスカバリー・リストを 作成します。
 - a. 左側で、リストから 2 つのディスカバリー・オプションのいずれか (IPv4Address または IPv4Range)を選択します。
 - b. 「IP アドレス」フィールドに、IPv4Address または IPv4Range を入力します。
 - c. 「追加」をクリックします。
 - d. 「ディスカバー」をクリックします。

このタスクがすべての IMM を検出するまで、また Operations Manager が検出 済みデータの照会を実行するまで、数分かかる場合があります。

		IBM Integrat	ed Managem	ent Module (IMM)	- SCOM2012CN	- Operations Ma	inager		_ 0 ×
<u>File Edit View Go Tasks Tools Help</u>									
Search 👻 💡 👫 Scope 👂 Find 🖸 Task	0.								
Monitoring 4	IBM Integrated	Management Mo	dule (IMM) (32)						Tasks
Active Alerts	Look for:			Find Now	Clear				
Discovered Inventory	IP .	- UUID	▲ Model	A Serial Number	IMM Authentic	Last Dicovery		^	
III Distributed Applications	9.119.46.201	1012876A4B861	8722AC1	23D4923	Failed	2013-11-19 04:5			State Actions
嚢 Task Status	9.119.46.21	AØBC45D83CC.	. 8722AC1	23D4794	Failed	2013-11-19 04:5	_		Start Maintenance Mode
100 UNIX/Linux Computers	9.125.90.117	E144AA664EAE.	7917AC1	23WTV62	Failed	2013-11-19 04:5			Edit Maintenance Mode Settings
1 Windows Computers	9,125,90,12	474DE1223D651		23D4791	Failed	2013-11-19 04:5			No Stop Maintenance Mode
Agentiess Exception Monitoring	9 125 90 124	714906900814	7903AC1	NANC007	Failed	2013-11-19.04-5			Demonalize view
Application Monitoring	9 125 90 125	20202020202020202	8722-0.0		Eniled	2013-11-10 04-5			
Data Warehouse	0.125.00.12	160010260047	72924.01	0644067	Failed	2012 11 10 04.5			Navigation ^
Ga IBM Hardware	0.115.00.107	4504000000	7000AC1	NAME OF	railed College	2013-11-19 04.5			Alert View
IBM Integrated Management Module (MM)	9.123.90.137	A3C44000933F		19493000	Falled	2013-11-19 04:5			
IBM Licensed System Group	9.125.90.147	DD8FEF28D62E.		UDKRIVISP	Failed	2013-11-19 04:5		=	Chagram view
022 IBM System x Power Data Chart	9.125.90.166	2930660490061	7382AC1	UBADNG2	Failed	2013-11-19 04:5			1.2 Event View
IBM UnLicensed System Group	9.125.90.18	EFDC1E92B2E7.	546025Z	06CNZ14	Failed	2013-11-19 04:5			Performance View
Me Task Status	9.125.90.185	890F7C8BB41B.	546025Z	06CNZ14	Failed	2013-11-19 04:5			III State View
Vindows Computers for Managing IbM Derse	9.125.90.193	807B2FA0D4FC	5458ac1	1111111	Failed	2013-11-19 04:5			Network Vicinity Dashboard
IBM PladeCenter(c) and Mockier	9.125.90.239	A4D4CB4900CB	7912AC1	23NLW22	Failed	2013-11-19 04:5		-	
h BM Fley System Charsis (c) and Modules	9.125.90.24	3719D021C9441	258242Z	0622444	Failed	2013-11-19 04:5			Tasks
b BM Integrated Management Module IMM	9.125.90.254	8967288A22531	5455FH2	0644961	Failed	2013-11-19 04:5			Entity Properties
BM System x and x866x64 Blade Servers	9.125.90.26	7823D58E27931	7158AC2	06Ngtdr	Failed	2013-11-19 04:5			A Health Explorer
Microsoft Audit Collection Services	9.125.90.29	A34974F026E01	7158AC1	06NTR29	Failed	2013-11-19 04:5			-
Microsoft Windows Client	9.125.90.33	428F38EAD717.		06KRMSM	Failed	2013-11-19 04:5			Tasks
Microsoft Windows Sever	9.125.90.35	57797DC15888.	. 7906F2Z		Failed	2013-11-19 04:5			Authenticate IMM
Network Monitoring	9.125.90.37	000000000000000000	adrmd	1234567	Failed	2013-11-19 04:5			Prover Management
Operations Manager	9,125,90,38	54689995A8EE1		06CNZ14	Failed	2013-11-19.04:5			
Synthetic Transaction	9 125 90 42	0000000000000	2027/07	1224567	Eniled	2012-11-19 04-5			L Remove IMM
Distribution Computers	0.135.00.49	0000000000000	AND	1234567	Falled	2012 11 10 045			
Web Application Transaction Monitoring	0.125.00.46	51640500000000		1234307	Falled	2013-11-19 04:5		×	
👂 🙀 Windows Service And Process Monitoring 🧠 🦷	Detail View							~	
< III >	Detail field								
Show or Hide Views	🗊 propertie	s of 1012876A4B8	511E1BB55E41F1	3DA1132				^	
New View >	Display Name	10	12876A488611E1	BB55E41F13DA1132					
	Full Path Nam	e 10	12876A4B8611E1	BB55E41F13DA1132					
Monitoring	UUID	10	12876A488611E1	BB55E41F13DA1132					
Authoriza	Enable Power	Poll Fa	lse						
/ Automig	Manufacturer	97	12461						
Administration	Part Number	67	CEPIC I						
T Malana	Serial Number	23	D4923						
um my workspace	Number Of Po	wer Transitions 0							
	Number Of Re	boots 0						~	
Pende	IP	9.1	19.46.201					-	

図 98. 統合管理モジュール

ディスカバリーの後、IMM ノードには「IBM Integrated Management Module」 ペインが表示されます。

 画面の「タスク (Tasks)」セクションで「IBM Integrated Management Module」を選択します。 「電源管理」や「IMM の認証」といった、対応する タスクが表示されます。

「IMM 認証」ダイアログ・ボックスが開きます。

•	_ _ ×
IMM Authentication	IBM.
Please enter username and pass	sword, and you will have less than twice to try!
User name :	
Password :	
	Connect Cancel

図 99. IMM 認証

5. ユーザー名およびパスワードを入力し、「接続」をクリックします。 IMM セキ ュリティー・ポリシーによる制限のため、プログラムは、ユーザー名とパスワー ドの認証を 2 回だけ試みます。正しくない試行が 2 回続くと、IMM ログイ ン・ユーザー名はロックされます。

電源管理

検出された Integrated Management Module (IMM) は、基本的な電源管理フィーチャ ーをサポートします。このフィーチャーは、ラック・タイプのサーバーのみサポー トします。 BladeCenter および Flex システムの電源キャッピングは、Advanced Management Module (AMM) および Chassis Management Module (CMM) で統合さ れています。

手順

1. IMM インスタンスを選択してから、「タスク (Tasks)」リストで「電源管理」を 選択します。

IBM Integrated M	fanagement Module (IMM) (4)						 Tasks
🔍 Look for:		Find Now	Clear				
IP	UUID	Model	Serial Number	IMM Authentic	Last Dicovery		State Actions
9.125.90.117	E144AA664EAE11E197AF5CF3FC7F14D0	7917AC1	23WTV62	Failed	2013-10-28 19:5		State Actions
9.115.252.180	F2E0364C935811E283083440B5EAB290	7916AC1	23PEDL6	Failed	2013-10-30 00:3		Start Maintenance Mode
9.125.90.12	474DE1223D6511E188F2E41F13DA0E2A	8722AC1	23D4791	Passed	2013-11-07 19:0		Redit Maintenance Mode Setti
9.125.90.29	A34974F026E011E19E075CF3FC3C1908	7158AC1	06NTR29	Failed	2013-11-12 01:0		10 Stop Maintenance Mode
1							Personalize view
							Tasks
	Bauvar Campi		ant/Trial Lafe 76 F		x		Entity Properties
	Power Cappin	ng Managem	ent(Trial Left: 76 L	ays)			Health Evolorer
	Power Capping Man	aamant		Ŧ	01/		100 ·····
	Fower Capping Mana	agement		1	Dant.		Navigation
					and the second se		Alert View
							Ciagram View
							Event View
	Min Dowor Capping Value:	17 wolt					Reformance View
	win Power Capping value.	512 Wall					Performance view
	Max Power Capping Value:	400 watt					tti State View
							Network (Virtual) Vicinity Das
	Current Power Capping Value:) watt					Network Vicinity Dashboard
							Tasks
	New Power Capping Value:						Authenticate (5454
							Power Management
Detail Missio		OK		Cancel			Remove IMM
Detail View						•	

図 100. 電源キャッピング管理

2. 新しい電源キャッピングの値を入力して「**OK**」をクリックし、その値を保存し ます。保存しない場合は「**キャンセル**」をクリックしてください。

付録 A. ベスト・プラクティス

このセクションのトピックでは、タスクを実行するための推奨方法について説明します。

_____ ベスト・プラクティス:エラー原因の判別

管理対象環境で発生した問題を特定して解決するには、以下の診断手順を使用しま す。

このタスクについて

このタスクは、Operations Manager コンソールから実行します。

手順

- 1. 「モニター (Monitoring)」を選択して、「モニター (Monitoring)」ナビゲーション・ペインを開きます。
- Windows オペレーティング・システムが稼働するすべての管理対象 IBM シス テムの状況を素早く表示するには、「IBM ハードウェア」 > 「IBM System x または x86/x64 ブレード・サーバー上の Windows コンピューター (Windows Computers on IBM System x or x86/x64 Blade Servers)」を選択します。
- 3. 上部の結果ペインに表示されているシステムの正常性を確認します。 デフォル トでは、新たに検出されたすべての対象が正常な状態になっています。正常性 検査モニター・タスクにより、デフォルト間隔設定に従って一定の間隔で対象 の状況が更新されます。モニター頻度は、override-controlled パラメーター をオーバーライドすることで構成できます。詳しくは、Microsoft System Center Operations Manager 資料で override-controlled について調べてください。
- 4. クリティカル状態または警告状態を示すシステムを選択します。



図101. クリティカル状態のシステムを選択するときの例

- 5. ハードウェアに関連するエラーなのか、ソフトウェアに関連するエラーなのか を判別します。
 - ハードウェア関連の障害:「IBM System x または x86/x64 Blade サーバーの IBM ハードウェア・コンポーネント (IBM Hardware Components of IBM System x or x86/x64 Blade Servers)」ペインを調べて、問題のシステムを選択します。コンポーネントの状況とデータをすべて参照するには、右にスクロールします。この表示は個別設定できます。

このペインには、ハードウェア・コンポーネント・ベースのクラスに基づく 状態ビューがあります。このビューを使用すれば、各コンポーネント・イン スタンスの詳細プロパティーにアクセスできます。「詳細ビュー」ペインで 追加システム情報を探してください。

 ソフトウェア関連の障害: 「IBM System x または x86/x64 Blade サーバー 上の Windows コンピューター (Windows Computer on IBM System x or x86/x64 Blade Servers)」ペインを確認します。このペインには、ソフトウェ ア・コンポーネント・クラスごとの状態ビューと情報が表示されます。正常 性状態がクリティカルまたは警告になっているシステムを選択します。

このビューを使用すれば、各コンポーネント・インスタンスの詳細プロパティーにアクセスできます。「詳細ビュー」には、システム・ソフトウェアの すべてのインスタンスが 4 つの正常性局面のそれぞれに関する正常性状態と ともに表示されます。

- 障害に関する詳細を取得するために、「IBM BladeCenter モジュール (IBM BladeCenter Modules)」をクリックして、問題となっている BladeCenter モジ ュールまたはハードウェア・システム・コンポーネントのハードウェア情報に アクセスします。
- 電源機構コンポーネントで障害が発生したことが既に判明している場合は、前のビューで関連ビュー「IBM BladeCenter 電源モジュール (IBM BladeCenter Power Modules)」を選択して、電源機構に関する問題を判別します。
- 8. 「クリティカル」電源モジュールを選択して、その関連データを確認します。
- 9. 「詳細ビュー」ペインに表示されている情報とデータを確認します。モジュー ル・タイプと、その 4 つの各正常性局面をすべて調べます。

System Lenter Operations Manager 2007 - Adamge	p1				
Elle Edit Yew Go Actions Icols Help					
Scope	Actions W				Parrenteensee
lonitoring	IBM BladeC	enter Power	Modules (12)		Actions
Monitoring	Look for:		Eind No	w <u>⊆</u> lear	X State Actions
Computers	State	S Display Name		IBM B.C. Module Des	scri (Health Explorer for Power
E Discovered Inventory	😵 Critical	Power Module	Bay 2 - K1021788003	Power Module	Module Bay 2 - K102178800.
Distributed Applications	A Warning	Power Module	Bay 4 - K10346CG0DZ	Power Module	Start Mantenance Mode
Agentless Exception Monitoring	Healthy	Power Module	Bay 3 - J1XDR4680TW	Power Module	settings
E 📴 IBM Hardware	() Healthy	Power Module	Bay 1 - K102178801C	Power Module	Stop Maintenance Mode
Windows Computers on IBM System x or x86/x	() Healthy	Power Module	Bay 1 - J1XDR4CB1K6	Power Module	Personalize view
Active Alerts	() Healthy	Power Module	Bay 2 - J1XDR4CB1KA	Power Module	
IBM BladeCenter(s)	() Healthy	Power Module	Bay 3 - K10346CF086	Power Module	IBM BladeCenter Power Mod
Task Status	() Healthy	Power Module	Bay 2 - K10346CG0F6	Power Module	IBM BladeCenter Manageme
Windows Computers for Managing IBM Bia, P 20 IBM BladeCenter Modules	(2) Healthy	Power Module	Bay 4 - 31XDR4A72FF	Power Module	IBM BladeCenter: Refresh H
IBM BladeCenter Blades	A Warning	Power Module	Power Module's Properties a		
	Power Module Bay 3 - K1021788018 Power Module				States
IBM BladeCenter Looing Modules	C) Masthy	Power Module	Bay 4 - K102178801M	Power Module	Resources
IBM BladeCenter Management Module IBM BladeCenter Media Modules	Cristing	P UTTER P NOUND	ooy 1 - Krocz7000411	Pomer Produce	System Center Operations Manager Help
IBM BladeCenter Power Modules					System Center Operations Manager Online
E IS IBM System x and x85/x64 Blade Servers	1				▶ Help
<u>></u>	Detail View				About the Health Explorer
ow or hide views	IBM Blade	Center Power Mod	ule properties of Powe	r Module Bay 2 -	About Maintenance Mode
	K1021788003				 Add New Views of Monitoring
Monitoring	Name Path name		Fower Module Bay 2 - SCOM BCSMM-192	- K1021788003	Mow to Personalize a View
Authority .	P QUI II DINC		Module Bay 2 - KI	021788003	🧭 About Tasks
Authoring	IBM Power Modu	le ID (Artificial)	39Y7367-K10217880	03	 Target Monitoring
Administration	IBM B.C. Module	Firmware	Fan controller: Rev. 1 Dames Machile Park 2	14	 Adjust Monitoring with
	IBM B.C. Chasse	s UUID	A22C B061 60AF 110	7 ASEC 0009 68CA	Overnoës
My Workspace	and a start of the start	Crosses.	908E		Diagnostics and Recoveries
	IBM B.C. Module	UUID	Not Available		M About the Command Shell
	(ISM Internal) IB	M B.C. Module Bay N	ame Power 02		

図 102. クリティカル状態の電源モジュールの詳細ビュー

- 10. 選択したモジュールを右クリックして、「開く」 > 「ヘルス エクスプローラ ー」を選びます。
- 11. 「アラート」を選択して、「状態変更イベント」ページにある情報を確認します。
- 12. 表示されているアラートのタイプによっては、「アラートの表示 (View Alert)」をクリックして詳細を確認できます。
- 13. 「**ナレッジ**」タブをクリックして、問題のアラートに関連するナレッジ・ページと1つ以上のナレッジ記事を参照します。

重要: 各対象について正常性情報を得られるだけでなく、さまざまなパースペ クティブにおける他の正常性関連対象から関連情報を得られることもありま す。例えば、プラットフォーム・エージェントによってインバンドでモニター されるブレードは正常性状態を示しますが、BladeCenter シャーシ管理モジュー ルも、そのブレードの正常性状態を示します。 他の BladeCenter シャーシ・モジュールがブレードの正常性に影響する場合が あります (ブレード・サーバーに電力を供給する電源機構など)。同様に、管理 モジュール・パースペクティブからのブレードの正常性には、そのブレードで 稼働しているオペレーティング・システムに関する正常性や他の情報が含まれ ている可能性があります。

例えば、次の BladeCenter Simple Network Management Protocol (SNMP) アラ ートには、イベント記述フィールド 1.3.6.1.4.1.2.6.158.3.1.1.8 およびイベント ID 1.3.6.1.4.1.2.6.158.3.1.1.14 があります。 10 進形式のイベント ID 値を 16 進数に変換して、「アドバンスト・マネージメント・モジュール メッセージ・ ガイド」でメッセージを調べてください。



図 103. System x Windows Management Instrumentation (WMI) イベント

System x WMI イベントに関して、「詳細」ペインに説明とイベント ID が表示されます。

X Overrides •								
with monitors for x3755-edgeback score core (HW/ Base Node-1)	Knowledge State Change	Events (2)						
Retrity Health - x3755-idgeback scom.com (HW/Base Node-1) (Entity)	Time	From	To	Onerational State				
Availability - x3755-ridgeback.scom.com (HW/ Base Node-1) (Entity)	2/17/2009 6-31 PM	- 1010	10					
Configuration - 32755-ridgeback, scom.com (HW Bare Node-1) [Entrity) Alet monitor for events generated by winnevent - x3755-ridgeback. Alet monitor for EM system lease explainton - x3755-ridgeback. Alet monitor for EM system memory addition or removal - x3755-ridgeback. Alet monitor for EM system memory addition or removal - x3755-ridgeback.	2/17/2009 3:18 PM	õ	Ø					
Alet monitor for IBM yutem warranty expiration - x3755-digbetsch. Alet monitor for non-hot-pluggable IBM power supply addition or re Configuration health could uil BM hardware components - x3755-fit Performance - x3755-digbetsch. coron com (HV B are Node-1) [Enthy) Security - x3755-digbetsch. coron com (HV B are Node-1) [Enthy)								
	Details							
	Context:							
	Date and Time: Property Name CLASS DERIVATION DYNASTY GENUS PROPERTY_COUNT SUPERCLASS AlertingElementForn Alertinge	2/17/2/ Proper IMMPSG IMMPSG 29 IMMPSG 29 IMMPSG 0 5 This is a Class is	2/11/2003 6/31/28 PM Property Value IMP952, Otherwent, IMM, AlertIndication, CIM, AlertIndication, CIM, Processindication, W SystemClass 29 IMP952, OtherEvent 0 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5					
	EventCategory	Öther						
	EventID	RIDGEE	IUX3755- RIDGEBACKIroot\bmsd:IBMPSG_ProcessorEvent_CreationClassName="IBMPSG_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_CreationClassName="IBMPsg_WinEvent_					
	EventTime PerceivedSeverity ProbableCause ProviderName SystemCreationClass SystemAame TIME_CREATED Trending UniqueSystemID	02/18/3 6 1 Directo sName CIM_A4 X3755 128793 1 7f2b10	2009 02:31:24 (Agent WinEventPro ertIndication RIDGEBACK 402044375000 8c7c084988	under				

図 104. 「状態変更イベント」タブ詳細情報の例

ベスト・プラクティス: すべての BladeCenter を再検出

同じバージョンの IBM Hardware Management Pack が削除されて再インポートされ ると、BladeCenter のモニターが停止します。

このタスクについて

このタスクは、Operations Manager コンソールから実行します。

手順

- 1. 「管理」 > 「デバイスの管理」 > 「ネットワーク デバイス」を選択します。
- 2. 結果ペインの「ネットワーク デバイス」ビューにリストされている IP アドレ スをメモしておきます。 この情報は、後でネットワーク・デバイスを検出する ときに必要となります。
- 3. 再検出する BladeCenter の IP アドレスを選択してから、右側にある「アクション」ペインで「削除」を選択します。
- 4. メモしておいた IP アドレスを使用してネットワーク・デバイスの範囲を制限 し、40ページの『Operations Manager 2007 での BladeCenter の検出』の指示に 従って BladeCenter を再検出します。

ベスト・プラクティス:名前変更後のサーバーを再検出

Windows サーバーの名前が変更されると、Operations Manager によってモニターされていた当該 Windows サーバー・インスタンス・エントリーがぼかし表示されます。これは、この Windows サーバーが Operations Manager によってモニターされなくなったことを示しています。

このタスクについて

このタスクは、Operation Manager のコンソールで行います。

名前変更後のサーバーを検出してモニターするには、以下の手順に従って、まず元 のサーバー名を Operations Manager の「エージェントで管理」サーバー・リストか ら削除し、名前変更後のサーバーを再検出します。

手順

1. 「管理」 > 「デバイスの管理」 > 「エージェントで管理」を選択します。



図105. 名前変更後のサーバーを削除

- 結果ペインの「エージェントで管理」ビューにリストされている元の名前を選択 します。このエントリーは名前変更前の元の名前になっています。
- Operation Manager のコンソールの右側にある「アクション」ペインで「削除」 を選択します。 このアクションにより、名前変更前のサーバーがビューから削 除されます。
- 4. 71 ページの『Operations Manager によって管理される IBM システムの追加』 の指示に従って、新しいサーバー名を追加します。

付録 B. トラブルシューティング

このセクションのトピックには、IBM Hardware Management Pack で発生する可能 性がある問題のトラブルシューティングに役立つ情報があります。推奨されるアク ションとして、まず特定のタスクを実行してあることを確認してください。多くの 場合、問題の症状を調べれば、その根底にある問題を解決する糸口を見つけること ができます。

IBM Power CIM Provider から返されたエラーのトラブルシューティング

このトピックでは、IBM Power CIM Provider から返されたエラーをトラブルシュー ティングする方法について説明します。

Capping Capable が False と報告される理由として、以下の 2 つが考えられます。

- プラットフォームやファームウェアのサブコンポーネントで電源キャッピングが サポートされていないことがシステム・ファームウェアから報告されています。
 解決策の1つとして、IBM 電源管理ガイドを調べて、電源キャッピング機能を アクティブ化するために設定できる uEFI 設定があるかどうかを判別してみてく ださい。
- システム・タイプで電源キャッピング・フィーチャーがサポートされていません。

IBM 電源管理について詳しくは IBM Systems Director Active Energy Manager イン フォメーション・センターを参照してください。

IBM Power CIM Provider のインストールのトラブルシューティング

このセクションのトピックでは、IBM Power CIM Provider のインストールのトラブ ルシューティングを行う方法について説明します。 IBM Power CIM Provider のイ ンストールをトラブルシューティングする最初のステップは、インストールが正常 に完了したことを確認することです。

詳しくは、142ページの『インストールが正常に完了したことの検証』を参照して ください。

インストールが正常に完了したことの検証

このトピックでは、IBM Power CIM Provider のインストールが正常に完了したかどうかを確認する方法について説明します。

このタスクについて

管理者コマンド・ウィンドウで以下の手順を実行してください。

手順

- 1. 次のコマンドを実行します。
 - a. cimprovider -1 -m IBMPowerCIM

このコマンドの結果として、プロバイダー名 (IBMPowerCIM) と状況 (OK) が 1 行で示されます。

- b. cimcli ei -n root/ibmsd IBMPSG_AveragePowerUsageValue
- c. cimcli ei -n root/ibmsd IBMPSG_AveragePowerUsageSensor
- d. cimcli ei -n root/ibmsd IBMPSG_PowerCappingInformation
- 2. コマンド実行時に生成された出力を確認します。 出力に示されるのは、部分的 に失敗したコマンドではなく、センサー読み取りおよび下限しきい値に対する適 切な数値、および PowerCappingInformation クラスの Pmin/Pmax です。コマン ドが部分的に失敗する場合、これは適切な数値を生成するコマンドが正常に実行 されなかったため、そのコマンドを実行できないことを示しています。

失敗した IBM Power CIM Provider のインストールを修正する 方法

このトピックでは、失敗した IBM Power CIM Provider のインストールを修正する 方法について説明します。

このタスクについて

IBM Power CIM Provider のインストールを検証するコマンドのいずれかが失敗した か、またはコマンドに何らかの正しくない値が指定されていた場合、以下の手順に 従ってください。

手順

1. 対象のレジストリー・キーが存在し、そのレジストリー・キーに、適切な値が含 まれていることを確認します。

このキーは HKLM¥SOFTWARE¥IBM¥Systems Management Integrations¥IBM Power CIM Provider にあります。プロバイダーのインストール・ディレクトリーをリ ストする、*Path* という名前の **REG_SZ** パラメーターが入っている必要がありま す。このディレクトリーは書き込み可能でなければなりません。

注: 64 ビット・マシンでは、このキーは

HKLM¥SOFTWARE¥Wow6432Node¥IBM¥Systems Management Integrations¥IBM Power CIM Provider にあります。

- インストール・ディレクトリーで IBMPowerCIMRegistration.mof ファイルを開いて、Location 行に、適切なパス ¥IBMPowerCIM がリストされていることを確認します。デフォルトのインストール・パスは %ProgramFiles%¥IBM¥IBM Power CIM Provider です。
- 3. 以下のいずれかのオプションを選択します。
 - ロケーション行に正しいパスがリストされていることを確認した後、障害や正しくない値が報告されない場合、ここで手順は終わりです。
 - プロバイダーが障害や正しくない値を報告する場合は、ステップ 4 から 8 までを完了してください。
- インストール・ディレクトリーにあるログ・ファイルを確認します。ファイル RegIBMPowerCIM.log には、Windows インストーラーによるインストール/アンイ ンストール処理の間に実行された登録 (および登録解除) スクリプトの結果が示 されます。このインストール・スクリプトの実行時にエラーが発生した場合は、 そのエラーの結果が RegIBMPowerCIM.log ファイルに示されます。

以下の2つの原因が考えられます。

• Response length = 256

このエラーの最も一般的な原因は、SMBIOS タイプ 38 がシステムで認識されていないことです。これは、システムのファームウェアが SMBIOS タイプ 38 をサポートしていないか、または IPMI ライブラリーで SMBIOS タイプ 38 が正しく認識されていないことが原因です。 CIM サーバーを再始動して みる (下記参照) か、またはコンピューターを再始動してみてください。

• cmdComplete = false

このエラーの最も一般的な原因は、レジストリー・キー・パスが正しくないことです。

- 5. 指定のインストーラーを使用して IBM Power CIM Provider を再インストールし ます。
 - a. 「プログラムの追加と削除」 (Windows 2003) または「プログラムと機能」 (Windows 2008 以降) で「アンインストール」を選択して、IBM Power CIM Provider を削除します。
 - b. Director CIM サーバー (*wmicimserver*) が再びオンラインになるまで数分間待 ちます。
 - c. 指定のインストール・ファイルを使用して IBM Power CIM Provider を再イ ンストールします。
- 6. 手動で IBM Power CIM Provider を Director CIM サーバーに再登録するには、 管理者コマンド・ウィンドウで以下のコマンドを入力します。
 - a. cimprovider -r -m IBMPowerCIM
 - b. net stop wmicimserver
 - c. taskkill /F /IM wmicpa.exe
 - d. net start wmicimserver
 - e. mofcomp IBMPowerCIM.mof (プロバイダー・インストール・ディレクトリーから)

- f. mofcomp IBMPowerCIMRegistration.mof (プロバイダー・インストール・ディ レクトリーから)
- 最適な結果を得るために、net start wmicimserver コマンドを実行してから mofcomp コマンドを実行するまでの間は数分間待ちます。

注: wmicimserver は、ロード対象の新規プロバイダーに正しく応答するまでに 1 分掛かることがあります。

- サーバーのファームウェアが SMBIOS タイプ 38 をサポートしていることを確認します。ファームウェアが SMBIOS タイプ 38 をサポートしていない場合は、SMBIOS タイプ 38 をサポートするファームウェアのバージョンに更新してください。 Unified Extensible Firmware Interface を持つコンピューターが問題になることはありません。
- 8. レジストリー・キー・パス HKLM¥SOFTWARE¥[Wow6432Node]¥IBM¥Systems Management Integrations¥IBM Power CIM Provider で以下の操作を行います。
 - a. Debug という REG_SZ を追加し、値を 1 に設定します。
 - b. 上述のように IBM Power CIM Provider をアンインストールして再インストールします。これでログの内容がより詳細なものになります。その結果、問題をより詳しく調べることができる可能性があります。
- 9. サーバーを再始動します。

Windows Server 2012 で、「ネットワーク デバイスの保留の管理 (Network Devices Pending Management)」の IBM シャーシを削除する 方法

このトピックでは、検出された IBM BladeCenter または Flex System シャーシが 「ネットワーク デバイスの保留の管理 (Network Devices Pending Management)」ビ ューに表示される問題を解決する方法について説明します。

このタスクについて

IBM BladeCenter または Flex System シャーシのいずれかが「Network Devices Pending Management」ビューに表示された場合は、以下の手順を実行します。

手順

 管理サーバーの Windows マシンで、ファイアウォール設定を開き、インバウン ド規則またはアウトバウンド規則で Operations Manager から始めるための規則 を見つけます。 デフォルトで、一部の規則が無効になっている場合がありま す。 該当する規則を有効にし、ディスカバリー規則を再実行するか、SCOM コンソ ールでスケジュールされたタスクどおりに規則が実行されるのを待ちます。 検 出されたネットワーク・デバイスは「ネットワーク デバイス」ビューに表示さ れ、「ネットワーク デバイスの保留の管理 (Network Devices Pending Management)」ビューには表示されなくなります。

Windows Server 2012 が稼働している SCOM コンソールで IBM System Web コンソールを開くタスクが失敗したときの修正方法

Web コンソール用の SSL サーバーが有効になっている管理対象システムにおい て、Windows Server 2012 が稼働している System Center Operations Manager (SCOM) コンソールで IBM IMM/AMM/CMM Web コンソール・タスクの実行を 試みても失敗する場合、以下の手順に従ってその問題を修正する必要があります。 これは、Windows Server 2012 Internet Explorer のセキュリティー構成における問題 です。

このタスクについて

以下の手順で、Web コンソールを Internet Explorer (IE) で開くことができるよう、 IE セキュリティー構成を変更する方法について説明します。

手順

- 1. ご使用のサーバーで Windows Server 2012 が稼働している場合、「サーバーマ ネージャー」および「このローカル サーバーの構成」をクリックして、「ロー カル サーバー構成 (Local Server configuration)」ページを開きます。
- 2. 「IE セキュリティ強化の構成」の横にある「プロパティ」域で、「**オン**」をク リックして、「Internet Explorer セキュリティ強化の構成」ダイアログ・ボック スを開きます。
- ローカル Administrators グループのメンバーが管理者としてログインしていると きに Internet Explorer Enhanced Configuration を使用するには、「オフ」をクリ ックします。 これで、ローカル Administrators グループのメンバーがログイン しているときに Internet Explorer Enhanced Configuration を使用できるようにな ります。
- 4. 「**OK**」をクリックして、変更を適用します。

146 IBM Hardware Management Pack for Operations Manager, Version 5.0.1 インストールおよびユーザーズ・ガイド

付録 C. アクセシビリティー機能

アクセシビリティー機能は、運動障害または視覚障害など身体に障害を持つユーザ ーが情報技術製品を快適に使用できるようにサポートします。

IBM は、年齢あるいは身体の能力に関係なく、あらゆるユーザーがアクセスできる 製品を提供するよう努力しています。

IBM Hardware Management Pack バージョン 5.0 では、システム管理ソフトウェア に組み込まれているアクセシビリティー機能がサポートされています。アクセシビ リティー機能およびキーボード・ナビゲーションに関する具体的な情報について は、ご使用のシステム管理ソフトウェアの資料を参照してください。

ヒント: IBM Hardware Management Pack バージョン 5.0 のトピック集およびその 関連資料では、IBM ホームページ・リーダーに対するアクセシビリティー機能が使 用可能になっています。すべての機能を、マウスの代わりにキーボードを使用して 操作することができます。

IBM Hardware Management Pack バージョン 5.0 の資料は、Adobe Acrobat Reader を使用して、Adobe Portable Document Format (PDF) 形式で見ることができます。 この PDF には、IBM Hardware Management Pack バージョン 5.0 のダウンロード・サイトからアクセスすることができます。

IBM とアクセシビリティー

アクセシビリティーに対する IBM の取り組みについて詳しくは、「Human Ability and Accessibility Center Web サイト」を参照してください。

148 IBM Hardware Management Pack for Operations Manager, Version 5.0.1 インストールおよびユーザーズ・ガイド

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものであり、本 書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合が あります。

日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当 員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及して いても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であること を意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害するこ とのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することがで きます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および 検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を 保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実 施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わ せは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19番21号 日本アイ・ビー・エム株式会社 法務・知的財産 知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的 に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。 IBM は予告なしに、随 時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を 行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

商標

IBM、IBM ロゴ、および ibm.com[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それ ぞれ IBM または各社の商標である場合があります。

現時点での IBM の商標リストについては、http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。

Adobe、PostScript は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Cell Broadband Engine、Cell/B.E は、米国およびその他の国における Sony Computer Entertainment, Inc. の商標であり、同社の許諾を受けて使用しています。

Intel、Intel Xeon、Itanium、Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java[™] およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国 およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft、Windows、および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国および その他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

重要事項

以下は、用語および請求に関する重要な前提事項についての視点です。

プロセッサーの速度とは、マイクロプロセッサーの内蔵クロックの速度を意味しま すが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、読み取り速度が変動します。実際の速度は記載された速度と異なる場合があり、最大可能な速度よりも遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャネル転送量を表す場合、KB は 1024 バイト、MB は 1•048•576 バイト、GB は 1•073•741•824 バイトを意味しま す。

ハード・ディスクの容量または通信ボリュームを表す場合、MB は 1•000•000 バイト、GB は 1•000•000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量 は、オペレーティング環境によって異なります。

内蔵ハード・ディスクの最大容量は、IBM から入手可能な現在サポートされている 最大のドライブを標準ハード・ディスクの代わりに使用し、すべてのハード・ディ スク・ドライブ・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があります。

IBM は、ServerProven に登録されている他社製品およびサービスに関して、商品 性、および特定目的適合性に関する黙示的な保証も含め、一切の保証責任を負いま せん。これらの製品は、第三者によってのみ提供および保証されます。

IBM は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、IBM ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合が あり、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合 があります。

152 IBM Hardware Management Pack for Operations Manager, Version 5.0.1 インストールおよびユーザーズ・ガイド

索引

日本語,数字,英字,特殊文字の 順に配列されています。なお,濁 音と半濁音は清音と同等に扱われ ています。

[ア行]

アクセシビリティー機能 147 アラートの表示 85 アンインストール 33 インストール 19 インストールの確認 142 インストール要件 20 インベントリーの表示 83 エラー原因の判別 135 オペレーティング・システム 10 オペレーティング・システムのリモート・ シャットダウン 94

[力行]

管理サーバー 10, 11, 30 管理対象システム 12 管理の概念 6 規則および用語 ix 検出された BladeCenter シャーシの削除 49 検出された IBM Flex System シャーシの 削除 59

[サ行]

サーバー名を使用したリモート電源オン 97 再インストール 35 サポートされている構成 7, 11, 13, 16 サポートされているシステム 7 サポートされる IBM Flex System シャー ショ サポートされるサーバー 7 サポート・バージョン 10 システム、ハードウェア・コンポーネン ト、および他のターゲットの正常性をモ ニター 83 重要事項 150 主要なフィーチャー 1 試用期間 3 試用版ライセンス 3 商標 150 情報リソース xi

すべての BladeCenter を再検出 139 製品情報 1

[夕行]

追加の構成要件 11 電源キャッピングの設定 105 電源しきい値の設定 100 電源データ・グラフ 112 電源モニター 17 統合管理モジュール 14 特記事項 149 トラブルシューティング 141

[ナ行]

内蔵 RAID 16 名前変更後のサーバーを再検出 140 ナレッジ・ページ 90

[ハ行]

バージョン 2.4 からのアップグレード 33 ハードウェア・エラーの検出 87 ハードウェア・エラーの表示 87 プラットフォーム・エージェント 6 プレミアム・フィーチャー 2 ベースボード管理コントローラー 14 ヘルス エクスプローラー 87 「ヘルス エクスプローラー」を使用した 問題の識別および解決 87 本書について ix

[ヤ行]

予測障害アラート・ポリシーの設定 110

[ラ行]

リモート管理アダプター Ⅱ 15 リモート・コンピューター上のソフトウェ ア依存関係を確認する方法 71

Α

Adobe Acrobat Reader xi

В

BladeCenter6, 139, 140BladeCenter $\dot{>} \forall \forall -\dot{>}$ 9

F

Flex System OOB-IB リフレクション 113 Flex System OOB-IB リフレクションの検 出 113 Flex System シャーシ Web コンソール 119 Flex システムのリモート電源オン/オフ 115 Flex システムのリモート電源オン/オフの 使用 115 FSM Web コンソール 124 FSM Web コンソールの起動 124

IBM BladeCenter 6, 7 IBM Director コア・サービス 6 IBM Flex System シャーシ Web コンソー ルの起動 119 IBM Flex System シャーシの SNMP 設定 の構成 50 IBM FSM システム 123 IBM FSM システムの検出 123 IBM Hardware Management Pack 1, 5, 6, 19, 29, 30, 33, 35 IBM Hardware Management Pack のアンイ ンストール 35 IBM Hardware Management Pack の削除 33 IBM Power CIM Provider 17, 31, 34, 141, 142 IBM Power CIM Provider のインストール 31 IBM Power CIM Provider のトラブルシュ ーティング 141 IBM ServerProven Web サイト xii IBM System Web Console を開くタスクの 失敗を修正する方法 145 IBM System x Integration Offerings xi IBM System x 電源データ・グラフ 112 IBM Systems Director エージェント 13 IBM Systems テクニカル・サポート・サ イト xii IBM システム 6

© Copyright IBM Corp. 2014

IBM システム管理ページ xiiIBM システムの追加 73IBM シャーシを削除する 144

Μ

MegaRAID 15 Microsoft System Center Operations Manager 5, 6

0

Operations Manager 10, 12, 61 Operations Manager 2007 での IBM Flex System の検出 58 Operations Manager 2012 での IBM Flex System の検出 58 Operations Manager コンソール 29 Operations Manager コンソールの使用 61 Operations Manager によって管理される IBM システムの追加 71

Ρ

PDF ファイル xi

R

RSA-II 15

S

```
ServeRaid 16
ServeRAID-BR/IR 16
ServeRAID-MR 15
SNMPv1 エージェント用の有効化 54
「SNMPv3 エージェント用の有効化
(Enabled for SNMPv3 Agent)」の選択
56
SNMPv3 ユーザー・アカウントの作成
56
```

W

Web リソース xi



Printed in Japan